

今月の言葉

暗い事件や悲しい出来事が次々と起る。日本中を震撼させた神戸の小学生殺傷事件は記憶に新しい。犯人が十四歳であったことから、少年法の是非が問われた。少年法によれば十四、十五歳は刑事責任はあるが刑事処分はない、という事がこの事件で広く知られた。因みにブラジルでは十四歳以下の少年には刑事責任がないことが問題になっているという。なぜなら十四歳以下の少年で構成されている殺人請け負い組織が存在するからだ。テレビのリポーターに、ある少年がこう語ったという。

「俺は十四歳までこの仕事（殺人）をやった。それからはそのお金でまっとうな商売をやるさ」

身の毛のよだつ話である。神戸の事件は少年個人の資質によるところが多い

台風被害あいつく秋 機動隊直ちに出勤！

～鹿児島県警察本部機動隊より～



鹿児島県田代町災害（写真提供：鹿児島県警察）

台風十九号が停滞を続け、県下全域に大雨・洪水警報が連日発令中であつた。九月十六日午前七時四十五分機動隊内で待機中の我々に「肝属郡田代町で土石流発生、直ちに出勤せよ」との命があり、緊急出勤した。

しかし、現場は機動隊の所在する鹿児島市内いわゆる薩摩半島から錦江湾を挟んで反対側の大隅半

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円（送料共）
（但し会費の中には購読料を含む）

島である。波浪警報発令中で海上輸送はできず、止むなく陸上輸送となった。途中の道路は災害の影響で現場に赴くのも大変である。

苦労の末現場に到達すると、現場は七月の出水市針原地区土石流災害の現場を彷彿させるものであつた。大量の土砂に押しつぶされた家屋は想像を絶するものであり、救助活動を開始したものの土砂を排除することは容易ではなかった。

しかし「行方不明になった人が我々の救助を待っている」と自らに言い聞かせ力を振り絞って救助活動を続けた結果、捜索を開始して約二時間後、行方不明者二名の遺体を発見するに至つた。

今回の警備を振り返ると、災害のない町を願うとともに、一人でも多くの被災者を救助できるよう体力、気力そして技術を身に付けるため、日頃の訓練に励む決意である。

最後に、今回の災害で亡くなられた方々の冥福を祈るとともに、一日も早く災害現場が復旧することを願うのみである。

大自然の中、野外訓練を実施しました 警視庁

警視庁機動隊では八月三日から十三日までの間、群馬県多野郡万場町所在の「みかば高原自然村」において野外訓練を実施しました。第一機動隊から特科車両隊までの十個隊がローテーションにより、それぞれ一泊二日で大自然に囲まれた野外での訓練を体験しました。

これは、日頃の都会生活では体験できない、テント設営、炊き出し、山岳訓練等を隊員に体験させる目的で、例年、夏場の警備事象の比較的小ない期間に実施しているもので、隊員以下全隊員がテントで寝食を共にするという貴重な経験の場ともなっています。

隊によつては、突然の雨により「突発対応訓練」を余儀なくされましたが、訓練は各隊ごとにそれぞれ趣向を凝らし、西御荷鉾山登山、ドッチボール大会、ソフボール大会、綱引きと様々です。そして、日が暮れると隊員が一番楽しみにしているキャンプファイヤーの始まりです。隊長以下全隊員がキャンプファイヤー



を囲んでパーベキューに舌つづみを打ち、しだいに座が盛り上がるうちに、中隊對抗の演芸大会やカラオケ大会が催されると最も最高潮となり夜が更けていきます。また、野外訓練の初日には、「機動隊員等を励ます会」の鈴木相談役も現地を訪れ、隊員を激励されました。

あまりに暗い今の世の中

と思われるが、最近、未成年者や二十代の凶悪犯罪が増えているのはやはり気掛かりだ。ブラジルのような社会にならな

い為にも法の整備ばかりでなく、教育の在り方も見直す必要があると思われる。山口組の内部抗争も社会不安を煽っている。白昼堂々、ホテルの喫茶店でおきた一般人を巻き込む銃撃事件は言語道断で

ある。悲しい出来事と言えば、パリで交通事故のため非業の死を遂げたダイアナと、後を追うかのようにこの世を去った平和運動家のマザー・テレサだ。インドネシアの森林火災も困ったものだ。森を焼き払い、農園にしてアブラヤシを生産しようとした結果の火事である。この国の経済を支えてきた石油輸出が頭打ちになつたという背景も無視はできないが、

経済開発と環境保護の狭間で人の健康が害され命が失われるというのは悲しいことだ。

日本経済も暗い話題が多い。昨年来上回った企業倒産数、回復基調と言われながら実感の伴わない景気。しかし、何といても立腹せざるを得ないのは、大手証券四社すべてがかかわつた証券・金融

の総会屋利益供与事件である。言うまでもなく、証券市場は国内外の投資家の資産運用の場だ。自分で株や債権を売買する人だけではなく、庶民の生命保険や年金の掛け金も運用されているわけだから、国民への背信行為と言わざるを得ない。

政治面では国民と永田町の感覚の乖離をまざまざと見せつけた佐藤孝行総務庁

「お詫びします」、「あつてはならぬこと」など、頭を下げる姿ばかりを新聞、TVで見せつけられた。

暗い世相への清涼剤は何と言つてもスポーツである。ところが、巨人ファンの私は、三十三億円の補強をしながら、あまりのふがいなさに切歯扼腕させられっぱなし。「金や名前だけでは野球は勝てない」という教訓まで得てしまった。選

手の将来性を見極め、球団の中で本格的に育て上げることの大切さを思い知らされたのである。これは何も野球に限らない。青少年犯罪を見て、企業のルール違反を見て、はたまた、国民感情に疎い政治家の言動を見ても、基本は教育にあるのではないかとつくづく思う。とくに、青少年の教育にはスポーツの素晴らしさを、もつとも取り入れてほしい。ルールを遵守しながらお互いに競い合い、切磋琢磨する精神こそ健全な人材を育成し、社会を明るくし、ひいては日本経済を活性化に導き、政治の信頼を回復する源と考えるからである。機動隊員の皆さんの規律正しい訓練と規則正しい生活態度、そして皆さんが愛唱される「この世を花とするために」という精神や態度が、今の日本の教育にもっと欠けているように感じられる今日この頃である。

（理事・東京本部 西田鐵男）

〈今月のテーマ〉 スポーツのススム



警視庁第一機動隊
滝口 哲也

私が「走り」の世界に足を踏み入れたのは今から約十年前のことである。当時、コーチ兼選手で、もの凄く厳しい先輩がおり、その先輩は年齢を感じさせない走りやガッツで私達を魅了した。その時から私は、走ることに楽しさを知り、現在に至っている。

私の朝は、まずランニングから始まる。休日は目覚めとともに、ランニング姿に着替え、一時間程度のランニングをする。天候や調子の善し悪しに関係なく必ず走り、勤務の日にはチームの同僚と朝早く集まり、皇居一周ランニングをするのが日課である。

私は、年に五回位、部外大会に出場し、その種目は、五キロからフルマラソンまで様々で、大会内容により練習量も変えていく。五キロ位の短い距離では、主にスピード練習を中心にした練習をし、フルマラソンに出場する時は、一カ月前に同じ距離を走る等、自分で練習のメニューを立て、それに沿って日々練習に励むようにしている。私は走ることで、気力、体力の向上に努め仕事に役立てるとともに、素晴らしい仲間がたくなってきたことが最高の財産だと思う。私を走りの世界へと導いてくれた当時の先輩に感謝するとともに、その先輩に負けないよう後輩達を指揮し、また、選手として頑張っていこうと思う。

私の走りの師匠でもあるこの先輩は、現在我が第一機動隊の教務主任である。



警視庁第二機動隊
松田 芳典

今、私の目の前では、と言ってもテレビで見ているのだが、「夏の全国高校野球大会」の熱戦が繰り広げられている。私も高校時代のこの憧れの舞台で甲子園を目指す、ひとりの高校球児だった。結果は三年間とも地方大会で敗れ、甲子園のグラウンドに立つことは許されなかった。こうして試合を見てみると、汗と泥にまみれながらボールを追ひ、バットを振っていた頃がなつかしく思い出されてくる。

野球には、他の多くのスポーツと決定的に違うところがある。それは、時間制限がなく点差がどんなに開いても、何時間かかろうとも、コールドゲーム等の特別ルールがないかぎり、スリーアウトを九回とらなければ試合は終わらないことである。また、試合である以上は点を取らなければ勝つことが出来ないが、守備の選手が突如として攻撃をすることも多い。攻撃は徹底的に点を取るために行動し、守備はアウトを取るために守りに徹する。同じ選手が攻撃も守備もするものであるが、攻撃は攻撃、守備は守備と徹底されている。現在では野茂、長谷川、伊良部選手等がアメリカで活躍し、日本でもセ・パ両リーグが混戦模様で、目が話せない。今は、青春時代を思い出し、気の合う仲間とともに草野球を楽しんでいる。



警視庁第三機動隊
仲野 英一郎

「昔と体型があまり変わらないね。」これは今年故郷大分に帰省した時、高校時代の友人から言われた言葉である。

私は現在三十五歳。学生、社会人とラグビーを続け、現在は、地元相模原市少年ラグビースクールのコーチをボランティアとして行なっている。

私の所属しているラグビースクールは、幼稚園児から中学生まで約一〇〇人、コーチ陣は皆ラグビーの経験者で全員がボランティアとして活動している根っからのラグビー好きの集まりである。

私は中学生担当で、若い生徒と一緒に汗を流しているが、まだまだ若い者には負けられないとの気迫とも手伝い、今だに私の方が体力(持久力)、気力とも上であると自負している。

仕事であれスポーツであれ汗を流すと言うことは、自らを奮い立たせる大きな原動力であり、そして目標(目的)がはっきりすればなおさら自らを成長させる大きな糧となると思っている。

人から押されてやるのか、自ら進んで動くのか、気持ちの切り替えひとつでその得られる成果は全然違うと思う。スポーツで「汗」を流すことは、私にとって生活の一部であり、気力、体力の源となっている。また健康管理、体型維持はもとより、ストレス解消の大きな要素の一つにもなっている。



警視庁第四機動隊
黒白 昭二

私とスポーツとの関係、それは幼稚園の時に習い始めた水泳から始まりました。物心ついたころには、既に一人の競技者として、常により良い記録を追求していました。私は長年この水泳という競技スポーツと共に生活してきましたが、水泳の現役を退いた現在、思うことは、まず最初に、楽しむということ。私の水泳人生において足りなかったものは、「水泳を楽しむ事」だったと思います。私は、水泳のオリンピック選手や多くの素晴らしい選手と共に練習や合宿などを行ってきました。彼らは、どんなに厳しい練習においても、水泳を楽しんでいるように見えました。私はこれこそがスポーツの原点であり、上位を目指すものに必要なものだと思っています。

次に、努力することについてです。よく聞く言葉で、「自分に才能がないから」と途中でスポーツをやめてしまう人がいますが、それは、その人に努力する能力がないからだと思っています。人より努力できる人こそが、才能のある人だと私は思っています。

私は現在、第四機動隊の近代五種部に所属していますが、水泳選手として無我夢中でオリンピックをめざした頃にできなかった「スポーツを楽しむこと」と、素質に勝るための「努力すること」を心掛け、日々の厳しい訓練に励んでいます。



警視庁第五機動隊
田中 成彦

「警察官」という職業に対して一般の人々がもつイメージの代表的なものとしては、やはり悪漢を制圧する為に日夜武道に励む姿を思い浮かべるのではないかと思います。我々警察官が職務執行していくうえで、警察官と切り離せない関係にあるものが武道ではないかと思っています。私は、第五機動隊に配置換えとなり空手と出会いました。私が空手を習い始めた当初、年齢的にこの武道を極められるとは思っていませんでした。しかし、今の私は、空手が大好きです。「好きこそ物の上手なれ」という言葉があるように、好きで空手の稽古をしていけば、いつかは上達し、今以上自信に満ちた職務執行ができるのではないかと、自分の励みにして、職場の同僚と共に、空手道の稽古に頑張っています。

武道とスポーツでは、少し響きが異なりますが、その種類は多く、また、現代は格闘技ブームでよくテレビでも放映されています。それぞれが異なった精神において行なわれていますが、最後に到達する精神は一つではないかと思っています。

どんな武道でも、また、スポーツでもメンタルな面を修養することは、大切なことです。私も、より強い精神力を養い、警察官という職業に生かすために、これからも一層努力し、稽古に励みたいと思います。



警視庁第六機動隊
津田 真紀

小さいころから野球をやっていた私は、部隊出動、帰隊の道りで野球をやっている姿を目にすると、つい目を奪われてしまう。私はとにかく野球が好きで、よくバッティングセンターや野球場に足をこぼ。無心になって白球を打ち続けるバッティングセンター。何もかも忘れさせて、気力がスカッとする。絶対のストレス解消法である。

野球場は近くに東京ドーム、横浜スタジアム、神宮球場と三つあり、好きな球団を問わず見に行く。雰囲気が好きである。私の好きな球団はジャイアンツであるがなかなか見に行けない。最下位でも満員御礼である。

球場には、少し早めに行きビールを飲み、少し気持ちが良くなったところでプレイボール。楽しく観戦できる。ビールがうまい。試合が終わったらペロペロである。

球場に行けないときは、テレビ観戦。どんな楽しい番組があってもプロ野球を見る。そこでもまたビールを飲む。しかしビールがまずいときがある。それはジャイアンツが負けているとき。

私にとって野球とビールは、切っても切れないもの。皆さんも野球観戦をしながらビールはいかがですか。



警視庁第七機動隊
後藤 聡

私は、首都東京の治安を護る傍ら、警視庁バスケットボール部に属しており、

非番週休等を利用して、一日三〜四時間の練習に励んでいます。

我がバスケットボール部は現在、関東実業団リーグ三部に席を置いています。今後の目標は二部リーグ昇格であり、この目標があるからこそ日中の暑い体育館の中でも練習を苦とせず全員が練習に一致団結して奮闘できるのです。

私はこんなバスケットボールが大好きです。体力増強にもなり、また、ストレス解消にもなります。しかし、なんとこれもバスケットボール部の仲間たちは、大量の汗をかいた後のビールの美味しさに匹敵するくらい最高の仲間たちなのです。

一人で汗を流すこともいいのですが、同じ目的に向かって共に汗を流すことは一味違ったものであり、チームプレーの醍醐味なのかもしれません。

スポーツの秋に向けて体を動かし、気持ちの良い汗を流し、心身共にリフレッシュしてみませんか。

また、バスケットの経験がある方、バスケットをやってみたいという方があれば、私たちと一緒に汗を流してみたいかがですか。メンバー一同心からお待ちしております。



警視庁第八機動隊 林田 英幸

「円盤投げ」、多くの人があまりなじみのないスポーツだと思います。陸上競技の中でも一番理解しにくいスポーツではないでしょうか。私はこの円盤投げを高校から七年間やってきました。

陸上競技は「走る」、「跳ぶ」、「投げる」と大きく三つに分かれますが、その投擲の中の種目の一つです。他にも槍投げ・砲丸投げ・ハンマー投げという種目があり、テレビ等でご存じかもしませんが、円盤投げについて、投げ方や一流選手の名前を答えられる人は少ないでしょう。

簡単に言えば投擲は、距離を競うもので、円盤の重さは一般男子で二キログラム

ム、二、五メートルのサークルから、より遠くへ投げる競技です。実際に投げてみるとなかなか上手に投げる事は出来ません。

多くの人は陸上競技といえば、単純なスポーツと思われ、毛嫌いな人もいますが、私はこの陸上競技が大好きで皆さんにおススメするスポーツです。その理由の一つは、何より体が頼りのスポーツの原点であること。また、記録が目で判り、その記録からその日の体調等も判断できること。二つ目は、前にも述べたように種目が多いということです。

何かスポーツをやろうと思っている方、まず、ジャージに着替え、ジョギングでもいかがでしょうか！



警視庁第九機動隊 浅井 俊和

私は、今までの人生において自分の限界に挑戦するという事がありませんでした。が、ある時、有名なボディビルダーのビデオを見て、「世の中には、こんなにすごい人達もいるんだな」と感嘆し、一度自分の限界に挑戦してみたいと思うようになりました。そんな折に新隊員として九機に着隊した訳ですが、隊内の訓練でトレーニングに励む先輩の姿を見て、自分もベンチプレスに挑戦したところ、五〇キログラムのバーベルでさえ挙げることができず、非力さを感じ知らされたのです。

「これではいけない」と深く反省し、心機一転トレーニングに励むようになりました。そして、三カ月が過ぎた頃からバーベルの重さもぐっと増え、体もみちがえるように引き締まっていくのを感じ始めました。

約一年半が過ぎたある日、ジムの会報で「重量挙げ大会があるのを知り、さっそく申し込みました。結果は、一三五キログラムをクリアすることができ、五〇人中十二位と自分なりに満足でした。しかし、トップの人は一七五キログラムを挙

げたという事実を聞き、「まだまだ自分の限界に達していないな」とつくづく感じ、現在は次の大会に向けて更にトレーニングに励んでいます。

私は、ウエイトトレーニングを始めてからは今までの自分とは違い、仕事や私生活において「自信」を持つて対処できるようになり、何事にも積極的に取り組めるようになったと思っています。

今後自分の限界を知るため、また心身に活力を与えるため、このスポーツを続けていきたいと考えています。



警視庁特科車両隊 阿部 伊織

「遙か遠い外洋の暴風域でできたうねりは、何千キロの長旅をし、サーフという形で海岸にたどり着く。私はそのサーフを待ち焦がれ、それに乗る。」

今、私が夢中になっているスポーツは、サーフィンです。サーフィンは、一年中することができ、高度なバランス感覚と、それを支える筋力を必要とするスポーツで、誰でもすぐにというものではありませんが、練習をすれば必ず波の上を滑れるようになります。

大自然が生んだ、その時その瞬間にしかない波の上を自由に滑る爽快感は、言葉に言い表すことができません。

サーフィンもスポーツ競技なので、様々なルールがあります。自分の技量に合った波を選ぶこととルールをしっかり守れば、事故を防ぐことができます。

二〇〇〇年に行われるシドニーオリンピックでは、サーフィンも競技種目の一つに入ると聞いています。これを機会に、是非一度サーフィンを通じて大自然と一体となり、波の上を滑る爽快感を味わってみてほしいと思います。

お知らせ

◎十一月二十六日(水)午後五時三十分より、「新潟グラッドホテル」において北陸支部総会を開催致します。新潟市下大川通三ノ町二二三〇

隊員から隊員へ一通の手紙

潜水研修でお世話になった皆さんへ



岐阜県警察機動隊 青木 吾郎

横須賀の潜水研修でお世話になった皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

海のない岐阜県の私にとって、初めて潜る海での捜索訓練は、もちろん、ブルでの厳しい基本訓練は、非常につらいものがありました。特に私がつらいと感じたのは、ブルでの水平潜水の訓練でした。ブルの端から端までの素潜りで一往復することが、あんなに苦しく、遠く感じるとは思ってもいませんでした。一日の訓練の一番最後に行われる水平潜水を私は研修の三日目にしてようやくクリアすることができました。一往復して水面上がったときのあの空気のうまさ、そして同じ研修生からの拍手は、忘れることができません。

先生の言われる水平潜水のコツは、「何も考えず、前を見ずに、自分の真下のブルのラインを見て泳げば、知らないうちにゴールに着いている」ということでした。この教えは、今後の仕事をこなしていく上で大変参考となるものでした。目先のことで、結果だけを追求するのではなく、時には冷静になり、基本を振り返り物事全体を見ながら進めることの大切さ、必要性を痛感させられました。

潜水研修は、私にとって大変有意義で、貴重な経験となり、ご指導いただいた諸先生をはじめ、素人の私を励ましたりしてくれた皆さんに大変感謝しております。この研修を生かすため、素人なりに技術を向上させるための訓練に励んでおります。お世話になりました皆さんの益々のご活躍と、ご健勝をお祈りしております。

◎十一月二十八日(金)午後六時より、「ホテル仙台プラザ」において東北支部総会を開催致します。仙台市青葉区本町二二二〇一皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|---------------|-------------|---------|-----------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|------------|---------|---------|----------|----------|-----|---------|
| 北越メタル(株) | 早達運送(株) | 廣島シャーリング工業(株) | 太陽シャーリング(株) | 宮崎精鋼(株) | 東海鋼材工業(株) | 岡谷鋼機(株) | 橋山和正(株) | 国見山(株) | 木村利秋(株) | 大東港運(株) | 村山鋼材(株) | 東京テレメッセ(株) | 大洋製鋼(株) | 周東照会(株) | 高周波熱錬(株) | 学嘉悦学園(株) | 機動隊 | 任務の完遂光れ |
|----------|---------|---------------|-------------|---------|-----------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|------------|---------|---------|----------|----------|-----|---------|

読者の広場

乗物好きの雑感

東京本部 芝本 尚武

つい最近、東京ステーションギャラリーで英国鉄道のポスター展を見る機会があり、大変興味を持って見させて貰いました。そもそも昔から人並み外れた乗物好きで、汽車、飛行機、自動車、船など、乗ったり見たり読んだりしながら、興の尽きることがありません。終戦直後、両親の住まいが駐留軍に接収されたため、昭和二十年の前半、杉並は西荻窪の祖父のところに世話になっていた当時、鼻緒がよく切れる下駄と半ズボンで、鼻緒が切れたヤンチャ坊主で、そこでは、私の祖父が大事そうに模型機関車を手作りしていたことが、乗物に興味を持つきっかけの一つになったものと思います。その頃は小学校も二部授業でしたので、わざわざ私立校へ省線で武蔵境駅までチヨロレトカラーの六三型電車で毎日通っていたことも乗物好きにつながったのかも知れません。また、兵庫県の芦屋の祖父を訪ねて、年一回特急ツバメ号やハト号で東海道線に乗ると、定時に発車、到着することが子供心に小気味よく感じられたものです。

当時の東海道線はまだ全線電化されておらず、Sに引かれて力強く走る様子に心をときめかせたことが新鮮な記憶として残っています。大阪から京都までの区間は、阪急のような名だたる関西の私鉄列車と並行して走りながら、抜きつ抜かれつの競争に、ワクワクしたものです。

沖繩に行くのにまだバスポートが必要だった昭和三十三年頃、父に連れられノースウエストのダグラスDC7Cに乗せて貰いました。米軍基地の将校クラブだったかはつきりとは覚えておりませんが、そこでは小さな子供供までがネクタイをしてダンスをして

ているのを見て、強い印象を受けましたが、そんなことが後年アメリカで生活するきっかけとなったのかも知れません。

飛行機といえば当時はプロペラ機でしたが、二十分も前に飛び立つた便を速度の速い後発便がまさに飛び越して行くなんて、今では考えられないことでした。

子供の頃からそんな乗物好きな自分ですが、今年で年間相当回数、飛行機にお世話になっています。平成四年七月には、乗り合わせたキャビンに一人だったこともあり、ストックホルムからウラル山脈の上空まで、パイロットに誘われてゴックピットに入れて貰うという幸運に恵まれ、またとない貴重な体験をしました。今でもジェット機に乗ると、機番をメモする癖があります。

つい最近アメリカへ出張のおり強く印象に残ったことは、レーガン大統領のオープンスカイポリシー、規制緩和と政策の結果、長く航空界に君臨したパンナムやイースタン航空が既に無くなって久しい中、いま当地の空には、機体の色やマークを見ただけでは訳の分からない航空会社の飛行機が無数に路線を拡大し、びっけりさせられます。何しろ少しも安く目的地へというので、空港のカウンターでのチェックインから搭乗前のキップのもぎりまでをやっていた係員が、はては出発前にそそくさと機内に入り込んできて乗客に安全説明をするなど、徹底した効率化、省力化を行なっていることです。とても昔の飛行機の旅のような情緒が感じられぬ反面、まるでタクシーにボンと飛び乗るような手軽さを感じます。ちなみに、機内食はファーストクラス以外はサンドイッチと果物の袋を各々自由にピックアップして乗り込むというものでした。

乗物好きにとっては、他の乗客がいらいらするようないこともあったり気にならないという利点もあります。今回の出張でもアトラクタ空港で、離陸用と着陸用の各一本の滑走路をフルに使ってもなお、私の乗った飛行機の前に二十数機が離陸待ちでズラリと並んでいましたが、私にとってはそれらの様子を見ているだけでも楽しいことで、こんな待ち時間など一向に苦になりません。

また飛行中、パイロットから「BーとB52爆撃機の編隊が飛んで来ますよ」というアナウンスがあり、急いで窓の外に視線を走らせると、自分達の左下を大きな爆撃機の一群が悠然と滑って行く様子をみるのができ、感激でした。

よくフライト中に目をこらすと、周辺にも結構な数の民間商業機が上下左右、流れるように飛び交っており、アメリカの空がこんな一杯では、何時事故が起きても不思議でないと恐ろしい気がしたものです。

コロラド州デンバーの郊外へ出た時、ハイウェイ沿いに一〇五両編成の長い長い貨物列車に遭遇しました。露天掘りの石炭を火力発電所まで運ぶのだそうですが、その発電所は、それこそ地球が丸く見えるほどの広大なところに長い煙突を三基とそびえさせた巨大な施設です。こんな長い貨物列車になると、最新型の交流式(AC)ディーゼル機関車四台(一台八〇〇馬力)で引張っており、その迫力は半端ではありません。説明を聞いて一度びっくりしたのは、これだけの量の石炭でありながら、この発電所が僅か一時間に消費する燃料にしかならないということ、この長蛇の貨車が一日に二十五往復で石炭を運び続けているということでした。将に耳を疑うような話です。原発による放射能汚染を起さないための対策なのでしようが、一方で地球の温暖化にどのような影響があるものかと考えさせられます。

デンバーの南のローカル空港では、偶然、米軍機の博物館を見つけた。紙面の都合で全部の紹介ができず残念ですが、一つだけはぜひお伝えしておきたいと思えます。ここでは、あのB29を始め、懐かしい機体が所狭しと並び、飛行機好きにはワクワクする光景です。ここでの話のさわりと、後退翼を持ったB47と呼ばれるジェット爆撃機が展示されていたことです。この飛行機について聞かされたことは、私にとつてはある種の衝撃でした。これは二人の搭乗員によって操作され、当時の仮想敵国・ソ連のミグ15や17の迎撃を受ける時に備え、一定射程距離に入ってから来るものに對しては、自動的に無差別射撃を行なうオープンファイアシステムを搭載して

自身を守る爆撃機であるとのことでした。一九四〇年代後半から五〇年代始めの冷戦の中、戦略機は敵地深く原子雲に突入して放射能で乗員が命を落とすことを想定し、操縦士を失った後も、目的地に到達後自動的に原爆を投下する仕組みになっていたとのことでした。更に、任務を果たしたその爆撃機は、最高速度で急降下して地面に激突、自爆する設計になっていたという凄まじいものです。アメリカにもそんな飛行機を作った時代があったのかと、日本の特攻隊を思い出しながら、帰国の機上でも、この乗物好きの胸から複雑な気持ちが消えることはありませんでした。

維新史管見

東京本部 滋岡 長平

昭和十三年の春、大學に入ったばかりの私は当時文部省内にあった維新史料編纂事務局に小西四郎氏を訪ねた。彼は後年維新史の權威となったが、私が中学生の頃姫路の小西家に暫ら寄宿した縁で長く兄事して来た仲であった。その時機の上に桐箱入りの紅白の饅頭があり、それを二人で賞味したのである。当時編纂局の總裁は土佐の元勳田中光顯伯であったが、その菓子は九十四歳の高齢で孫の様な側室が男児を擧げた内祝として全局員に配られたものであった。その小西氏も一昨年亡くなり、約六十年の記憶も薄れた今年の初め、NHKが「堂々日本史」なるドキュメント・シリーズで幕末の土佐を取り上げ放映した。それは明治維新は薩長土三藩の志士達の活躍で成就したが、最も多くの犠牲者を出したのに報われる事が少なかったのが土佐藩であるとして失地回復を圖つたのが田中光顯であることなのである。先づ日本海軍戦の前後、昭憲皇太后の夢枕に坂本竜馬が現われて「我が海軍は必ず大勝するの御安心あれ」と云つた有名な説話は田中の創作だとされる説、また彼が出身地の佐川町に自らの雅号を冠した「青山文庫」を設立し、志士達の遺文や資料で埋めた事実は紹介して居るものの、彼が明治年間土佐維新勤王史を刊行し、前述の如く昭和十二年の秋、

總裁として十五冊の「大日本維新史」の完成を見届けて翌年逝去した事に就いて全く觸れていないのは遺憾と云うべきである。以下彼の履歴や存念に就いて略述する。彼は佐川町出身、前名を浜田辰樹と云い山内容堂の師にして参政であった吉田東洋を斬つた那須信吉の甥であった。文久元年、武市瑞山が主宰した土佐勤王党に加盟し、坂本、中岡等と構原の峠を越えて脱藩し、田中光顯と改名して他藩の志士と交流して尊攘運動に挺身する。慶應三年秋、中岡の死後、陸援隊をひきいて錦旗を奉じて東征に従い、維新後は岩倉遣欧使節に随行、西南役に従軍、警視總監、學部院長を経て宮内大臣になり伯爵を授けられた。処で薩長両藩は関ヶ原以来の反幕精神が上下の團結を支えたのに対し、土佐藩の下級藩士は凡て一領具足の長曾我部の遺臣であり、忍従の歴史が尊攘思想に昇華して一藩をリードし、遂には後藤、福岡、板垣、各等の土佐を巻き込み、薩長に追尾して維新を成就したのである。その間藩内の摩擦と孤立した脱藩者の犠牲は異常に多かった。天誅組、池田屋、甲子の変、天王山、六角獄等の横死者に加え藩内の刑死、野根山事件など百人を越える。光顯曰く自らを含めて四十四名の初期脱藩者中、維新直後の生き残りは自らを含めて四名のみと嘆き、自らの栄達にも忸怩たる想を持った如くである。従つて維新後、薄命の志士達の行方を探る遺骨を調査して各地で改葬を行つたり遺族の援護につくしたりした。

明治二十四年四月、土佐四天王、即ち武市、吉村、坂本、中岡の位階贈贈に際し、土佐から武市末亡人富子を迎えて東京九段で祭典を執行したのも彼であった。土佐藩固有の事情の中で非命に仆れた若者達を讃えその鎮魂を願つたのが彼の目的であり、失地の回復などではなかったと私は思う。

坂本、冒頭に述べたエピソードに就いて、過日当時中岡の近所に居た友人に話した処、高齡の翁に男児誕生の話は評判のトビックであった。之に信を掛けば翁は強運に恵まれ、位人臣を極めたのみ、蓋世の英雄と讃えられるべきであらう。

今月の言葉

平成九年九月十八日、福岡県柳川警察署の故山下警部補の警察華がとり行われた。故山下警部補は、去る八月十三日管内の警ら活動を終り、駐在所において勤務中、来訪者を装った男から、突然、隠し持っていた出刃包丁で左胸を刺され、犯人を制圧逮捕しようとするも、力尽きてその場において壮烈な殉職を遂げられた。

故人は、福岡県警察官を拝命と同時に機動隊に勤務した後、柳川警察署に栄転され、十三年余にわたり駐在所勤務をされていた。その温厚誠実な人柄でもって地域に溶け込まれ、その職務に生き甲

第17回 全国豊かな海づくり大会を開催 万全な警衛警備で任務完遂!!

～岩手県警察より～



「魚もぼくもウキウキワクワクワ海づくり」を大会テーマに、本年十月五日、「第十七回全国豊かな海づくり大会」が本県において開催されましたが、この大会には、例年、天皇皇后両陛下がご臨席されており、本県にとりましては、実に二十三年ぶりの行幸啓警衛警備でありました。

今回の警衛警備は、

- 県民挙げての熱狂的な歓迎が予想されたこと。
- 広範囲なご行程であること。
- お召列車（一号編成）ご利用に伴い、鉄道マニア対策を要したこと。



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円（送料共）
（但し会費の中には購読料を含む）

など困難な警衛警備が予想され、一都一道八県から約一、二〇〇名の特別派遣部隊の応援を得て実施した結果、事件事故等の発生もなく無事終了することができました。本警衛警備において、特別派遣部隊の皆さんには、沿道・沿線及び行幸啓先配置、エリア警戒等、重要な任務に就いていただきましたが、各級幹部の適切な部隊指揮と一糸乱れぬ部隊活動の展開、創意工夫による目立たないスマートな配置、更には歓迎迎者に対する親切丁寧な対応等、両陛下のご身辺の安全確保はもちろんのこと、皇室と国民との間の親和の確保にも十分配慮していただきました。皆さん方の真摯な取り組みは岩手県民に感銘を与え、ともに、今後の警衛警備に存分に反映されるものと確信しております。まさに「周到かつ洗練された警衛警備」を実施していただき深く感謝いたしているところであります。

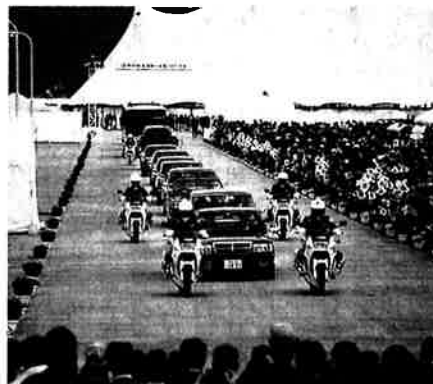
本県警察といたしましては、今次海づくり大会警衛警備を業務の最重要課題として取り組み、成功裡に終了させることができました。これは、特別派遣部隊の皆さんと本県警察が、強い使命感と旺盛な士気の下に一致協力し、全力を傾注した証拠であります。ありがとうございます。

終りに、特別派遣部隊の皆さん方の



「全国豊かな海づくり大会」とは、豊かな海づくり大会は、水産資源の維持培養と海の環境保全に対する意識の高揚を図るとともに、水産業に対する認識を深めるための幅広い国民的行事として行い、水産の振興に資するため、昭和五十六年から開催されています。

益々のご活躍を祈念するとともに、本警衛警備に注がれた皆さんのご苦勞に對し、改めて敬意を表する次第であります。



生きる権利と狂気の犯罪

斐を感じ、生涯、駐在所勤務をしたいと、同僚にその意中をもらすほどであった。その仕事ぶりは広く地域住民から深く慕われており、「どうして、あんなに良いお

捜査の結果、翌八月十四日早朝、この犯人は逮捕されたが、犯人は精神不安定のため入院中の身で、益休みの一時帰宅直後の犯行であった。「警察官であれば誰でもよか

精神不安定者や精神異常者による同種の犯罪は、これまで幾つも発生し、新聞報道されているが、その度に人権とルールによる制約のはざまに思いをはしらせ、誰で

巡りさんが・・・と、その死を惜しむ声が、駐在所管内を越えて湧き起こったとのことであった。

事件発生後、福岡県警察の総力を挙げた

つたとの犯人の弁を聞いて、何故、このような人を一時的とはいえ野放しにするのかと、病院側のいいかげんさが腹立たしく思えた。

もが持っている生きる権利を、むざむざと狂気に侵害されるままに放置していいのかと自問自答し、人権尊重の大切さを思えば思うほど、その予防的解決策が見出

せないもどかしさに苛立つ思いがした。集団的な社会的不正義に對して、それと闘う市民の権として機動隊が存在しているが、このような個人的な犯罪の防衛的な措置がほかにとれないものか。

人は、生きるために日々努力している。それは昔も今も、そして将来もそうであろう。その努力が、狂気によって一瞬にして破壊される。それも全く無防備のうちに進行されている。

そろそろ、われわれは一市民として、また法律家も、国家も、市民の生きる権利を狂気から守るために、国民の権利・義務の観点から論議していく時機ではないかと思う。

（理事・九州支部長 高橋 重廣）

〈今月のテーマ〉

今年の警備



関東管区機動隊
安田 裕之

私は管区機動隊員に指定され三年目になります。今年は、成田警備を中心に警戒警備に従事しました。

今年の成田情勢は、空港建設用地問題が進展し、地域と空港の共生が進められるなど新たな局面を迎えました。

これに呼応して極左暴力集団のゲリラ事件が頻発し、心身を緊張させての警戒警備が続きました。

春の「三・三〇新東京国際空港反対闘争警備」は部隊新編成後初めての大規模警備に従事しました。

また、秋の「一〇・一一新東京国際空港反対闘争警備」は関東管区機第三大隊となつて初めての大隊編成による出動となるなど、今年は「初」が続きました。

しかしながら、機動隊員として誇りを勇躍させて警戒警備を完遂することができ、私にとって充実した一年でした。

今、私たちが従事している成田警備は、さらなる進展を見せつつあります。この警備で殉じられた先輩の志に思いをいたし、また、諸先輩の血と汗の滲むような努力に学び三〇年の歴史と伝統に恥じることのないように全力を尽くして与えられた任務を完遂していき

たいと思っています。



四国管区機動隊
山下 朋行

四国管区機動隊員に任命されて、四年になるが、今年は今までにない警備を経

験することができた。今年の初めに本県知事の私的発言を捕えて、県内外の右翼団体が反発、街宣活動を開始し、二月には街宣車が知事公邸に突入するという事件が発生した。我々は二十四時間体制による公邸張り付け警戒、知事の身辺警戒、街宣に対する暴騒音取締り等の任務に当たることとなった。

県内とはいえ半年を超える警備は、今まででいざいざ一ヶ月くらいの出動しか経験がなかった私たちに様々な教訓を残してくれた。

一つには、人ひとりの安全を確保することの大変さである。このことはさらに、全県民の安全と平穏な生活を確保することの大変さを再認識させてくれた。

また、終わりが見えない警備の難しさも実感させられた。今までの出動等では、対象が責任担当区域を離れば、あるいは各種大会が終了すれば任務解除という、いわば目指すゴールがあるおかげで緊張感を保持できたのだが、今回はいつ任務解除となるかわからない、ややもするとマンネリ状態に陥りやすい警備であつた。そしてそのことに気付いて反省することも度々であつた。

私にとって今回の警備は、今後の警察活動での大きな糧となるだろう。将来マンネリ状態に陥っていると感じたときの戒めとして、心に刻んでおきたいと思う。



北海道警察機動隊
和島 正

「小樽市内は埠頭を中心に十数万人の見学者のため、交通は各所で大渋滞し、大規模な雑踏事故のおそれ有り。至急、応援願いたい。」旨の現地本部からの至急報により、我が小隊は緊急出隊した。

それは、本年九月六日「米空母インディペンデンス号」が小樽港に初寄港したときのことであつた。前日、寄港反対のデモに対する規制部隊として任務に従事していた我々は、今度は「ひとめ、巨大な空母を見たい。」という群衆との闘いとなつ

た。人波をかき分け、やつとこのことで現地本部へ到着し、部隊員を配置。「人が倒れた」との声があれば拒架を担いで走り、立入禁止区域に入ろうとする者あれば、大声で注意喚起する。まさに汗を流し、声をからしての任務であつた。相手は、昨日のデモ隊の群衆とは違う空母見たいさに雑踏する老若男女であり、ソフトな対応が求められ、絶対事故者を出すなどの基本方針である。「艦内を見るのに何時間待たせるだ」との罵声に対しても、ぐつと堪えソフトに対応する。そんな中にも「機動隊のお巡りさんも交通整理やつてんだ。苦勞様です。」との労いの言葉に励まされたりもした。

社会情勢の変化に伴い、機動隊の任務も集団不法行為等のデモ対応から災害警備・各種警戒警備へと多岐に渡っている。昨今であるが、治安の皆としての役割は依然として変わることはない。五日間で延べ三六六万人の雑踏警備を終え、帰隊途中の車窓からライトアップされた「インディペンデンス号」を眺め、「この世を花にするために」と心でつぶやき、全身困憊しきつた一年生小隊長である私の修業は、まだまだこれから続くのである。

青森県警察機動隊

吉田 稔

今年の治安警備の中で一番印象に残っているのは、三月十八日六ヶ所村で行なわれた「第二回海外返還高レベル放射性廃棄物搬入」に伴う警備である。

この警備は、直前に東海村再処理工場の事故が発生し、沈静化していた反核気運が一気に盛り上がり、世論の追い風を受けた反核グループの不法行為が予想されるなどまさに「治安のプロ」である機動隊の真価を問われる警備実施であつた。

当日、労組が抗議集会を実施するとともに反核市民グループがむつ小川原港交差点入口で警察の警告を無視して座り込みを続け、更に、輸送開始時間が迫るにつれ、中核、革労協を主体とする極左系グループが座り込みの市民グループを支援するように道路上に蟻集、体を張って阻

止行動にでたため、我々機動隊と輸送門扉をはきめ合いの状態が続いた。



輸送開始直前、警告を続けていた機動隊長から市民グループ等の排除の指揮を受けた機動隊は一丸となり、極左系グループの真ん中に突入、一気に歩道上へ押し上げるとともに阻止線を張り、座り込みの排除活動を迅速に実施、無事輸送を完了させ任務を完遂することができた。

今回の警備実施では、混乱する現場でも冷静沈着に行動する新隊員に一年間のはつきりとした成長の足跡をみることで、き分隊長として感無量の気持ちであつた。

本県においては、核燃施設があることからこのような大規模警備実施が幾度となく実施されると思うが、日々の訓練を糧に若い力の結集で乗り越えていく決意である。



愛知県警察機動隊
寺田 裕志

光陰矢のごとしと言われるように、時の立つのは早いもので、私が治安の最後の砦である機動隊の門をくぐってから早六ヶ月が過ぎようとしています。この間、入隊早々に機動隊の厳しさを認識した新隊員訓練を皮切りに、各種の機能別部隊訓練を連日のように積み重ね、まだまだ未熟ではありますが、一人前の機動隊員になりつつあります。

さて、入隊してからの治安警備実施で私の印象に残ったものに、高速道路橋脚補強工事区内のホームレス排除に伴う

警備実施があります。

当日はかなりの混乱が予想され、機動隊では、連日各種訓練や関係法令等の教養を実施し、その日を迎えましたが、結果的には大きな混乱もなく我々の出番はありませんでした。現場はなくとも「警備実施は事前の準備で決まる。」と言われるように、この警備では、一連の事前準備として、隊長の訓示をはじめとし、中隊、小隊、分隊別による教養、訓練、検討が行われ、初めは不安でしたが、徐々に心と体の準備ができていきまし

た。そして機動隊の団結力というものを改めて体感することができ、この時ほど自分が機動隊の一員であることを感じたことはありませんでした。



兵庫県警察機動隊
瀧 正秋

今年を振り返ってみると、年初にはじまった全日本教職員組合の教育研究全国集会警備、神戸での連続通り魔事件及び小学男児殺害死体遺棄事件に伴う警戒活動、さらには指定暴力団山口組若頭射殺事件に伴う組事務所の張付け警戒（現在も継続中）等に従事し、たいへん忙しい一年であつた。

全教の教研集会警備では、暴騒音取締隊の分隊長として、違法行為は絶対に許さない、という本警備の基本方針を念頭に分隊員を指揮して警備に従事した。そ

の結果、公務執行妨害、道路交通法違反事件の検挙、その他いわゆる暴騒音取締条例による勧告、立入命令等を多数行い、所期の目的が達成できた。

連続通り魔事件等に伴う防犯活動では、一日も早く解決するとの意気込みで、連日連夜警戒に当たった結果、住民からの激励の言葉を受けるようになり、それまで希薄であった地域住民相互又は住民と警察との関係が警戒活動を通じて強化されたことは、事件の凄惨さからすればせめてもの救いであり、住民と警察との相互理解と協力の重要性を改めて痛感した。

そして現在は、暴力団事務所の張付け警戒に従事している。この発砲事件は、現場に居合わせた善良な市民が巻き添えで死亡するという絶対に許すことのできない事件であり、二度と起こさせてはならない。

私は治安維持の最後の砦である機動隊の一員として「訓練は実戦の如く、実戦は訓練の如く」を合言葉に日々の訓練に励むとともに、本県機動隊編組の一節である「我々は治安維持の戦士なり、率先挺身もって暴力を制せん」を胸に秘め、今後も微力ながら市民が安心して暮らせるように、治安の維持に日夜努力する覚悟である。



広島県警察機動隊 中川 勝範

平成九年中の大規模警備出動は、秋篠宮同妃両殿下お成りに伴う警衛警備実施で締めくくろうとしていた。両殿下は、全国都市緑化祭にご臨席のため、十月七日から九日までの三日間、広島市内を中心にお成りになり、私は私服警衛員としてご順路の間近を警戒するという重要な任務に従事した。

初日の七日は何事もなく推移したが、二日目の十月八日、緑化祭のメイン会場である広島大学跡地でその事件(?)は起った。奉迎線の内側は、両殿下をお迎

えする一般人約八〇〇名でつた返しており、少しでも前列に出ようと押し合っている状況であった。幸いにも転倒者等はなかったが、もし走っていた奉迎者が将棋倒しにでもなり大きな事故になったと思うと背筋が寒くなったのである。

この事案により、事前広報の徹底の重要性を改めて認識するとともに、多くの奉迎者を相手にした警備実施の難しさを痛感したのであった。

平成十年には、「全国みどりの愛護のつどい」に伴う警衛警備実施が予定されている。時代の変化に即応した万全な警備実施ができるよう、今後も精進して行く覚悟である。



沖縄県警察機動隊 狩俣 勝吉

平成九年五月十五日、この日は私の警察官人生で一生忘れることの出来ない一日になりました。

五月十五日、米軍基地の使用期限切れ問題に絡んで、極左各派は反基地闘争を激化させ県外からも極左千数百名が集結し、集結と同時に、集会、デモ等活発な活動を展開しました。我々機動隊は昼夜の別なく取り組まれた集会デモ警備に奮闘し、体力も限界にきていました。

五月十五日夜間、極左暴力集団は、嘉手納基地第一ゲート前にゲバスタイルで集結し始めました。

その状況から私は「今日は荒れるぞ、負けるものか」と体力の限界にも自己の気力を奮い立たせ、彼らの基地突入阻止を誓い楯の取手をギョッと握りしめました。彼らは我々に罵声を浴びせ、また行動も過激で、嘉手納基地第一ゲート前で対峙している我々機動隊員に今にも体当たりし、是が非でも基地内に突入する勢いでした。

しかし我々機動隊員は、極左の強行突入事案を想定した警備訓練と万全の警備体制により極左の基地侵入を防止し、不法事案を未然に防圧して職務を全うした

のです。

沖縄では米軍基地問題にからむ警備実施が多く、つらい時もありますが、常に最悪の事態を想定し、日々の警備訓練を重ね「最後の砦の一員として治安維持のため」にがんばって行きたいと思えます。

永年、当会の常任理事としてお勤めいただいた麻生博氏が十月九日肺炎のため急逝されました。故麻生氏は病床にも拘らず逝去の一周間前十月三日に本紙のため執筆されたのでありますが、ご遺稿を有難く掲載させていただくとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

チャーチルの国葬

麻生 博

一九六五年(昭和四十年)私はドイツに、事務所開設の為に رفتった。たまたまこの日は所用でロンドンに行きチャーチルの国葬に出会った。我々一般見物人は少なく、葬列は旧市街地を通り、国葬が行われるセント・ポール寺院へ進んでいった。ユニオン・ジャックの旗に包まれた棺が砲車の上に安置され、石だたみの狭い道を引かれて行くのをビルの三階の窓から見送ったものだ。砲車には大砲が付けられたままで、チャーチルは軍人だったのだとの印象を新たにさせられた。参列者には武装した兵士が多く、その服装も各国それぞれに違い、華やかであった。中でも世界最強の艦隊、陸戦隊から派遣された兵士は、小銃と火器を肩から下げ銃口を地面に向けていた姿が、物々しく印象に残っている。私達の背後の通りでは、次に参列する兵士がひしめきあい、その行進距離の短さと混雑が、記憶に強く残っている。この国葬に際し、イギリス政府は元連合国各国に軍人三人の参列を要請したところ、予想を上回る大勢の退役軍人・現役軍人が参列することになった。その様子は同窓会かオリンピックのようだったと、当時の新聞が報じたのを覚えている。最近、サッチャー元英首相は、第二次世界大戦を戦い抜き、戦後の冷戦体制を



築き上げ、対ソ連強固姿勢に終始したチャーチルを「偉大な政治家であり、軍人である」と評している。

私はヨーロッパに在る間、王族並びにその一族の生きざまに大変興味を持ち、調べたことがある。それは日本の皇室とは異質なものであることがわかった。チャーチルの国葬に際してもノールウェー、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ等のヨーロッパの王室は、特異な道を選んでいった。これらの国王や女王はチャーチルの遺体が安置されているウェストミンスターホールを弔問に訪れたが、国葬に参列することなく直ちに自国に帰ってしまつたのだ。

これらの国々が、今回のダイアナ元皇太子妃の葬儀に参列するかどうか大変興味をもつて見ていたが、今回の葬儀に際して、参列に消極的であった。王室からの参列者はオランダとスペインだったが、国王や女王ではなかった。ヨーロッパの王室は独自の道を歩んでいる様に思えてならない。これらの国の王族、貴族の中には国境を越え結婚したり、他国に移り住む者も多い。彼らは政治と離れた自由で私的な生活をおくっているように思われる。私はこうしたヨーロッパの王国が、独自の道を歩んでいるのが分かる気がする。

誇りと使命感
充実の機動隊

東 鋼 業 (株)

(株)エース電研

栗田工業 (株)

高周波熱錬 (株)

山陽特殊製鋼 (株)

(株)三榮商會

(株)周東商會

杉尾榮俊

(株)スチールセンター

ツツミ金属 (株)

木村政次

黒田一

谷本鐵鋼 (株)

村上祐隆

明鋼材 (株)

中京製線 (株)

丸定産業 (株)

堀口海運 (株)

中越通運 (株)

(株)辻さく

高橋重廣

東 北 支 部

(社)機動隊員等を励ます会

読者の広場



かんくさん

有馬 浩一郎
(理事・東京本部)

先づ、群馬県警にいた警友から一冊の著書「かんくさん物語」をいただいた。
著者は、今回群馬県警の警察学校校長を最後に辞められた飯塚訓(さとし)兄である。

飯塚兄は、実に多才な人で、文章には才があり、県警の機関誌にもよく随筆や訓話を投稿されていたし、また、盆栽にも趣味をもたれ、赤城山の南麓に居をかまえておられたが、その地形や気候がよくホトギスの花の適地らしく美しく育てられては職場に飾っておられた。ホトギスという鳥は知っていても、花にもホトギスがあるのを知ったのは初めてだった。他所でこの花を見ると飯塚兄を思い出してはいた。

ほかに油絵もたしなまれ、群馬県在の画家の北村真氏を紹介していたいたのも飯塚兄である。

その飯塚兄が、警察人生三十六年間のいわば卒業論文として「かんく(駐在さん)」をテーマに選ばれた。戦後間もない群馬の僻地の駐在さんの苦勞を生き生きと描いておられる。治安に任ずる駐在さんと村の人々との交流を九編のオムニバスで綴られている。

飯塚兄はこれを著すにあたり、実際に駐在勤務をされた多くの先輩を訪ねられ、取材する形でこの著書が構成されている。その苦勞は大変なものであったと思う。この本がいかにすばらしいかは、評論家

で作家で有名な俵磨子さんから推薦文をいただいていることも分かる。

私が群馬県警に在任しているとき、厳冬のなかで頑張っている遠隔地、当時は僻地とはいわなかった駐在さんを奮励にいくことになった。当時、警察本部の監察官をされていた飯塚兄が「群馬では「かんくさん」といふんですよ」といわれたのを憶えている。

群馬県では、明治二十年一月二十六日に、「警邏(ろ)管区規定」が制定され、警察署、分署の管轄区域を数町村単位で区分して「管区」とし、巡査一人を管区内に居住させて治安維持に従事させる「こと」となり、この警察官を「管区さん」と呼称するようになったという説明であった。

他府県では、一般に「駐在さん」と呼んでいるのでこの「かんくさん」の呼称は群馬県独特のものであろう。

「かんくさん」という言葉を初めて聞いたのは飯塚兄からであったが、その頃から彼にはこの著書の構想があったのだろうか。

この本を読んでいて、督励で訪ねたかんくさんやその家族、村の区長さんや消防団長さんらの会話が思い出される。

これらの事をもう一度思い出しながら、飯塚兄の力作を再読している次第である。

石橋湛山を偲ぶ

滋岡 長平
(東京本部)

石橋湛山は明治十七年(一八八四)東京に生れ、昭和四十八年(一九七三)八八歳で没した。彼は日蓮宗の高僧日布上人の長男で幼くして山梨の寺で修業得度し、早稲田大學で哲學其の他を田中王堂等に學び、卒業後兵役を経て、東洋經濟新報社に入社する。主筆天野鉄太郎の知遇を受け、共に徹底した自由主義を唱え、藩閥、官僚政治の打破、普選及婦人参政権の実施を目標とし、産業の振興と貿易の発展を立國の基礎としその為自由貿易を標榜し帝國主義的領土の拡張を批判した。入社後は大正元年(一九一二)で中華民國発足の年で

ある。彼はその成果を我が國の明治維新と同様に評價し祝福した。二年後第一次大戦が始まり、我國は青島等を占領し、対支二十一ヶ條を押しつけ、度々山東に出兵、昭和六年柳條湖事変を起し十五年戦争に突入して行く。湛山はその間初心忘る處なく新報紙上に日中友好を説いて止まなかった。戦後彼は日本再建を志して政界に打って出たのであるが、評論家としては生前十五巻の全集を刊行した。大正十年(一九二一)から十一年にかけて、軍縮及び極東問題を討議する為米國が催したワシントン會議に、臨むべき我が國の態度として新聞に連載したユニークな、湛山の主張は特に有名なもので略述する。先づ我國の持つ一切の植民地を放棄せよ。自らの利益を求めんとする者は相手の利益をも尊重せねばならない。植民地の放棄は何故利益か。政府の統計に基いて損益を計算すると朝鮮や台湾等の移出入額合計は、米英及インド貿易總額の三十八%に過ぎず、我が植民地には我が國産業に不可欠な重要物質に乏しく、植民地に投入したインフラの投資や軍事實費は全くの持出であり、増加する人口の消化にも役立っていない。次に植民地の拡大は列強とのトラブルを拡大する。先立つて植民地を放棄すればアジアの諸民族は歡呼の声をあげて我が國を支持し欧米に反旗をひるがえす。正に一石二鳥の策である。固より當時の軍國主義的世論の中で彼の卓見は殆んど無視されたが、敗戦後の我が國は凡ての植民地を失ったに拘わらず、自由貿易体制下にあつて固有の四島で不死鳥の如く復活し繁栄を成就した。正に湛山の予言した如く、小日本主義は自國の誇りを失わず、他國と共存し得る方途であつた。戦時中湛山は戦争の早期終結を期して心胆を砕いて努力するも實らず、出征した愛児をクダリン島で失う。敗戦後八月二十五日新報誌上で「更生日本の針路」と題して、前途は洋々たり。科學精神を徹底すれば必ず復興は可能であると、発言して政治活動を開始する。昭和二十一年第一次吉田内閣の蔵相となり、池田勇人を次官に抜擢し生産復興を重点に、戦時補償の切切、財産税徴収を勇断、積極財政を敢行する。然

し米軍の占領費の縮減を求めた事から、GHQの一部の誤解を受け吉田の援護もなく四年間公職を追放される。二十五年朝鮮戦争勃発、二十六年、共に追放を解除された鳩山と提携、日ソ復交に協力する。三十一年十二月末第二次自民党總裁に選出され七十三歳の湛山は戦後七代目の首相となつて組閣したが、脳血栓に倒れ、二ヶ月余にして自ら辞任してその悲運を惜しまれる。年余の療養で健康回復の後はその時停頓していた日中の復交に余生を傾けて努力をする。三十四年(一九五九)湛山は石橋三原則を周恩来に提示、招請を受けて夫妻ら十二名が九月初め北京に赴き、周氏と一日に亘つて協議、領土の尊重不可侵、内政不干渉、平等互惠、政経不可分に就いて共同声明を發表した。また二十七年には池田首相と交渉して、高崎、廖氏間にL.T貿易協定を締結させ、翌二十八年には湛山自らが日工展總裁として訪中、國慶日に列席して、毛、周両氏と会い、特に周の要請で別に数時間懇談し、日中復交は固より、日中米ソ平和同盟迄論じ合ったと傳えられる。

隊員から隊員への手紙



埼玉県警察機動隊
鈴木 芳裕

平成八年十二月十日午前三時、夜もまだ明けぬ間に、私は埼玉県警広域緊急援助隊員の一人として長野県小谷村の土石流災害発生現場に向き出ました。

私たちの部隊は、国道から現場までの重機の交通対策、緊急交通路の確保と土石流発生時の被害者捜索部隊誘導等、二次的災害の防止に従事しました。

長野県は予想以上に寒く埼玉県との気温差は、約一〇度で氷点下零度でありました。その為出勤服の中に衣類を着込んでいたのですが、夜間には雪が降って、二重に着けていた軍手も濡れてしまい、寒さを身にかけて感じていたとき、長野県警連誘班の

翌三十九年、湛山はフルシチョフの内意を得て訪ソしたが、彼の意外な失脚に依り空しく帰國する。四十七年(一九七二)冬三ノソノ訪中の後を受け、九月、田中首相が中國を訪問し、日中復交が実現する。首相は出発に先立つ二十五日、下落合の湛山私邸を訪ね、その日、米寿を迎えた湛山の手を固く握つて挨拶した由である。その翌年春湛山は病没したのであるが、今年は日中復交二十五周年の記念すべき年である。中國の諺に水を飲むものは初めて井戸を掘つた人の恩を忘れてはならないと云うが、我が國では湛山、松村、高崎、岡崎、田中各氏であり、中國では周恩来、廖承志等を数えるべきであらう。終りに我國は中國と米國兩大國の間に位置し、中國とは有史以前から、米國とは一世紀半のつき合であるが、夫々との歴史を踏まえ、賢明かつ辛抱強く、國民こそつて平和な關係を續けてゆく努力をすべきであらう。

(附記)湛山は、獨學ではあるが、固より經濟學に造詣が深く、ケインズ學説の紹介者でもあった。

方から防寒ゴム手袋の差し入れがあり、いっぺんに身も心も暖かくなりました。

その時、私は「県警は違つても、警察という同じ組織に勤め、そして、全国どこにでも助け合える仲間がいるんだ。」と、心強く感じたものでした。

また、連誘担当の方は本県部隊員の健康にまで細かく気配りされ、私たちが知らない土地でスムーズに活動できたのも、これら連誘班の寝食も忘れた活動のたまものだと感謝しております。

来年の長野オリンピックで、再び長野県警察の方々とお会いできることを楽しみにしております。本当にお世話になりました。

お知らせ

○十二月二日(火)午後六時より、「ニューコクサイ」において大阪支部總會を開催致します。大阪市中央区本町通二一八皆さまの参加をお待ち申し上げます。

迎春

社団法人機動隊員等を励ます会 第24回(平成9年度)通常総会懇親会



励ます会本部総会

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5

〒144

発行人 佐々木 喜朗

TEL 03(3739)0590

購読料 年間1,200円(送料共)

(但し会費の中には購読料を含む)



年頭のご挨拶

警察庁長官 関口 祐弘

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平成十年の年頭に当たり、機動隊員等に対して平素から深いご理解と暖かいご支援を賜っております。会員の皆様に対し心から御礼申し上げます。

昨年は、金泳三大韓民国大統領来日に伴う警備、天皇皇后両陛下の「全国植樹祭」等へのご臨席に伴う警備及び鹿児島県における土石流災害の発生に伴う災害警備等の警備が続くとともに、兵庫県における小学生を対象とした殺人事件及び山口組若頭等殺傷事件等特異な事件に対する警戒活動に従事するなど、機動隊員等にとって困難な状況下での警備活動が続きました。

このような一年を、機動隊員等が一丸となってこれらに対処し、活動を完遂することができましたのも、会員の皆様方からの心温まる励ましの賜物と厚く御礼申し上げます。



新年に寄せて

警視総監 前田 健治

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
会員の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
平素は、機動隊の諸活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。次第であります。

昨年は、天皇皇后両陛下のブラジル連邦共和国及びアルゼンチン共和国訪問に伴う警備警備をはじめ、フジモリベル共和国大統領一行来日及び「公賓」李鵬中華人民共和国国務院総理夫妻一行来日に伴う警備警備等、多くの重要な警備活動に携わったのでありますが、会員の皆様方の温かいご理解と励ましをいただきまして、所期の目的を達成することができました。重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、新年を迎え、治安情勢を展望いたしますと、本年も誠に厳しく、一瞬たりとも警戒をゆるがせにできない状況にあります。

極左暴力集団は、「成田」「安保・沖縄」及び「組織犯罪対策法」を重要闘争課題に掲げていますが、と

さて、新年を迎え、改めて治安を巡る諸情勢を展望してみますと、過激派は、成田闘争、安保・沖縄、皇室問題等を闘争の柱として掲げ、凶悪なテロ・ゲリラを敢行することが予想されるほか、右翼も、領土問題等に敏感に反応し、「反体制」、「反権力」指向を一段と強め、要人に対するテロ等社会的影響の大きい事案を敢行することが懸念されるところであります。

こうした中、本年は長野県において、我が国として二十六年ぶりにオリンピックが開催され、天皇皇后両陛下がご臨席されるほか、シラクフランス共和国大統領を始め、多数の国内外の要人の参列が見込まれております。

この警備には、全国から多数の機動隊員等の特別派遣を行う予定であります。厳寒期における長期間の警備という厳しい条件等から、機動隊員等にと

りわけ「成田」について、中核派や革労協派のゲリラセクトは、運輸省が発表した「二〇〇〇年度内平行政走路完成計画」、空港公園が行っている用地買収交渉の進展等に対して危機感を強めていることから、引き続き「個人テロ」や「無差別ゲリラ」を引き起こす危険性があります。

一方、右翼は、政治倫理問題や官僚汚職、金融不祥事など、政・官・財界に対する不信感を強めており、外交面では、北方領土をはじめ竹島、尖閣諸島の「領土問題」、国内問題では「歴史教科書」「夫婦別姓」「国籍条項撤廃」等、国内外の諸情勢に敏感に反応した取組みを見ていることから今後の成り行き如何によっては更にその行動をエスカレートさせる危険性があります。

こうした厳しい情勢の中、本年、長野冬季オリンピックの開催が予定されている他、エリツインロシア連邦共和国大統領及び江沢民中華人民共和国国家主席等の来日があり、更に、国会における日米防衛協力の指針(ガイドライン)に伴う関連法案審議の推移如何によっては、国の治安に大きな影響

つては、大変困難な警備となることが予想されるのであります。

また本年は、エリツインロシア連邦共和国大統領や江沢民中華人民共和国国家主席の来日に伴う大規模警備も予定されております。

このような情勢下において、全国の機動隊員等は、いつ、いかなる事態においても迅速的確に対処し得る強靱な実力と不屈の闘志を涵養し、有事に際しては治安の要として国民の皆様のご期待に応え、その任を立派に果たす決意であります。

会員の皆様方におかれましては、今後とも全国の機動隊員等に対し、なお一層のご支援、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴会をますますのご発展と会員の皆様方のご多幸を心からお祈りして、年頭のご挨拶と致します。

を及ぼすことも予想され、治安維持の要である機動隊の任務は、更に重要性を増してくるものと思われま。

もとより治安の維持は、国民の皆様方の警察に対する信頼と協力があればこそ成し得るものであり、警視庁機動隊は、「都民のため行動する警視庁」を基本理念に日々の警備にあたっております。

本年は、警視庁機動隊が昭和二十三年に「警視庁予備隊」として創設されて以来五十年目を迎えることとなります。この記念すべき節目の年に、警視庁機動隊は治安維持の最後の砦たる自覚と誇りを再認識しつつ、隊員一人ひとりがレベラップに努め、全力を尽くして皆様の負託に応えてまいりたいと思っております。

会員の皆様におかれましては、今後とも機動隊員等に対する一層のご指導とご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



機動隊員等を励ます会
名誉理事長 大内俊司

皆さま、新年明けましておめでとうございます。
当会も齢を重ねて現在に至る間、年々発展を遂げることができましたのも、会員の皆様のご尽力はもとより、私達の日常生活を陰ながら支えてくださる機動隊員等の皆さまのご努力が広く世間に知れわたる「治安の最後の砦」としての重要性が深く認識された結果と思っております。



機動隊員等を励ます会
理事長 佐々木喜朗

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

このたび、昨年六月の通常総会におきまして、鈴木氏の後を受け理事長に就任いたしましたのであらためて挨拶させていただきます。何分微力ではございますが、全力を尽くして重責を全うする所存でございます。前任者同様ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当会が大名警事部長・鈴木前理事長の下、二十年以上の永きにわたり活動されてきた中には幾多のご苦労があったものと拝察し深く感謝申し上げます。それに加えて、ひとえに会員の皆さまの当会に対する深いご理解とご支援があったからこそ、ここまでの発展が遂げられたことと思ひます。私は、このような会員の皆さまとの信頼関係をこれからも大切にしてまいります。



機動隊員等を励ます会
相談役 鈴木 實

新年あけましておめでとうございます。

昨年は在ベルー日本国大使館占拠事件に始まり、国内のみならず国際的なテロ犯罪への対応が迫られる厳しい時代にあることが強く認識された年でありました。一方、国内では全国各地で天災が相次ぎ、さらには一般市民にまで被害が及んだ暴力団体による抗争の激化、そして神戸の小学生殺人事件と凶悪犯罪も発生いたしました。

そのような中で、昼夜を分かたず機動隊員等の皆さまが、各地で警戒警備に尽力されたことで、住民はどれだけの力づけられたか知れませんが、戦後、私たちは平和や豊かさを求めて、この日本

でしたが、特に、昨今は外国人犯罪の増加や凶悪事件の低年齢化など、犯罪までもが国際化・多様化していく中で、わが国が諸外国から「世界一治安の安定した国」との評価を受け続けております。私達が心から応援してやまない皆さま方の並ならぬ活躍のおかげであることは間違いない事実であります。また、今年は年明け早々から長野オリンピックが開催され、世界中から注目される中で、皆さまの力によって必ずや無事終了するであろうことを確信しております。

本年も益々私達の励ましの輪を広げ、力の限りに機動隊員等の皆さまを応援する決意を新たに抱きしめて、新年のご挨拶といたします。

切にしていこうと心に誓っております。そして、当会の会員が心を一つにして活動できるのも、機動隊員等の皆さまが何時何なる事案に対しても正義感溢れる行動で立ち向かう姿と、日頃のたゆまない訓練に裏打ちされた強固な組織力が私たちに感銘を与えてくれるからに他なりません。日本は、機動隊員等の皆さまのご苦勞ご活躍のもとで、世界的にも優れた治安維持国であるという評価を受けるまでになりました。しかし、昨今の情勢を考えますと、今後も私たちの想像を超えた凶悪犯罪が勃発するのではないかと不安が大きいのも事実です。そのような厳しい環境下においても、機動隊員等の皆さまが「治安の最後の砦」として献身されておられるので、わが国に平和国家の模範となるべき治安が保たれたことを信じてやみません。本年も当会が一般市民と機動隊員等の皆さまとの心の架け橋とならんことをお誓いして年頭のご挨拶とさせていただきます。

という国で必死に生きて参りました。しかし、このような治安情勢から、物質的な豊かさや引き換えに、大切な心の豊かさを失くしてしまったのではないかと憂慮せざるをえません。そうした危険な時代とも言える現在、私たちの機動隊員等の皆さまに寄せる期待は益々大きなものになっております。今の若者が失いつつある強い信念と情熱、信頼関係、そして責務完遂への強い使命感を体現されている皆さまの存在こそが、今後の日本の将来を支えていく希望の証とさえ思えてなりません。

私たちは、隊員の皆さまを陰で支える機会が持てることを誇りに思うだけでなく、皆さまの最大の理解者として、この励ます会の活動を益々充実させていくことを誓います。本年も一層のご活躍をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

励ます会支部総会晴れやかに!!

第二十回 北陸支部総会開催



中長新潟県警察本部長殿
小川新潟県副知事殿

第二十回北陸支部総会が、去る十一月二十六日、新潟市内の新潟グランドホテルにおいて開催されました。総会には来賓として、小川新潟県副知事殿、中長新潟県警察本部長殿をはじめ、新潟・富山・石川各県警察の幹部、機動隊員等約一六〇名が出席され、励ます会側からは、本部役員・北陸支部役員・世話人・会員、他支部役員等約一八〇名の出席を得て、広い会場は立派な余地もなく、熱気に溢れんばかりでした。総会では、橋本誠話人の司会で進められ、支部を代表して樋浦忠話人代表が挨拶に立ち「秩序ある社会を確立し維持することは、警察だけでなく国民の責任であり、民のかけ橋として発展するよう努力していきたい」との決意を述べられました。ついで佐々木喜朗理事長は、「豊かに住んだ社会の中で心の荒廃が進んでいるのではないかと。規律ある社会をつくりたい」と述べ、励ます会が今後とも日本社会のために働いていただきたい。我々もそれをバックアップしていきたい。」と結びました。

続いて、中長新潟県警察本部長殿からは、励ます会の日頃からの支援に謝辞を述べるとともに、「昨年十二月六日に発生した「蒲原沢土石流災害」での機動隊員の献身的な活動ぶりは記憶に新しいところであり、機動隊の活動は治安警備を中心として多岐にわたっており、今後も訓練を積み、治安の任を全うする」と力強く述べられました。引き続き、種部滋康警備部長からは、種部滋康警備部長が紹介され、川村伊知良支部顧問の音頭で杯を高々と挙げ懇親会に入りました。

アトラクションでは、機動隊代表と佐々木理事長による自慢のどが県警音楽隊の伴奏に合せて披露され、最後に、中長本部長殿も飛び入りで美声を披露し、盛り上がり花を添えました。このような中ではまたたく間に過ぎ、閉会の時間となり、横田淑宏新潟県警察機動隊長殿が謝辞を述べられ、出席者全員が輪になり「この世を花にするために」を合唱した後、今井幹文世話人の音頭で、高らかに万歳を三喝し、さしめ盛大な会を閉会しました。

次に来賓祝辞に入り、浅川東北管区警察局長殿より、「本年の東北は、天皇皇后両陛下の行幸啓、皇太子同妃両殿下の行啓が集中したが、隊員は集団警備力の中核として、立派にその重責を果たした。また、機動隊に対する励ます会の深い理解と支援活動は、まさに国民及び県民の代表として機動隊を支えられていることであり、我々にとって名響かつ幸せなことである。治安の最後の砦として、国民、県民がともにあることを認識し、立派にその重責を果たし、関心と期待に応えてほしい」と、隊員に対する激励と感謝の言葉が述べられた。



続いて、佐野智則宮城県警察本部長殿が「機動隊の最近の活動は以前とは様変わりし、周囲に気を使ひながら、しかも必要な措置を講じなければいけないといった事態の難しさを感じている。警察の最後の実力部隊・砦としての気概と意気込みで取り組んでほしい」と述べられた。この後、新日本製鐵釜石製鐵所坂東総務部長の音頭により声高らかに乾杯をした。和やかな内にも会場のムードは熱気に包まれた。盛り上がり最高潮に達したところで、警察幹部、当会役員をはじめ出席者全員が肩を組み大きな輪になって「この世を花にするために」を声高々と合唱し、さしめ入りのエールが、会場は割れんばかりと化した。ここで、岩間憲雄宮城県警察機動隊長殿から、お礼の言葉と「安全と平和な社会を守るため、自覚と誇りをもって精進したい」と力強い決意表明があった。

最後に、國分重吉副支部長の音頭で万歳を三喝し、今年も盛大なうちに幕を閉じた。



1998年 全国機動隊隊長 新年の決意新たに

管 区 機動隊長

関東管区機動隊連隊長
年頭所感



村七 國利

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年は、四月から新編成となつた部隊の下で、「全国植樹祭」、「地方事情」視察に伴う警備活動をはじめ、「成田闘争」警備、更には、長野県蒲原市上流河川災害に伴う遺体捜索活動、第一、第二、日本共産党大会開催に伴う警備など、多岐多岐かつ重要困難な警備活動の連続でした。

これらの警備任務を、多くの困難を克服して見事に完遂した得たのは、一重に全隊員の真摯な事前訓練の成果であり、各部隊幹部の適切な指揮統率、そして隊員の旺盛な士気の賜物でありました。

本年は、早々に長野県下での冬季オリンピック開催に伴い、全部隊が厳寒下で厳しく警備に従事することになります。また、昨今は誠に予測困難な治安情勢下にあり、「有事即応能力の向上」が部隊にとつて欠かせない重要事となつていきます。

そのことを踏まえ、本年は、「体力・気力・知力」の更なる錬磨と、より実戦的応用訓練を重ね、有事に際し期待に応え得る警備部隊としての実力の涵養に努めて参る所存であります。

どうぞ、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

関東管区機動隊第一大隊長
能動的な隊長



田島 正哉

昨年は、宮城県蔵王での植樹祭警備活動、成田現地闘争に伴う警備など特別派遣があり、今年も、月に開催される世紀の祭典「長野冬季オリンピック」警備、十月に開催される「神奈川ゆめ国体」など予定が目白押しです。管区機動隊は、文字通り広域警備部隊として東奔西走の日々を送り派遣要請があればどんな場所にも馳せ参じて任務を遂行する部隊でもあります。警備が無事終了し受援県の警察本部から感謝された時ほど管区機動隊の存在が実感できたものです。

一連の警備を通じて感じたことですが、隊員の機転の利く行動が警備の勝敗を決めると言っても過言ではないと思います。これからは国際化に伴い益々スマートさとセンスの良さが求められ、個々の隊員の資質、能力が問われる時代になります。配置になった隊員が突発的な事態に最善の方法を瞬時に自分の頭で考へて行動できるかにかかっていく警備が多くなつてきます。そのためにこそ、隊員は、何事にも自分なりの考え、どうする、という第一人称で物ごとを考えて行動していく習慣づけが大事です。今後、隊員の能力を最大限に引き出し積極的かつ能動的な隊員を育成できるよう最善の努力をしていく決意であります。

関東管区機動隊第二大隊長
「気力、知力、体力」



三谷 功

昨年は、管区機動隊の再編が行われた直後ということもあって、各種の警備実施や警

備訓練を行うに当たって、一抹の不安をもつて臨んだのであった。しかしながら、各隊員が伝統のある関東管区機動隊員であるとの自覚をもつて活動したことにより、無事任務を完遂することができた。昨年一年間隊員と行動を共にして感じたことは、各隊員、人ひとりの能力が非常に優れているということである。

昔の機動隊員と比較すると、実戦の経験からくる警備技術では当然遅れをとるとして、今年、各隊員が機動隊としての能力を最大限発揮することができると思っています。警備が無事終了し受援県の警察本部から感謝された時ほど管区機動隊の存在が実感できたものです。

関東管区機動隊第三大隊長
年頭所感

新年おめでとうございませう。関東管区機動隊第三大隊長の指定を受け、まもなく二年目を迎えます。管区機動隊は、昨年再編成された新生関東二大は千葉・茨城の連合となりまして、両県は、利根川を境にしており、古くから活発な交流があり、私たちも互いの気心が通じ合うにさほどの時間を要しませんでした。初顔合わせとなった前回の訓練入校では、大に汗を流して大隊の素地を整え、大隊としての初仕事は「二〇二二成田空港反対同盟北原派全国集会警備」でした。

千葉警機のシンボルは、里見家紋の「引綱紋」で、栄誉・士気・茨城警機のシンボルは、県の花「ばら」で「燃える若き」を象徴しています。意気盛んな若者は、気概と誇りを、苦しいダイヤのものと結果し、苦しくても、辛くても互いに助け合い、励まし合いながら使命の遂行に全力を尽くしています。こうした厳しい訓練を幾つもの

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。

当大隊は、静岡・山梨の二県によつて構成されており、昨年は、それぞれの県内事象に目まぐるしく対応しつつ、九月末から秋田県への特別派遣も経験させてもらった。おかげで新たな編成での部隊運用にも、ある程度の自信が持てる域まで達した。しかし、本当の訓練はこれからであり、どのような状況下にあつても負けない管機を目指したい。



長谷川 廣

新年おめでとうございませう。関東管区機動隊第三大隊長の指定を受け、まもなく二年目を迎えます。管区機動隊は、昨年再編成された新生関東二大は千葉・茨城の連合となりまして、両県は、利根川を境にしており、古くから活発な交流があり、私たちも互いの気心が通じ合うにさほどの時間を要しませんでした。初顔合わせとなった前回の訓練入校では、大に汗を流して大隊の素地を整え、大隊としての初仕事は「二〇二二成田空港反対同盟北原派全国集会警備」でした。

千葉警機のシンボルは、里見家紋の「引綱紋」で、栄誉・士気・茨城警機のシンボルは、県の花「ばら」で「燃える若き」を象徴しています。意気盛んな若者は、気概と誇りを、苦しいダイヤのものと結果し、苦しくても、辛くても互いに助け合い、励まし合いながら使命の遂行に全力を尽くしています。こうした厳しい訓練を幾つもの

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。

当大隊は、静岡・山梨の二県によつて構成されており、昨年は、それぞれの県内事象に目まぐるしく対応しつつ、九月末から秋田県への特別派遣も経験させてもらった。おかげで新たな編成での部隊運用にも、ある程度の自信が持てる域まで達した。しかし、本当の訓練はこれからであり、どのような状況下にあつても負けない管機を目指したい。

今後、警備実施では、「集団警備力としての精強」と、個々の隊員の資質ともいうべき「警戒力の高さ」が求められることは言うまでもない。いずれの場合でも、諸般の情勢を的確に捉え、臨機に対応できる腹構えが必要であり、その根底にあるものが、隊員個々の「アンテナの高さ」であり、隊員が相互に信頼でき「チームワーク」であると考えている。

透明で予測のできない事件事故の発生が懸念されます。時代の要請に応えられ、頼もしい強い部隊づくりに努めるとともに、全国の管区機動隊の中核、そして警察の危機管理の中核部隊として誇りと自覚をもって、「益々ダイヤ」の示す情熱、若さ、士気を踏まえ、強固な団結と精強且つ高尚、高貴で品格のある規律厳正な部隊の磨きをかけ、さらに「体力・気力・知力」を高めた国民の期待と信頼にこたえ、広域警備部隊づくりに専念していく所存である。

関東管区機動隊第四大隊長
年頭所感

新年おめでとうございませう。昨年は、管区機動隊の新編成が図られた節目の記念すべき年でありました。その新編成での特別派遣は、岐阜県及び秋田県下における天皇皇后両陛下の地方事情視察に伴う行幸警備警備、極左の全国動員規模による成田空港建設反対闘争警備の三回でありましたが、酷暑やゲリラ事件の発生等々の極めて厳しい情勢にも係わらず、部隊員一同、緊張の中で黙々とその任務を完遂した。また、前後期入校の訓練も規律厳正・士気旺盛で訓練に励み、十一月十三日には関東管区警察局長賞を受けて、隊員一同大きな自信をつけたのであります。

本年は、日本警察の歴史に残る警備、つまり第十八回冬季オリンピック長野大会警備がある。この大変な努力が、本年も引き継ぎ、これらの点に配慮しながら、結束力のある部隊をめざして

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。

当大隊は、静岡・山梨の二県によつて構成されており、昨年は、それぞれの県内事象に目まぐるしく対応しつつ、九月末から秋田県への特別派遣も経験させてもらった。おかげで新たな編成での部隊運用にも、ある程度の自信が持てる域まで達した。しかし、本当の訓練はこれからであり、どのような状況下にあつても負けない管機を目指したい。



渡邊 恒雄

新年おめでとうございませう。昨年は、管区機動隊の新編成が図られた節目の記念すべき年でありました。その新編成での特別派遣は、岐阜県及び秋田県下における天皇皇后両陛下の地方事情視察に伴う行幸警備警備、極左の全国動員規模による成田空港建設反対闘争警備の三回でありましたが、酷暑やゲリラ事件の発生等々の極めて厳しい情勢にも係わらず、部隊員一同、緊張の中で黙々とその任務を完遂した。また、前後期入校の訓練も規律厳正・士気旺盛で訓練に励み、十一月十三日には関東管区警察局長賞を受けて、隊員一同大きな自信をつけたのであります。

本年は、日本警察の歴史に残る警備、つまり第十八回冬季オリンピック長野大会警備がある。この大変な努力が、本年も引き継ぎ、これらの点に配慮しながら、結束力のある部隊をめざして

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。

当大隊は、静岡・山梨の二県によつて構成されており、昨年は、それぞれの県内事象に目まぐるしく対応しつつ、九月末から秋田県への特別派遣も経験させてもらった。おかげで新たな編成での部隊運用にも、ある程度の自信が持てる域まで達した。しかし、本当の訓練はこれからであり、どのような状況下にあつても負けない管機を目指したい。

今後、警備実施では、「集団警備力としての精強」と、個々の隊員の資質ともいうべき「警戒力の高さ」が求められることは言うまでもない。いずれの場合でも、諸般の情勢を的確に捉え、臨機に対応できる腹構えが必要であり、その根底にあるものが、隊員個々の「アンテナの高さ」であり、隊員が相互に信頼でき「チームワーク」であると考えている。

部隊間の相互信頼を築きあげよう努めるとともに、従来のにも増して訓練に励み、より精強な部隊作りに努めたいと思っております。

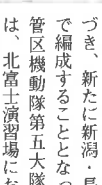
関東管区機動隊第五大隊長
相互信頼

昨年は、四月の新編成に基づき、新たに新潟・長野・山梨で編成することとなった関東管区機動隊第五大隊として、北富士演習場における米海兵隊による実弾砲撃演習に伴う山梨県への特別派遣をはじめ、天皇皇后両陛下の行幸啓に伴う岐阜・秋田両県への特別派遣に対し、全隊員の努力で無事任務を遂行することができました。

また、機動隊経験の少ない私にとつても、関東管区機動隊の大隊長という重責を命ぜられ、管機の名を汚さぬよう新編成が故に大切な組織の基本である人と人との結束力を図るために部隊間の「相互信頼」ということを各級指揮官はもとより、隊員個々に至るまで築きあげよう努めた年でもありました。

しかし、簡単に「相互の信頼」を築くといっても、信頼というものは些細なことで一つしたことで崩れやすいため、信頼を元に戻すには大変な努力がいるものでもあります。そのため、本年も引き続き、これらの点に配慮しながら、結束力のある部隊をめざして

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。



長谷部 正二

昨年は、四月の新編成に基づき、新たに新潟・長野・山梨で編成することとなった関東管区機動隊第五大隊として、北富士演習場における米海兵隊による実弾砲撃演習に伴う山梨県への特別派遣をはじめ、天皇皇后両陛下の行幸啓に伴う岐阜・秋田両県への特別派遣に対し、全隊員の努力で無事任務を遂行することができました。

また、機動隊経験の少ない私にとつても、関東管区機動隊の大隊長という重責を命ぜられ、管機の名を汚さぬよう新編成が故に大切な組織の基本である人と人との結束力を図るために部隊間の「相互信頼」ということを各級指揮官はもとより、隊員個々に至るまで築きあげよう努めた年でもありました。

しかし、簡単に「相互の信頼」を築くといっても、信頼というものは些細なことで一つしたことで崩れやすいため、信頼を元に戻すには大変な努力がいるものでもあります。そのため、本年も引き続き、これらの点に配慮しながら、結束力のある部隊をめざして

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。

当大隊は、静岡・山梨の二県によつて構成されており、昨年は、それぞれの県内事象に目まぐるしく対応しつつ、九月末から秋田県への特別派遣も経験させてもらった。おかげで新たな編成での部隊運用にも、ある程度の自信が持てる域まで達した。しかし、本当の訓練はこれからであり、どのような状況下にあつても負けない管機を目指したい。

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。

当大隊は、静岡・山梨の二県によつて構成されており、昨年は、それぞれの県内事象に目まぐるしく対応しつつ、九月末から秋田県への特別派遣も経験させてもらった。おかげで新たな編成での部隊運用にも、ある程度の自信が持てる域まで達した。しかし、本当の訓練はこれからであり、どのような状況下にあつても負けない管機を目指したい。

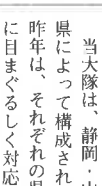
今後、警備実施では、「集団警備力としての精強」と、個々の隊員の資質ともいうべき「警戒力の高さ」が求められることは言うまでもない。いずれの場合でも、諸般の情勢を的確に捉え、臨機に対応できる腹構えが必要であり、その根底にあるものが、隊員個々の「アンテナの高さ」であり、隊員が相互に信頼でき「チームワーク」であると考えている。

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。

当大隊は、静岡・山梨の二県によつて構成されており、昨年は、それぞれの県内事象に目まぐるしく対応しつつ、九月末から秋田県への特別派遣も経験させてもらった。おかげで新たな編成での部隊運用にも、ある程度の自信が持てる域まで達した。しかし、本当の訓練はこれからであり、どのような状況下にあつても負けない管機を目指したい。

今後、警備実施では、「集団警備力としての精強」と、個々の隊員の資質ともいうべき「警戒力の高さ」が求められることは言うまでもない。いずれの場合でも、諸般の情勢を的確に捉え、臨機に対応できる腹構えが必要であり、その根底にあるものが、隊員個々の「アンテナの高さ」であり、隊員が相互に信頼でき「チームワーク」であると考えている。

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。



石田 良雄

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。

当大隊は、静岡・山梨の二県によつて構成されており、昨年は、それぞれの県内事象に目まぐるしく対応しつつ、九月末から秋田県への特別派遣も経験させてもらった。おかげで新たな編成での部隊運用にも、ある程度の自信が持てる域まで達した。しかし、本当の訓練はこれからであり、どのような状況下にあつても負けない管機を目指したい。

今後、警備実施では、「集団警備力としての精強」と、個々の隊員の資質ともいうべき「警戒力の高さ」が求められることは言うまでもない。いずれの場合でも、諸般の情勢を的確に捉え、臨機に対応できる腹構えが必要であり、その根底にあるものが、隊員個々の「アンテナの高さ」であり、隊員が相互に信頼でき「チームワーク」であると考えている。

管機大隊長として二回目の正月を迎えた。これまでの間に編成替えを乗り越え、新たな編成での部隊づくりを進めてきたが、隊員は、いかなる状況にも柔軟にかつ真摯に当たって、部隊の士気を上げてくれている。隊員の士気は着実に高まっている。隊員個々の「管機の強さ」を維持しようとする情熱に、感謝の気持ちを持って拍手を送りたい。

当大隊は、静岡・山梨の二県によつて構成されており、昨年は、それぞれの県内事象に目まぐるしく対応しつつ、九月末から秋田県への特別派遣も経験させてもらった。おかげで新たな編成での部隊運用にも、ある程度の自信が持てる域まで達した。しかし、本当の訓練はこれからであり、どのような状況下にあつても負けない管機を目指したい。

相当の腹構えを必要とするが、現在の管機を担っている者のひとりとして、この遺訓に一步でも近づけるよう努力したい。「アンテナ」や「チームワーク」は、それを実現するための手段となる。今年も「頼りになる部隊」を目指し、隊員とともに邁進しようという決意を新たにしている。

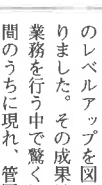
中部管区機動隊連隊長
年頭にあたり

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は、高度な技術を身につけた少数精鋭の部隊づくりを重点を置き、その意識付けと幅広い実地訓練により隊員のレベルアップを図つてまいりました。その成果は、日常業務を行う中で驚くほど短期間のうちに現れ、管区機動隊員の元氣溢れる活動と熱々と任務を遂行する姿に對して、派遣先の地域の人々などから大変感謝されているところであります。

管区機動隊員は年齢的にも若く、警察の幹部となるべき有望さと将来の警察を担って立つという責任の両面を合わせ持つという訳であります。この若い隊員達が、部隊活動を通じて日々を追うごとに成長していく姿を頼もしく思っている毎日であります。

本年の最大行事である長野オリンピック冬季大会の開催が目前となつてまいりました。全国警察が「一丸」となつて警備、交通などの諸対策を推進し、日本警察の威信にかけこの大会を成功させなくてはなりません。隊員一人ひとりが長野オリンピックに係るあらゆる活動の場が、「日本こそ世界一治安の良い国、安全な国」であることを、アピールする絶好の機会であるとの



田立 陸平

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は、高度な技術を身につけた少数精鋭の部隊づくりを重点を置き、その意識付けと幅広い実地訓練により隊員のレベルアップを図つてまいりました。その成果は、日常業務を行う中で驚くほど短期間のうちに現れ、管区機動隊員の元氣溢れる活動と熱々と任務を遂行する姿に對して、派遣先の地域の人々などから大変感謝されているところであります。

管区機動隊員は年齢的にも若く、警察の幹部となるべき有望さと将来の警察を担って立つという責任の両面を合わせ持つという訳であります。この若い隊員達が、部隊活動を通じて日々を追うごとに成長していく姿を頼もしく思っている毎日であります。

本年の最大行事である長野オリンピック冬季大会の開催が目前となつてまいりました。全国警察が「一丸」となつて警備、交通などの諸対策を推進し、日本警察の威信にかけこの大会を成功させなくてはなりません。隊員一人ひとりが長野オリンピックに係るあらゆる活動の場が、「日本こそ世界一治安の良い国、安全な国」であることを、アピールする絶好の機会であるとの

相当の腹構えを必要とするが、現在の管機を担っている者のひとりとして、この遺訓に一步でも近づけるよう努力したい。「アンテナ」や「チームワーク」は、それを実現するための手段となる。今年も「頼りになる部隊」を目指し、隊員とともに邁進しようという決意を新たにしている。

認識に立ち、警備技術の向上と心身の錬成に務め、その一翼を担いたいものであります。また、平素においては、混迷の社会情勢を背景に予測のできない事象の発生も懸念されまします。常に爪先立つた気持ちで臨む姿勢が大切であると考えております。

終わりになりましたが、会員の皆様には、警備機動隊等に深いご理解と並々ならぬご支援を頂いております。私に私を厚くお礼申し上げます。また、会員の皆様の益々のご健勝を祈念いたしております。



松尾 雅典

管区機動隊の大隊長を命ぜられてから早くも二年を迎えようとしています。昨年、管区機動隊では部隊の再編成という大きな改革が行われ、私は引き続き第一大隊長を命ぜられました。再びこの崇高な任務を与えられたことに感謝している次第であります。

私はこの二年間、実に多くのことを隊員から学んだのであります。世間ではとくく「近頃の若い者は…」云々と批判をしがちであります。私は「近頃の若い者」と一緒に仕事をさせて頂いて、二年目にして彼らの心をつかむことができたのであります。

正直なところ、訓練に際しては「だらだらするな!」「気合いが入つたらん!」など怒鳴りちらすこともありました。特別派遣で警衛に従事したとき「愛知のお巡りさんは実に親切だ。」「親切にしていただけだおかげで冥土の土産ができた。」などと方々で賞賛の声を聞かれ、あるときは「こんな紳士的な検閲をされたのは初めてだ。気分がいいから

早々に引き上げる。」などと皮肉にも誉め言葉が発せられたのを耳にしたとき、大隊長としてこの上ない誇りを感じたのであります。これらの事例が示すところ、隊員は常に使命感をもった一生懸命がなんぼうとしていけるのであり、そうした努力の積み重ねがあったからこそ、実際の警備の現場で訓練の成果をフルに発揮することができたのであります。このように私はこれまで隊員に教えたこともありますが、実は逆に隊員から多くのことを学んでいたことに気がついたのであります。

今年はいよいよ冬季オリンピックの年であります。全国の管区機動隊の皆さんと一緒に長野で警備ができることを楽しみにしております。中部管区機動隊第二大隊長 新任大隊長の一年を願っています。



土本 潤一

私は本年四月、管区機動隊発足以来二十八年間続いた体制から、管区機動隊が新たに編成となった記念すべき年に大隊長として赴任した。管区機動隊の経験が全くない私にとって、全身にかかるとしての責任の重さで、肉体的にも精神的にも押しつぶされそうな心境になった。

以来、現場で活躍できる精強な部隊作りを心掛けたことはもとより、治安警備で現場へ出動する機会が少なくない昨今、次代を担う若き隊員たちに、管区機動隊員であるという使命感の「火」を、新隊員には新たな「火」を、旧隊員にはその火を如何に燃やし続けることができるのか。自問自答の日であった。

この間、前・後期の入校訓練と二回の出動を体験した。特に、三重警察への派遣の際、猛暑の中、完全装備で身を包み、ほとばしる汗を拭くうとせざる黙々と会場警戒に当たる隊員の姿を見るにつけ、今の若者には見られない忍耐力の強さに頼もしさを感じ、彼らの心の奥底に、やはり警察官という使命感の「火」が燃えていることに感動を覚えた。

当県の管区機動隊員は、日ごろは警察署等の直轄隊員として勤務し、管内等事案といれば部隊活動に従事するといった、いわば二面的な役割を有している。警察主眼の川路大署視の言葉を借りるならば「世の安寧を護れんとする者は、無事の日においても有事の日として怠らざるにあり。」つまり、無事平穏な時であっても、事ある日と同様に心得て準備・訓練を怠らないといった「常任戦場」の気構えを必要とする。

しかば、私の役目は、入校訓練や出動の機会を通じて彼らの「情熱の火」を絶やさないようにすることであり、それには私自身が絶えず燃え続けることが大切である。ひいては、それが、どんな現場にも対応できる精強な部隊が出来上がるのではないかと感じた一年であった。

中部管区機動隊第三大隊長 年頭所感



西部 節雄

新年あけましておめでとうございます。昨年は、「ロシア船舶ナホトカ号海難事故」に伴う災害警備、「天皇皇后両陛下の地方事情ご視察」に伴う警衛警備等の特別派遣をはじめ、広域緊急援助隊合同訓練、管区学校における入校訓練など、厳しい中にも誠に充実した一年であったと感じております。

中でも、厳寒の日本海沿岸における「流出油回収作業」では、地元漁民の心からの感謝の声を耳にし、「これぞ真に国民の期待にこたえる機動隊の姿である」と実感したところでありました。さて、本年は、「長野冬季オリンピック」の開催に伴う警戒警備等、機動隊をめぐり情勢は極めて厳しきものが予想されるところであります。我が中部管区機動隊第三大隊は、入校訓練等を通じて、より実践的な訓練の反復のもと、隊員一人ひとりに対する気力、体力の養成と専門的知識技能のレベルアップに努め、「いついかなる事態においても、その集団警備力と専門的技術の技能を遺憾なく発揮し、真に国民の期待にこたえる」を基本理念に、「堅忍不拔」の精神で全力を尽くす決意であります。

中部管区機動隊第四大隊長 年頭所感



柴田 一重

明けましておめでとうございませう。石川、福井、三重の三県部隊で編成される中部管区機動隊第四大隊が正式発足して、まもなく一年が経とうとしております。昨年の出動は、夏の三重県下における第二十八回日本共産党中央人民大学夏期講座に伴う警戒警備と十月の岩手県下における第十七回全国豊かな海づくり大会警備活動に出動しましたが、隊員の諸君、ご苦労様でした。特に岩手県への出動では、片道一千キロを超える行程でありましたが、何事もなく、誠心誠意かつ愚直に任務を遂行されたことに厚くお礼申し上げます。一方、これらの出動に当たって、いろいろとお世話をお願いした管区局、連隊本部をはじめ、警視庁、関東管区学校、関東管機連隊本部、更に派遣先岩手県警察

の受援隊等の皆さん、大変お世話になりました。ところで本隊も、本年早々、長野県で開催される冬季オリンピックへの出動が予定されることでもあります。国際的大イベントであり、しかも経験の少ない厳寒の地での活動となることは覚悟しておりますが、当地で部隊に付与される任務を完遂させるためには、部隊幹部のみならず、隊員一人ひとりが責任をもった自らの配置箇所等が発生し得る事案を想定、警備する側の立場に立ち、その対処方法等を具体的に考えておかなければ、綿密周到に計画された事を具体的にこなすことが出来ません。この点に留意して、平素から初任者に向かって意を高めようではないか!

管区学校における管区機動隊の入校訓練が始まるが、若いエネルギーが校内全域を一気に駆け抜ける。学校全体のムードが否応なく盛り上がる。個人装備を完全装着すると、その重さは有に十二・五キログラムとなる。これを五キロの走行訓練から始める。歩調を揃えながら隊列を整え、進む汗を拭おうとせずひたすら走り続ける。もう、隊員の苦しさそうな息遣いは、力強い歩調呼称にかき消されてしまう。その瞬間「個」は集団に完全に融合して、一糸乱れぬ見事な部隊に変身する。その姿は、さながら戦車そのものである。まさしく圧巻でありその重さ感には、ええ言えぬ頼もしさが湧いてくる。もとより訓練は、激しく厳しい「過酷」なものである。

隊員はそのことを先刻承知の上で、その苦しさの中に自ら進んでその身を投じて行く。そして、自分自身との苦しい闘いの中から、心身の逞しさと、苦しみを共にした同志を思いやる優しさを身につける。お互いが切っても切れない強い絆で結ばれるのである。訓練を終えて汗を含んで重みを増した装備を引きずりながら、日焼けした顔がほころび、白く焼けただれたという充実感が溢れ溢れている。言うまでもなくこれは、苦痛を超越する勇気と力、治安の闘士としての強い誇りと使命感に支えられていると言いつつ証に他ならないのである。

今年も、有事に際し果敢にしかの確に即応できる精強部隊を目指して、地道に訓練に取り組みで行きたい、気持を新たにしたいと願う。

近畿管区機動隊第一大隊長 年頭所感



梁村 泰昭

管区学校における管区機動隊の入校訓練が始まるが、若いエネルギーが校内全域を一気に駆け抜ける。学校全体のムードが否応なく盛り上がる。個人装備を完全装着すると、その重さは有に十二・五キログラムとなる。これを五キロの走行訓練から始める。歩調を揃えながら隊列を整え、進む汗を拭おうとせずひたすら走り続ける。もう、隊員の苦しさそうな息遣いは、力強い歩調呼称にかき消されてしまう。その瞬間「個」は集団に完全に融合して、一糸乱れぬ見事な部隊に変身する。その姿は、さながら戦車そのものである。まさしく圧巻でありその重さ感には、ええ言えぬ頼もしさが湧いてくる。もとより訓練は、激しく厳しい「過酷」なものである。

隊員はそのことを先刻承知の上で、その苦しさの中に自ら進んでその身を投じて行く。そして、自分自身との苦しい闘いの中から、心身の逞しさと、苦しみを共にした同志を思いやる優しさを身につける。お互いが切っても切れない強い絆で結ばれるのである。訓練を終えて汗を含んで重みを増した装備を引きずりながら、日焼けした顔がほころび、白く焼けただれたという充実感が溢れ溢れている。言うまでもなくこれは、苦痛を超越する勇気と力、治安の闘士としての強い誇りと使命感に支えられていると言いつつ証に他ならないのである。

今年も、有事に際し果敢にしかの確に即応できる精強部隊を目指して、地道に訓練に取り組みで行きたい、気持を新たにしたいと願う。

みはや国体警備」を中心とする各種警備活動の任務を完遂し、警備部隊としての第一大隊の形の中に魂を入れた充実した一年であった。

〇今年の決意
今年(平成十年)は、あと二年で二十一世紀を迎える年である。正に、二十一世紀を迎え打つ勝負の年ではないだろうか。

現段階で予想される国際的な催事は、
・冬季長野オリンピック
・サミット (一九九八年)
・東アジア大会 (二〇〇〇年)
・ワールドカップサッカー (二〇〇二年)
・オリンピック (二〇〇八年)
等々、管区機動隊としての力量を発揮する舞台が目白押しである。

従って、今年は、年初から長野オリンピック警備を皮切りに、下命された各種警備活動の任務を完遂することにより、国際情勢を視野に入れた、二十一世紀に勝負できる、新しい管区機動隊の後継に継承しなければならぬ重要な年だと痛感している。

〇今年の決意
今年(平成十年)は、あと二年で二十一世紀を迎える年である。正に、二十一世紀を迎え打つ勝負の年ではないだろうか。

現段階で予想される国際的な催事は、
・冬季長野オリンピック
・サミット (一九九八年)
・東アジア大会 (二〇〇〇年)
・ワールドカップサッカー (二〇〇二年)
・オリンピック (二〇〇八年)
等々、管区機動隊としての力量を発揮する舞台が目白押しである。

従って、今年は、年初から長野オリンピック警備を皮切りに、下命された各種警備活動の任務を完遂することにより、国際情勢を視野に入れた、二十一世紀に勝負できる、新しい管区機動隊の後継に継承しなければならぬ重要な年だと痛感している。

〇昨年の振り返り
昨年は、近畿管区機動隊としても、編成基準の改正により六個大隊編成となった。管区機動隊の長い歴史と伝統の流れから言えば、正に「管機元年」と言える新しいスタートの年であったと思う。

〇今年の決意
今年(平成十年)は、あと二年で二十一世紀を迎える年である。正に、二十一世紀を迎え打つ勝負の年ではないだろうか。

現段階で予想される国際的な催事は、
・冬季長野オリンピック
・サミット (一九九八年)
・東アジア大会 (二〇〇〇年)
・ワールドカップサッカー (二〇〇二年)
・オリンピック (二〇〇八年)
等々、管区機動隊としての力量を発揮する舞台が目白押しである。

従って、今年は、年初から長野オリンピック警備を皮切りに、下命された各種警備活動の任務を完遂することにより、国際情勢を視野に入れた、二十一世紀に勝負できる、新しい管区機動隊の後継に継承しなければならぬ重要な年だと痛感している。

〇昨年の振り返り
昨年は、近畿管区機動隊としても、編成基準の改正により六個大隊編成となった。管区機動隊の長い歴史と伝統の流れから言えば、正に「管機元年」と言える新しいスタートの年であったと思う。

ため近畿管区警察学校への入校が予定されており、この入校を通じてこれらのことを更に徹底し、より精強な部隊作りに努め、今後の各種の警備実施や警察活動に万全を期する所存であります。



広瀬 剛士

昨年春、輝かしい伝統ある管区機動隊の大隊長を命ぜられ、決意も新たに、精強な部隊編成を目指し訓練に励んでいました。特に、組織の再編成に伴い、一つひとつの訓練が重要視される中、五月二十七日、日本中を震撼させた神戸市須磨区内での小学生殺害事件が発生し、当隊は、練度向上の最たる機会である訓練入校が延期となり、地域の安全と警察への信頼を一身に背負い警戒勤務に従事しました。この間、隊員は、汗だくとなりながらも愚痴をこぼさず、弱音も吐かずこれが私達に与えられた、任務です」と黙々と県民のために頑張っていました。私は、この隊員達の姿を目の当たりに「管機魂」はこれだ、光ある伝統は引き継がれていると心強くも頼もしいと感じました。

部隊経験のない新米大隊長でしたが、当隊に与えられた任務を無事に果たすことができたのは、皆様方の暖かいご支援とご協力はもとより、旺盛な士気と無限の力を秘めた若い隊員達の賜物である、と深く感謝を受けた一年でした。

本年も、混沌とした社会情勢の下、危機管理が強く望まれる中、私は「攻守に強い」精強な部隊の存在こそ危機管理の最たるものであると信じております。

その為、当隊のモットーとする。



〇汗・訓練に励み、技術・体力の向上

〇力・目に見えぬ成果、結果の三つを出し切り、当隊に与えられた任務を完遂し警察部隊として頑張っていく所存であります。

近畿管区機動隊第五大隊長 年頭へ寄せて



上野 幸長

あの未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災から丸三年が経とうとしている。阿鼻叫喚の最中、いち早く駆けつけたいただいた全国の機動隊、管区機動隊員の不屈不撓の救出、救助活動の姿に、熱いものがこみ上げるとともに、改めて警察組織の素晴らしさ、警察官であることの誇りをあの時ほど強く感じたことになった。

被災地で泥と汗にまみれながら、黙々と活動される出動服の姿を頼もしく感じるとともに、このご恩は何時か必ずお返ししたいと願っていた昨年の春、近畿管区機動隊第五大隊長を命ぜられた。

新年を迎え、全隊員とともに、治安部隊の中核であり、輝かしい歴史と伝統のある管区機動隊員としての自覚と誇りを持って訓練に励み、いかなる事態が発生しようとも的確に対応できる精強部隊づくりに邁進する決意を新たにいたしました。

また、県外に派遣された際には、任務遂行に全力を傾注し、阪神・淡路大震災で受けたご恩の何十分の一でもお返しができることを願っています。

動思考

〇汗・訓練に励み、技術・体力の向上

〇力・目に見えぬ成果、結果の三つを出し切り、当隊に与えられた任務を完遂し警察部隊として頑張っていく所存であります。

近畿管区機動隊第六大隊長 年頭所感



村上 正紀

昨年、我が部隊も第二大隊から第六大隊に変わり、とまどいもありましたが、他府県への特別派遣等にあたっては隊員諸氏の確かな対応により、大過なく任務を遂行することができました。

本年は早々に長野オリンピックの特別派遣が予定されているところであり、実現となれば気象条件等種々の不安はありますが、世紀の大警備の任務に従事できることは、管区機動隊員として誇りに感じます。

本年も厳しい訓練を繰り返して、体力的な向上はもとより、精神的にも一層の向上を図って実力をつけ、精神的にも肉体的にもゆとりのある勤務ができるような部隊をつくり上げたいと思います。

また、隊員を将来組織の中核として活躍できるように、的確な指揮、判断のできる人材に育成するとともに、温かみと人の痛みをわける警察官に育てたいと考えております。

九州管区機動隊連隊長 年頭所感



西 美典

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

今後も、この種の警備事件が予想されるときにも、銃器・組織犯罪、災害警備等突発的な重大事件に對して的確に処ていくことが求められてきています。

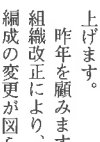
中国の諺に「世異なれば即ち事異なる」とありますが、これは、時代が移り変わるにつれ、人の価値観、考え方も変わってゆくものであり、それが、時代が違えば、それに応じた対応をすべきである事を教えているものであります。

このことは、警備事件の対応についても同様の事が言えるのではないのでしょうか。

今年には再編成後の二年目にあたり、更に部隊の練度向上を図るとともに、激動する社会に柔軟に対応できるような、部隊の各種専門能力を養成し、「精強でしなやかな九州管区機動隊」を育成するとともに、新たな伝統を築いていきたいと考えております。

九州管区機動隊第一大隊長 新年あけましておめでとうございます。

謹んで新春のお喜びを申し上げます。



西 美典

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

一途を辿っており、こうした中、我々機動隊に課せられた使命は極めて大きいものであり、いかなる危険が予想されようとも、敢然とこれに立ち向かわなければならぬのです。

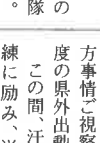
本年は、長野オリンピックを始めとした出動が数多く見込まれるところであり、これら各種事業に対応すべく、平時の訓練に多くの汗を流し、それが、時代が違えば、それに応じた対応をすべきである事を教えているものであります。

この数年、経済情勢の低迷が続く中、これに関連した事件事故は益々悪質化、凶悪化の度合いを強めています。

「この世を花にするために」隊員一人一人として、いかなる困難をも克服し、任ぜられた重責を完遂することによって国民の負託に応える所存であります。

九州管区機動隊第二大隊長 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。



西 美典

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

でありました。

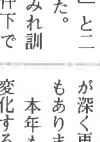
九州管区機動隊第三大隊長 年頭所感

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。



西 美典

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

を求められるものと思います。何が起るかわからない現代こそ、常に危機感を抱き、機動力、集中力の醸成に努め、部隊の力を発揮することが必要です。

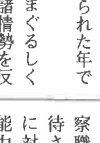
我が第三大隊は、産声をあげて三年目を迎える新しい部隊ですが、「最後の砦」であるというプライドを堅持しつつ、本年もさらなる精強部隊づくりに努力していく所存であります。

東北管区機動隊第一大隊長 治安のプロをめざして

あけましておめでとうございます。

我々警察を取り巻く環境は年々悪化しており、全国の機動隊に寄せられる期待も益々大きくなるものと予想されます。

これら治安情勢の変化に柔軟に対応しながら、警察組織の中核を担う機動隊の充実強化に向け、各自が意思を強固化して改革を遂げていくことが求められています。



西 美典

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

て、これからの難局を打ち破っていくかと思っております。

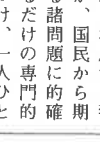
東北管区機動隊第二大隊長 精強な部隊をめざし

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。



西 美典

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

を求められるものと思います。何が起るかわからない現代こそ、常に危機感を抱き、機動力、集中力の醸成に努め、部隊の力を発揮することが必要です。

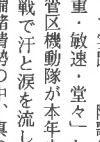
我が第三大隊は、産声をあげて三年目を迎える新しい部隊ですが、「最後の砦」であるというプライドを堅持しつつ、本年もさらなる精強部隊づくりに努力していく所存であります。

東北管区機動隊第一大隊長 治安のプロをめざして

あけましておめでとうございます。

我々警察を取り巻く環境は年々悪化しており、全国の機動隊に寄せられる期待も益々大きくなるものと予想されます。

これら治安情勢の変化に柔軟に対応しながら、警察組織の中核を担う機動隊の充実強化に向け、各自が意思を強固化して改革を遂げていくことが求められています。



西 美典

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

昨春、九州管区機動隊は少数精鋭の部隊へと再編成が完了し、新生九州管機としてスタートした中で、沖縄県、香川県、和歌山県におけるそれぞれの警備警備出動において、その任務を完遂することができました。

警視庁第七機動隊長
新しい時代こそ信頼を



北原 友行

明けましておめでとござい
ます。

今年は警視庁機動隊発足五十
十周年の節目にあたり、我々
警視庁機動隊として記念す
べき年でありました。戦後の幾
多の治安活動の中において機
動隊の占める地位は不動なも
のであり、更にこれからの活
躍が大いに期待されること
であります。同時にその責
任もまた大きなものがありま
す。

二十一世紀まで残すところ
僅かあと二年。しかし、我が
国の現況をみると決して甘く
はない。甘くないどころかこ
れから大変厳しい時代に入
りようとしている。政治、経
済をはじめとして国民全てが
何らかの痛み、覚悟を決めて
かからなければならぬ時代
の到来と言っても過言ではあ
るまい。

ほんの数年前までは「世界
に冠たる日本」、「世界経済の
奇跡」などあらゆる称賛を
浴び、そのつものになつてい
たのも束の間、バブルの崩壊
で一気に冷水を頭からかぶつ
てしまった。

今後更に進むであろう高齢
化、少子化、経済活動の低迷
による合理化（リストラ）、
そして足踏みは絶対許されな
い行政改革等々、まさに我が
国は難問山積である。

このような時代にこそ、最
も重要なことは「治安の安寧」
である。国民が将来に不安を
持たせはじめた今、治安の安定
こそがキーポイントである。

我々機動隊は、常に国民の目
を見、社会の流れを深く洞察
し、過去の成功体験に固執す
ることなく、新しい「次」を見
極める能力が必要である。
新年にあたり更に信頼を高
めるべく、隊員共々「七機・

若獅子魂」に磨きをかける決
意である。



戸ヶ崎 光夫

「平成」の原点に帰る

新年、おめでとございま
す。平成十年の新春を迎え、
機動隊員として共に勤務でき
ることに喜びを見出し、本
年が希望に満ちた素晴らしい
年でありますよう祈念いたし
ます。

昨年は、三大目標を掲げ、
①プロとしての攻めの警備
②武道大会の制覇
③昇格合格
という共通の目標に向かって
一生懸命に取り組んでまいり
ました。

隊員の相互の切磋琢磨によ
り、団結力は高まり、多くの
成果を収めることができました。
新しい年を迎えて、更なる
発展を期そうと心に誓ってい
ますが、現下の社会情勢は依
然として経済不況が続く中、
外国人犯罪の多発や予想でき
ない突発事案への対応など、
前途は厳しいものが待ち受け
ています。

機動隊は、いつの世におい
ても「治安維持の最後の砦」
としての活動が求められ、い
かなる困難にも立ち向かい、
事態を打開しなければならな
い使命を帯びています。

国民は、日本の治安の生命
線を担う機動隊に大きな期待
を寄せており、私たちは実直
に応えていかなければならま
せん。

平成も節目の十年を迎え、
「内平かに外成る、地平かに
天成る」という原点に思いを
いたし、平和で安全な社会を
作り、一層実現するために、
「治にいて乱を忘れず」の精
神で、万事にわたり、訓練と
即応態勢にぬかりのないよう
にしていきたいと決意してい
ます。

皆様の「ご指導、ご叱正をお
願ひします。



松本 裕之

警視庁第九機動隊長
年頭所感

我が疾風の九機では、昨年
一年間、「緩急自在」を一つ
のモットーとして掲げてき
た。

優秀で気力あふれるスタッ
フと隊員達の熱い努力によつ
て、何とかこのモットーを実
践することのできた一年であ
った。

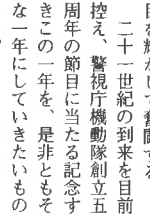
私が「緩急自在」を標榜し
た真意は言うまでもなく、警
備現場において、我々の持ち
得る力の全てを、各種の警察
活動に集中的に、かつ、効率
的に発揮することを目指し
ようというところにあった。

それが、我が隊の力を一層高
めるための基礎になると考え
たからである。

一年間の努力によって、こ
うした土台を支える思想が隊
員全員に浸透したと思われ
る。更にその力を発展させて
いくため、本年は「隊員一人
ひとりが考える」ことを求め
ていきたいと思う。

我々機動隊が部隊活動を基
礎にした組織であり、そうし
た活動が時として、個人の考
えを超え、集団の理論をもつ
て為されるべきものであるこ
とには多言を要しない。しか
しながら、組織を構成する
個々人が集団の行動の意味と
目的を理解していれば、その
力が飛躍的に向上することは
間違いない。

一人ひとりの考えを深めるこ
とによって、公私を分かつた
目を輝かせて奮闘する。



佐々木 誠

警視庁特科車両隊長
決意新たに

新年あけましておめでと
ございませう。

励ます会の皆様方には清々
しい新年をお迎えのことと心
からお喜び申し上げます。旧
年中、機動隊員に「はげまし
」をいただき、心から御礼申
上げます。

本年も、特科車両隊員とし
て日々の警備に全力を尽くし
て当たらせよう。いつ、い
かなるときにも治安維持の責
任をはたすために、目標を立
て、力をたくわえ、強い機動
隊となるべく努力していく決
意です。

機動隊創設五十周年を迎え
る節目の年であり、先人が築
いた伝統と功績を正しく受け
継ぐことが、隊員にとって揺
るごとくない自信となり、
更に希望と勇気を与えてく
れ、ことと確信しております。
今年も一生懸命頑張つてま
いりますので、よろしくご支
援、ご叱正をお願い申し上げ
ます。



次城県警察機動隊長
新しい時代に向けて



有田 栄

新年明けましておめでと
ございませう。

皆様には、輝かしい新年を
ご家族様とともに迎えにな
られましたこと、心からお慶
び申し上げます。

昨今の治安情勢を見ます
と、国際社会の政治的、経済
的な相互依存関係が深まって
おり、他国の政治、経済状況
がわが国にも直接影響を及ぼ
し治安面に様々な問題が生じ
るなど、これまでの経験では
想像できないような新型の事
案が発生しております。

この情勢を素早く、的確に
認識して、国際感覚ある解決
策を模索することが重要で、
むずかしい時代を迎えており
ます。

これまで築き上げてきた発
想を切り替え、新しい事態に
適合していくことはいつの時
代でも困難を伴うものです。
しかし時代の要請とともに
発想の転換をしなければ、必
ず時流に押し流され手痛し仕
打ちを受けることは歴史が証
明しております。

「いかなる事案、困難な事案
が発生しても、これに的確に
対応し、処理できる機動隊」
を目標に、基本の反復訓練を
重ね、その技術を高めあらゆる
状況に對し変幻自在に対処
することができ、実力の伴
った隊員づくりを糧として
日々実践躬行し、精進な部隊
作りを励み「治安の最後の
砦」として国民の期待にこた
えて行きたいと思っております。



栃木県警察機動隊長
我が機動隊に更なる栄光あれ



須藤 信雄

謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。時のたつのは早い
もので、二十三年振りに赴任
した機動隊で二回目の正月を
迎えました。この度「はげまし
」への寄稿という機会を得
ましたので、昨年を振り返り
本年に向かう隊員への抱負を
綴つてみたいと思ひます。

昨年は五月から十一月に掛
けて「皇太子同妃殿下」の
警衛が五回実施され、多忙な
毎日を送りましたが何と云っ
ても印象に残ったのが「術科」
の充実でした。十数年に一回
の「関東警察柔剣道大会」三
年に一度の「三県警察柔剣道
けん銃射撃大会」（栃木・茨
城・福島）がいずれも本県で
開催され、弱小警察の泣きど
ころである層の薄さや高齢化
が目立つ選手が日々の精進努
力で素晴らしい結果を残して
くれました。術科特訓員二十
一名を抱える我が機動隊に一
つは「術科大会」を合言葉に
隊員と共に歩んできたこの
一年でした。

今年の干支は寅です。我が
愛する機動隊員は「なせば成
る」との昨年の教訓を生か
し、若虎の如く更なる成長と大
きな発展を遂げていくのであ
りましょう。時代がいかに変わ
ろうとも「団結と融和・勉学
と訓練、自信と積極性」を信
条に真の警察精神が脈々と宿
る隊員が在るから、我が機
動隊は不滅であります。新春
の酒に酔い、うたた寝の初夢
の中で「我が機動隊に更なる
栄光あれ」と叫んでいる昨今
の我が身であります。

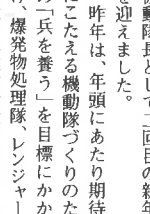
群馬県警察機動隊長
年頭所感

全国の隊員の皆さんあけま
しておめでとございませう。
機動隊長として二回目の新年
を迎えました。

昨年は、年頭にあたり期待
にこたえる機動隊づくりのた
め「兵を養う」を目標にかか
り、爆発物処理隊、レンジャー
部隊、水難救助隊等機能別部
隊のレベルアップに向け、汗と
泥にまみれた厳しい訓練を実
施しました。その結果、大き
な成果があったと確信するこ
とにもこの若い隊員の限りな
い体力・知識欲に驚き頼もし
く思っているところです。

本年は、群馬県警察にとつ
て大きな警備・警備実施が控
えております。その一つに五
月十日には天皇皇后両陛下を
お迎えする「第四十九回全
国植樹祭」の開催が予定され
ております。また、一月には、
隣県の長野県下で冬季オリン
ピックが開催され多くの皇族
方及び警護対象者が群馬県を
通過し長野県に入ることが予
想されます。

血なまぐさい現場を渡り歩い
て来た。



本田 忠男

一九五二年八月、国家地方
警察埼玉県警察機動隊として
産声をあげたから四十五年、
この中に本県機動隊の歴史が
刻み込まれている。私も、隊
員、分隊長、小隊長として在
隊し、その歴史の中に僅かに
はあが足跡を残したが、小
隊長を最後に刑事畑に転進、

全国の隊員の皆さんあけま
しておめでとございませう。
機動隊長として二回目の新年
を迎えました。

昨年は、年頭にあたり期待
にこたえる機動隊づくりのた
め「兵を養う」を目標にかか
り、爆発物処理隊、レンジャー
部隊、水難救助隊等機能別部
隊のレベルアップに向け、汗と
泥にまみれた厳しい訓練を実
施しました。その結果、大き
な成果があったと確信するこ
とにもこの若い隊員の限りな
い体力・知識欲に驚き頼もし
く思っているところです。

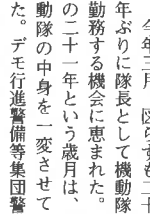
本年は、群馬県警察にとつ
て大きな警備・警備実施が控
えております。その一つに五
月十日には天皇皇后両陛下を
お迎えする「第四十九回全
国植樹祭」の開催が予定され
ております。また、一月には、
隣県の長野県下で冬季オリン
ピックが開催され多くの皇族
方及び警護対象者が群馬県を
通過し長野県に入ることが予
想されます。

このような厳しい情勢の時
こそ期待される機動隊でなく
てはならないと思ひます。

本年も、日頃の厳しい訓練
で培った機動隊の特技と機動
隊魂を十分に発揮し、警備・
警備の万全を期するとともに
、県民の期待と信頼にこた
えるべき機動隊づくりにはむ
かし隊員とともに、より一層厳
しい訓練に励んでいきたいと思
っております。

その日のために
埼玉県警察機動隊長

血なまぐさい現場を渡り歩い
て来た。



本田 忠男

一九五二年八月、国家地方
警察埼玉県警察機動隊として
産声をあげたから四十五年、
この中に本県機動隊の歴史が
刻み込まれている。私も、隊
員、分隊長、小隊長として在
隊し、その歴史の中に僅かに
はあが足跡を残したが、小
隊長を最後に刑事畑に転進、

全国の隊員の皆さんあけま
しておめでとございませう。
機動隊長として二回目の新年
を迎えました。

昨年は、年頭にあたり期待
にこたえる機動隊づくりのた
め「兵を養う」を目標にかか
り、爆発物処理隊、レンジャー
部隊、水難救助隊等機能別部
隊のレベルアップに向け、汗と
泥にまみれた厳しい訓練を実
施しました。その結果、大き
な成果があったと確信するこ
とにもこの若い隊員の限りな
い体力・知識欲に驚き頼もし
く思っているところです。

本年は、群馬県警察にとつ
て大きな警備・警備実施が控
えております。その一つに五
月十日には天皇皇后両陛下を
お迎えする「第四十九回全
国植樹祭」の開催が予定され
ております。また、一月には、
隣県の長野県下で冬季オリン
ピックが開催され多くの皇族
方及び警護対象者が群馬県を
通過し長野県に入ることが予
想されます。

このような厳しい情勢の時
こそ期待される機動隊でなく
てはならないと思ひます。

本年も、日頃の厳しい訓練
で培った機動隊の特技と機動
隊魂を十分に発揮し、警備・
警備の万全を期するとともに
、県民の期待と信頼にこた
えるべき機動隊づくりにはむ
かし隊員とともに、より一層厳
しい訓練に励んでいきたいと思
っております。

その日のために
埼玉県警察機動隊長



池田 茂
新東京国際空港警備隊長
節目の年を若鷲と共に

と氣力であつて、如何に時が移り変わるうと、変わらぬ原理である。「兵百日養う」と先訓に言われているように、現実に対応しつつ、「その日のために」訓練に訓練を重ね、真に強い機動隊を作りたい、堅持していきたいと思つています。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
会員の皆様方には、平素から機動隊の活動に深いご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

ご案内のとおり、昨年の成田空港問題を巡る情勢は、地域共生の気運の中で、運輸省・空港公団が「平行滑走路二〇〇年度完成」の目標を打ち出し、空港予定内に居住する空港反対同盟との用地売買契約・移転合意が進み、特に北原グループ一戸の契約成立は画期的なことであり、日々刻々と変化する情勢下の空港警備でありました。

このような警備情勢の中で、本年はまさに空港問題の正念場にさしかかる節目の年でもあると思つております。

また、唯一空港警備の専門部隊として発足した空港警備隊は、今年は二〇周年を迎える記念すべき節目の年でもあります。

空港警備にあつては、昨年に引き続き本年も空港を巡る情勢や極度の動向を十分見極めながら、常に先手先手の確かな諸対策を講じて、言つてみれば「知恵と力・創意工夫の警備」で闘争を封じ込めていきたいと思つております。

新春にあたり、これまで幾多の諸先輩が血と汗にまみれながら歴史と伝統を築き上げてまいりました二〇周年を迎える年に、全国からこの北総台地に集う一五〇〇名の若鷲と共に、空港の安全の確保と、新たな歴史と伝統を築くために、更に大空に意気高く飛翔したいと思つております。

千葉県警察第一機動隊長 頼りにされる機動隊を目指して

千葉県警察第二機動隊長 年頭所感

中村 勇

新年あけましておめでとう



土屋 廣治

「励ましの」皆様方には、平素心暖まるご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年、表面的には大きな事案はなかったものの、成田警備を取り巻く情勢は二〇〇〇年平行滑走路完成を目前に、いわゆる話し合い路線が進み、元反対同盟員の移転調停等我々の活動も新たな局面を迎えると同時に完全空港化に向けて大きく前進した年でもありました。

一方これらの諸動向に対し、極左暴力集団は、一層の危機感・焦燥感を募らせ、ゲリラ活動を敢行、更に個人攻撃を示唆する言動もみられ、隊あらばとチャンスを狙つております。

我々は当該団体を始め、空港建設推進機関等に対し「極左の違法行為は看過せず徹底検査」を目指して、昼夜を分けて警戒警備を続けています。

機動隊は「治安警備及び機能別部隊の最後の砦であり、何時いかなる要請にも応じられる備えを行い、真に県民から期待され、信頼される機動隊を目指していく決意であります。

千葉県警察第二機動隊長 年頭所感

中村 勇

新年あけましておめでとう

中村 勇

新年あけましておめでとう

でございます。昨年の二月第二機動隊長を命ぜられ常任に就任したことは「機動隊は常に強くなければならない」という事です。警察組織の中でも一番強いから「治安の最後の砦」として国民から信頼され、反対勢力からは恐れられているの

そのために表面上は平穩に推移している今、時流に流される事なく、有事に備え、基本に裏打ちされた実戦的な訓練を反復継続する事により、違法行為を検挙する警備戦術を備えた応用及び機転のきいた精強部隊となるのです。

常在戦場といわれる成田現地に於いても昨年は、運輸省が平行滑走路二〇〇〇年度完成の発表、用地内農民の土地の先却、移転、契約など警備情勢は大きな局面を迎え、極左暴力集団は一層の危機感・焦燥感を募らせており空港本体内及び関連施設はもとより個人攻撃を示唆する過激な言動もあり、何時、どこで、どんな事案が発生してもおかしくない情勢下にある事を肝に銘じ、日常の訓練は実戦の気持ちで備えたいものであります。

平時において汗流す事多ければ実戦において血を流す事少ないのである。先訓にもあるように「正義のために血を流し、人のために涙を流し、己のために汗を流す」という何もの恐れぬ正義感と我が喜びに友は舞い友の愛に我は泣く友情、そして顔に汗したものが脈々と流れる強い機動隊作りを進進したい。

千葉県警察第三機動隊長 健康と安全は全てに優先

千田 栄志郎

明けておめでとう

明けておめでとう

明けておめでとう

明けておめでとう

明けておめでとう

明けておめでとう

今、諸先輩が血と汗と涙で築き上げた輝かしい伝統を基盤に、新たな伝統と現場に強い精強な部隊づくりに向け、爾々と邁進しているところであります。

強い機動隊づくりの根底は、健康と安全が確保され、加えて隊員同志が心から打ち解けて、心を一つに結び合つてお互い日々精進することにあると思つております。

そのためには、明るく活力に満ちた隊員づくり、努めることが肝要であると認識し、知恵を絞って試行錯誤を繰り返しながら諸施策を推進しているところであります。

新隊舎が、柏市柏の葉六丁目所在地に今年度中に完成移転を間近に控え、隊員の士気も上がつていると自負しており精強な部隊づくり、拍車がかかるものと確信しています。

隊員の「融和団結」と「健康と安全は全てに優先する」をモットーに、諸先輩の皆様のご叱咤、ご指導を頂きながら現場に強い部隊づくりを目指して本年も頑張りますので宜しくお願い致します。

神奈川警察第一機動隊長 よりしなやかに

佐熊 和三

明けておめでとう

明けておめでとう

明けておめでとう

明けておめでとう

明けておめでとう

策、刑事部門の暴力団抗争に伴う警戒や各種証拠品の捜索、生安部門の外国人不法就労事案の大規模検挙に伴う支援・地域部門の空き家交番対策等々全ての実働部門において機動隊が重要な戦力として幅広く活用されております。

集団警備力一筋で育つてきた私ども古い幹部が戸惑つたのは事実ですが、時代とともに警察事象も著しく推移しており、その変化に対応出来る「しなやかさ」こそが今の我々に求められている最も大きな課題であると考えを改めるものであります。

ただし、国の治安を担う組織として、一朝有事の場合に鍛えぬかれた集団警備力が絶対に必要であることに昔も今も変わりなく、あらゆる事態に即応できるよりしなやかな機動隊に向けて隊員一同たゆまぬ努力を重ねたいと願うものであります。

神奈川警察第二機動隊長 年頭所感

上原 昭次

今年も、「魅力ある精強な第二機動隊づくり」を目標に歩み続けたい。孫子「九地」の故事にいう「常山の蛇勢」の如く、変化に素早く対応できる、そして精強にして知的レベルの高い機動隊づくりである。

私は平素の訓練の中で、「何のために、誰のためにかを常に考えさせよ」と幹部を叱咤激励して行つた。何のための訓練かを理解されれば、やるべきことが自然と判るからである。

組織への埋没ないし依存傾向に陥ることなく、自己を明確に意識し、積極的に行動していくことが、部隊活動を主たる任務とする機動隊員の基本姿勢であるならば、よし、これらをつくり育てあげる喜びを十分に堪能したいものであります。

警備部門としての治安、雑踏、災害警備は勿論のこと、交通部門の死亡事故抑止対策、刑事部門の暴力団抗争に伴う警戒や各種証拠品の捜索、生安部門の外国人不法就労事案の大規模検挙に伴う支援・地域部門の空き家交番対策等々全ての実働部門において機動隊が重要な戦力として幅広く活用されております。

集団警備力一筋で育つてきた私ども古い幹部が戸惑つたのは事実ですが、時代とともに警察事象も著しく推移しており、その変化に対応出来る「しなやかさ」こそが今の我々に求められている最も大きな課題であると考えを改めるものであります。

ただし、国の治安を担う組織として、一朝有事の場合に鍛えぬかれた集団警備力が絶対に必要であることに昔も今も変わりなく、あらゆる事態に即応できるよりしなやかな機動隊に向けて隊員一同たゆまぬ努力を重ねたいと願うものであります。

神奈川警察第二機動隊長 年頭所感

る。まさしく、玉磨かざれば器を成さずである。機動隊は、共に汗し、涙し、喜びを分かち合い、生涯の友にめぐり会い、切磋琢磨できる職場であり、ここに素晴らしい魅力がある。

昇任試験合格、各種資格・級位の取得、体力気力づくり、趣味への没頭など、まさに機動隊ならではの感覚がある。さすれば、魅力ある精強な第二機動隊づくりは、私を中心とした幹部の極めて重要な仕事となる。

本年も隊員もども心を一つにして、県民のために涙し、己のために汗を流したいものである。終りに、会員の皆様と隊員、家族の幸せを切に願うものである。

新潟県警察機動隊長 有事に備える

横田 淑宏

広大な新潟平野の一角、新潟空港に隣接して、我が精鋭新潟県警察機動隊の隊舎があり、日本海の荒波と色とりどりのチューリップが咲き乱れる硬軟の環境が、強靱な心身、明るい隊風を築きあげている。

昨年は、「ナホトカ号油流出事故」「蒲原沢土石流災害」「日米共同訓練警備」等を始めとした各種出動を隊員は治安のプロとしてそれぞれ与えられた重要な役割と任務を的確に果たしてきた。

本年は二月に隣接長野県でのオリンピックが開催されるので、本県でもスキー、スケートの練習場として使われるとのこと、先の両県境で発生した「蒲原沢土石流災害」の際の長野県警察機動隊との息の合った呼吸を再現し警備の方全を期したい。

このためには、鍛え抜かれた強靱な精神と肉体が欠かせないが、合わせてどのような事案が発生しよう、これに見合う特殊能力が要求される。

隊員は種々な講習を受講し、訓練し、力の全開に向けて真摯な姿勢で取り組んでいる。新春にあたり、初心に返り、各々が自分の目標に向かって謙虚な姿勢で、誰からも愛され信頼される機動隊員としてに精進を傾けていきたい。

山梨県警察機動隊長 治安のプロを目指して

武井 弘和

も隊員とともに「治安のプロ」一頼りになる機動隊を目指して精進したいと思つたのでよろしく頼みます。

長野県警察機動隊長 決意も新たに

池上 正憲

全国の機動隊、管区機動隊の皆さん、明けましておめでとうございます。希望に輝く新春を迎えられたことと心からお慶びを申し上げます。

昨年中、長野県警察では、長野オリンピック・パラリンピックの開催を目前に控え、全組織を上げて、「完璧な警備」に向けて、警備諸対策を進めてきたところであります。がいよいよ今年はその成果を結果で示す時となったところであります。

機動隊においては「世界に輝く長野の治安」を合い言葉に、何時いかなる事案にも応えられる強い機動隊、力の機動隊を目指して日々、訓練を重ね、文字どおり「訓練に泣いて、実戦で笑う」努力を続けてきたところでありました。

過去におけるオリンピックや国際大会などスポーツの祭典の場が、テロのターゲットにされるという例からも、決して予断の許されない厳しい情勢にあります。こうした中で、本警備の万全を期すために、全国の多くの機動隊の皆様の応援をいただくこととなりますが、宜しくお願い致します。

今年、まさに足腰の強い「力の機動隊」を目指し、決意も新たに邁進する所存であります。

長野県警察機動隊長 決意も新たに

池上 正憲

全国の機動隊、管区機動隊の皆さん、明けましておめでとうございます。希望に輝く新春を迎えられたことと心からお慶びを申し上げます。

昨年中、長野県警察では、長野オリンピック・パラリンピックの開催を目前に控え、全組織を上げて、「完璧な警備」に向けて、警備諸対策を進めてきたところであります。がいよいよ今年はその成果を結果で示す時となったところであります。



古屋 達男

を基本理念に、有事即応部隊としての集団警備力の充実強化のため更なる練度の向上と各隊員が多種多様な事案に対

竹田 信一

目まぐるしく、複雑に変化する社会情勢の中で、治安保持の「先兵」として、そして「三」として、誇りと使命感に燃今年も全隊員一丸となつて事に備へるべく決意を新たにしております。

川坂 隆

福井県警察機動隊長 備え
 明けましておめでとうございます。
 さて、我が福井県警の昨年は、年明けより
 ●ロシアシカール重油流出事故
 ●中国人集団密航事案
 等の予測しない事件事故の発生があり、当隊も長期の出動を命ぜられ、事件事故の解決に寄与することができました。
 本（虎）年においても、いつ、どのような事件事故が発生するか予想がたい年になると思われれます。当隊でも機能別部隊を編成しておりますが、隊長以下一箇小隊で、ほとんどの隊員が二・三の部門を兼務している現状であります。しかし、これにとらわれることなく、全隊員がどの部門に編成され、出動を命ぜられても十分な活動ができるよう、平素から訓練を重ねております。
 本年当県は、昭和二十三年六月二十八日死害二、八九五人を数えた「福井大震災」より五十年を迎えます。これを機に近畿府県合同防災訓練が当県で開催される等、各種行事が予定されておりますが、その合間を縫って各種出動も予想され、昨年以上に多忙な一年になると思われれます。
 本年も隊訓である「誠実、融和、忍耐」を胸に、さらなる練度の向上を目指し、出発したいと思っております。
 岐阜県警察機動隊長 年頭所感 隆

析本 正道

予想され、昨年以上に多忙な一年になると思われます。本年も隊訓である、「誠実、融和、忍耐」を胸に、さらなる練度の向上を目指し、出発したいと思っております。

岐阜県警察機動隊長 年頭所感

井 隆

深く
十日

意識の変化によって、警備の手法に変わりはあろうとも、集団警備力」という本質は永遠に変わる事ではないものと思われ、**「力のある機動隊」**と**「強い機動隊」**を旨とし、**「強い機動隊」**を目指し、**「力のある機動隊」**を目指す。本年もさらに一層の飛躍をしたいと思います。お祈りします。

年頭所感

上げ
振り
察

の教訓をもとに発足した広域緊急援助隊が、あらゆる環境、条件下で活動できるよう実戦的な訓練も積み重ねて参りました。

本年も依然として厳しい治安情勢が続くものと思われまが、平素から実戦的な訓練を地道に積み重ね、すべての警察事象に即応できる、高度な技術と能力を有する青年で

を祈

象から人々を守る壁にならない
ければならない。今、世の人々
は、日本の道徳を守る最良の
後、皆を警察（警察官）に求
めて一人ひとりの警察官が心
を込めておくことが何よりも大
切である。尊敬される警察官
となるために……。

芦田 宗傳

同訓練が行われました。これに伴う警備を今回はじめて、本県部隊だけで完璧にこなしたことは、隊員個人の自信につながったと自認しております。また、日一の琵琶湖において多発する水難事故等に出動した各機難救助部隊を中心に各機



に耐えた結果であると確信しております。

○各所隊から頼りにされる機動隊

○集団警備力の中核部隊
○各種機能別に對するプロとしての専門的かつ高度な技術の向上

を指し、日常の地道な訓練を大切に、体力、気力の充実を図るとともに、人間性豊かな隊員を育成したいと願っております。

そこで本年は、日常の警備訓練を通じて、いついかなる事態にも迅速的確に対応できる、より精進な集団警備力の充実と、県民の期待と信頼に応える力強い警察の確立のため、全隊員一丸となって努力していく決意を新たにしております。

京都府警察機動隊長
年頭所感



河口 肇

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

我が国の治安は諸外国に比べて、格段に良好であるといふことも認められています。

一昨年末実施された総理府の世論調査では、日本のすばらしさの一つとして「治安の良さ」を挙げた人が前年比や増加しているといわれ、数年前の意識調査と比べると、国民の治安に対する信頼という観点からは依然として厳しい情勢であり、いわゆる「安全神話」のかげりが未だ改善されていまいとわがざるを得ない状況である。

「在ペルー日本国大使公邸占拠事件」「エジプトにおける観光客大量虐殺事件」等国際テロ情勢の厳しさに増して、国内の犯罪情勢は、犯罪の凶悪化、組織化、広域化が一層深刻化しており、多くの国民の「体感治安」は必ずしも望ましい状況にないことを

銘記する必要がある。

このように、いつ、どこで、どのような事が発生するか予測できない不透明な社会情勢にあって、突発的な大事件に對する迅速、的確な初動措置、部隊活動こそ、我ら機動隊に課せられた最大の使命であると再認識し、集団警備力の中核として、警備事象のみならず、あらゆる警察事象に確実に対応し得る「治安の最後の砦」としての誇りと自覚を持つて、さらに実戦的な機能別訓練の充実を図りたい。

日々の訓練を通じて隊員個々の実務能力のレベルアップによってこそ、「府民とともに、府民のために」の基本理念の実践と「安心、安全の街づくり」に貢献できるとの信念の下で、府民の期待と信頼に応え得る精進機動隊の育成を期し、確固たる強い意志でさらに「前へ」を合言葉に隊員と打って一丸となり精進する決意である。

大阪府警察第一機動隊長
年頭のごあいさつ



千谷 孝弘

会員の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私共の活動の基盤は何と申しまして、皆様方の温かいご理解と強い励ましによるものであります。ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

願いますと昨年は、たび重なるあいり警備や五十年ぶりに大阪で開催された国体警備など、多種多様の警備活動で各地を飛び回りました。極めて多忙な一年でありましたが、皆様の励ましを心の支えに全隊員が一致協力して、その時々の課題に真剣に取り組み、いい汗を流してまいりました。

とりわけ昨年は、山積する課題を達成するため、隊員の

警備技能、警備センスを高める必要性を実感し、新たな試みを徹底しました。

先ず、工夫をこらしたアンケート調査によって隊員個々を知ることから始めました。

その上で、隊本部、中隊に二十のワーキンググループを編成し、全隊員を参画させて活発な討論を繰り返しながら勉強するという手法を用いた。知識は、さらに実践的訓練により身体に覚えこませるというものであります。

こうした研修・訓練は、警戒警備に出動する合間、文字どおり寸暇を活用しなければならず、時間の確保には相当苦勞しましたが、この方策はまさに有効でした。十人十色の発想、隊員個々の持ち味を引き出すことになり、同時にまた隊員に「参画し貢献し、やり甲斐と満足感」を覚えさせるのに十分であつたと確信しております。

お陰をもちまして、仕事の成果としてもかなりのものを収めることができたと思っております。

ところで、本年も機動隊活動をとりまく環境は厳しいうれやうと予想されますが、全隊一丸となってあらゆる警察事象に敢然と立ち向かう決意であります。

終わりに「励ます会」の益々のご発展と皆様方のご多幸、ご健康を心からお祈り申し上げます。新春のごあいさつといたします。

大阪府警察第二機動隊長
「準の二機」新年の決意

新年明けましておめでとうございます。

「励ます会」の皆様から寄せられるご厚情に、心から感謝申し上げますとともに、ご期待にこたえられるよう、誠心誠意努力する所存でございます。

昨年には重要な警備実施の連続でありました。とりわけ後半からは、一層多岐にわたる警備活動が展開されました。

○全教第十一回定期大会警備での和歌山県派遣

○山口組若頭、宅見組組長射殺事件に對する警戒警備

○なみはや国体、および身障者スポーツ大会での警戒警備と警戒警備

○李鵬中国首相来日警備

そして、歳末警戒から「四成あいりん地区越境闘争」警備へと、重要な警備実施の連続でしたが、全隊員を一心に任務を全うし、よく頑張りました。

また、地球規模での気象の変化、環境汚染など、まさに世紀末的な現象は、人の荒廃の一層の拍車をかけ、国際紛争や国際的犯罪グループによる犯罪の横行など、極度に治安を悪化させる要因が揃っております。

す。

昨年には重要な警備実施の連続でありました。とりわけ後半からは、一層多岐にわたる警備活動が展開されました。

○全教第十一回定期大会警備での和歌山県派遣

○山口組若頭、宅見組組長射殺事件に對する警戒警備

○なみはや国体、および身障者スポーツ大会での警戒警備と警戒警備

○李鵬中国首相来日警備

そして、歳末警戒から「四成あいりん地区越境闘争」警備へと、重要な警備実施の連続でしたが、全隊員を一心に任務を全うし、よく頑張りました。

また、地球規模での気象の変化、環境汚染など、まさに世紀末的な現象は、人の荒廃の一層の拍車をかけ、国際紛争や国際的犯罪グループによる犯罪の横行など、極度に治安を悪化させる要因が揃っております。

今年はこのような状況がさらに拡大し、一層多岐にわたる警備活動が展開されることが予想されますが、我々は「治安の闘士」としてどのような逆境にも耐えられる強固な精神鍛錬を第一義とし、さらに「爆発物処理」「ダイブレスキュー」「レンジ急援助隊」「銃器、災害、有害ガス対策」などの特殊技能にさらなる磨きをかけ、「一朝有事に万全の備えを構築し、真に府民の信託に deserving 精神を「準の二機」たらんことを決意しております。

大阪府警察第三機動隊長
先輩に学ぶ

新年明けましておめでとうございます。

本年も隊員が機動隊の良さを再認識し、充実した一年を送れるようにと念じ、一層の「心技体」の修練を求めるところである。

複雑多岐な社会世相を反映して、我々機動隊に様々な警察活動能力が求められており、その期待に応えるために、各種訓練を間断なく実施し、各機能の修得習熟に更なる拍車をかけなければならぬ。

基本訓練は当然として、社会環境の変化に伴い、大規模な被害事案をもちこたえられない事故事案、銃器関連事案等への対応能力を高めることが求められている。

また、社会の複雑な諸要素は、警備活動現場における精神面のタフさを必要としており、我々に求められるものは、今年はこのような状況がさらに拡大し、一層多岐にわたる警備活動が展開されることが予想されますが、我々は「治安の闘士」としてどのような逆境にも耐えられる強固な精神鍛錬を第一義とし、さらに「爆発物処理」「ダイブレスキュー」「レンジ急援助隊」「銃器、災害、有害ガス対策」などの特殊技能にさらなる磨きをかけ、「一朝有事に万全の備えを構築し、真に府民の信託に deserving 精神を「準の二機」たらんことを決意しております。

兵庫県警察機動隊長
新年を迎えて



谷 孝祐

新年明けましておめでとうございます。

本年も隊員が機動隊の良さを再認識し、充実した一年を送れるようにと念じ、一層の「心技体」の修練を求めるところである。

複雑多岐な社会世相を反映して、我々機動隊に様々な警察活動能力が求められており、その期待に応えるために、各種訓練を間断なく実施し、各機能の修得習熟に更なる拍車をかけなければならぬ。

基本訓練は当然として、社会環境の変化に伴い、大規模な被害事案をもちこたえられない事故事案、銃器関連事案等への対応能力を高めることが求められている。

また、社会の複雑な諸要素は、警備活動現場における精神面のタフさを必要としており、我々に求められるものは、今年はこのような状況がさらに拡大し、一層多岐にわたる警備活動が展開されることが予想されますが、我々は「治安の闘士」としてどのような逆境にも耐えられる強固な精神鍛錬を第一義とし、さらに「爆発物処理」「ダイブレスキュー」「レンジ急援助隊」「銃器、災害、有害ガス対策」などの特殊技能にさらなる磨きをかけ、「一朝有事に万全の備えを構築し、真に府民の信託に deserving 精神を「準の二機」たらんことを決意しております。

兵庫県警察機動隊長
新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

本年も隊員が機動隊の良さを再認識し、充実した一年を送れるようにと念じ、一層の「心技体」の修練を求めるところである。

複雑多岐な社会世相を反映して、我々機動隊に様々な警察活動能力が求められており、その期待に応えるために、各種訓練を間断なく実施し、各機能の修得習熟に更なる拍車をかけなければならぬ。

基本訓練は当然として、社会環境の変化に伴い、大規模な被害事案をもちこたえられない事故事案、銃器関連事案等への対応能力を高めることが求められている。

また、社会の複雑な諸要素は、警備活動現場における精神面のタフさを必要としており、我々に求められるものは、今年はこのような状況がさらに拡大し、一層多岐にわたる警備活動が展開されることが予想されますが、我々は「治安の闘士」としてどのような逆境にも耐えられる強固な精神鍛錬を第一義とし、さらに「爆発物処理」「ダイブレスキュー」「レンジ急援助隊」「銃器、災害、有害ガス対策」などの特殊技能にさらなる磨きをかけ、「一朝有事に万全の備えを構築し、真に府民の信託に deserving 精神を「準の二機」たらんことを決意しております。

兵庫県警察機動隊長
新年を迎えて

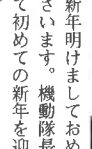
新年明けましておめでとうございます。

本年も隊員が機動隊の良さを再認識し、充実した一年を送れるようにと念じ、一層の「心技体」の修練を求めるところである。

複雑多岐な社会世相を反映して、我々機動隊に様々な警察活動能力が求められており、その期待に応えるために、各種訓練を間断なく実施し、各機能の修得習熟に更なる拍車をかけなければならぬ。

的に耐え得る強い機動隊を目指す。隊員と共に全力投球する所存であります。

奈良県警察機動隊長
宣言をする



田嶋 知

本年は、こんなことに挑戦しよう。こういう資格を取ってやろう。年頭にあたり、各人それぞれ胸の期するところがあるものと思われる。胸に期されたものは大抵の場合その奥深くに秘められるのである。

今年にはひとつ勇気をもって期した内容を「宣言」してみよう。それらも冗談半分ではなく、信頼関係の篤い人、尊敬する人等がこの人だいは裏切ることがある。そういう人に宣言してみよう。

昨年の「はげまし」の第何号であったか、父親が四歳の息子に「宣言」する話を讀ませていただいた。新年の目標を「宣言」した息子が「お父さんは？」と切り返された。父は「お父さんは？」と「昇任試験の合格や」と口に出した。この「宣言」は、持ち運ぶのには重いけれども、身中の出動、訓練で疲れても身に容れられ、いかに睡眠を妨げず、気付け薬ともなつたのである。

去年より今年、今年より来年と自分を大きくし、高みへ引き上げようとする意志が、今年には思うところを「宣言」し、その実現に一助にしようではないか。

和歌山県警察機動隊長
年頭所感

鳥取県警察機動隊長
有事即応力の向上

鳥取県警察機動隊長
有事即応力の向上

鳥取県警察機動隊長
有事即応力の向上

鳥取県警察機動隊長
有事即応力の向上

鳥取県警察機動隊長
有事即応力の向上

鳥取県警察機動隊長
有事即応力の向上

鳥取県警察機動隊長
有事即応力の向上

鳥取県警察機動隊長
有事即応力の向上

鳥取県警察機動隊長
有事即応力の向上

います。

当隊では、治安のプロ集団として県民の期待と信頼に応えるため、隊員一同決意を新たにしているところです。さて、昨年は「翔け、交流新時代」をテーマとした「山陰・夢みなと博覧会」が、七月十二日から九月二十八日まで七十九日間、本県西部の境港市で開催され、県警察の総力をあげて取り組んだ結果、無事に終了しました。

この間、当隊においても、酷暑の中を全隊員が一丸となって難路警備、水難事故の防止対策に努め、所期の目的を達成することができました。また、災害警備技術の向上を図るため、消防との合同救助訓練や各種警備技術の向上に努めるなどにより、相当の成果が認められました。

治安情勢が厳しな中であって、本年は、有事即応力をさらに向上させる年と考えます。このため、隊員一人ひとりに任務の重要性を再認識させるとともに、当隊訓「勇・誠・和」を基本理念として、より精進な集団警備力の中核部隊の育成に努めていきたいと考えています。

高知県警察機動隊長 年頭所感



清水 徳

新年あけましておめでとうございます。

平素当隊業務に對しまして格段のご支援、ご理解を賜り心から感謝申し上げます。当隊は、機動隊発足三十六周年を迎え、これまで諸先輩が昔々と築いてこられた伝統を汚すことのないよう、「規律団結」「有事即応」を隊訓に、二十七名の隊員が一丸となり、柔剣道、各種部隊訓練に頑張っております。さて、昨年は部隊の県外活動や大規模な警備実施等はなかったものの、県内では、

努力、その結果として、各級昇任試験では例年を大きく上回る合格者を出すことができました。

本年は、隊員のさらなるプロ化を目指し、隊訓である「精進」を踏まえ、隊員一人ひとりに、隊員としての自覚と責任感を植え付け、各級昇任試験合格者の倍増計画を掲げております。

本年は「警察最後の砦」として、多様化している県民の期待に的確に応えるべく、集団警備力を如何に発揮できるか、日々訓練を重ね、あらゆる事象に迅速に対応し得る精進な部隊づくりに取り組む、そして「県民に期待される機動隊」の一層の飛躍を目指して精進する所存であります。

岡山県警察機動隊長 年頭所感



大谷 孝志

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、岡山県警察機動隊にとって、節目の年でありました。県機・管機の集中運用を行っていた隊では、管区機動隊の部隊編成替えに伴い、新しい警備ポストを設け、大隊長を配置して隊内に大隊本部を設置する。方、県機部隊も右編成替えに呼応させて、それまでの、一個小隊から中隊長を新設して、一個小隊による中隊運用とするなど、まさに新生機動隊元年であった訳であります。

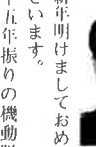
中隊までもなく、この部隊編成替えは、より小回りが効く機動的な部隊づくりを主目的とするもので、そこでは各隊員一人ひとりのプロ化がより、層求められてくるものであります。従って、昨年、年間では、特

に、各級昇任試験では例年を大きく上回る合格者を出すことができました。

本年は、隊員のさらなるプロ化を目指し、隊訓である「精進」を踏まえ、隊員一人ひとりに、隊員としての自覚と責任感を植え付け、各級昇任試験合格者の倍増計画を掲げております。

本年は「警察最後の砦」として、多様化している県民の期待に的確に応えるべく、集団警備力を如何に発揮できるか、日々訓練を重ね、あらゆる事象に迅速に対応し得る精進な部隊づくりに取り組む、そして「県民に期待される機動隊」の一層の飛躍を目指して精進する所存であります。

広島県警察機動隊長 年頭所感



西村 進

新年明けましておめでとうございます。

十五年振りの機動隊勤務で、はつらつとした若い隊員とともに、輝かしい新年を迎えることができ、他の所属とは、味違った喜びを感じております。

時代とともに、出動事案、警備環境も変化し、現場ではより高度な技術等を求められる場面も増加しております。今後ともこの傾向は強まっていくものと思っております。そこで本年も、隊員の力、技術、装備が、旺盛な士気とともに、必要とされ、必要な現場に投入できるよう備えてまいりたいと考えております。そのためには、隊員が出勤に訓練にやりがいを感じ、機動隊生活に生きがいを見い出せる環境づくりが重要であると思っております。

山口県警察機動隊長 存在感のある機動隊



福岡 米次

新年あけましておめでとうございます。

本県は、地震も安定し、台風の影響を受けることも少なく、比較的災害に強い土地であるといわれています。昨年、県北部を震源とする地震、台風八・九号そして十九号と災害の当たり年となり、災害警備出動が例年になく多かったほか、米軍岩国基地開港、上関原発開港等の治安警備出動、水難救助活動、証拠品の捜索等各種の機動隊活動にも出動した。

これら活動の中で、本県機動隊のシンボルであるエンジ色の機動隊腕章を見て「あつ、機動隊だ」という声を聞いた。また、当隊を来訪された災害被害者の最もひどかった村の村長から、涙ながらに機動隊の活動に對し感謝の言葉をいただいたし、水難被害者の遺族からもお礼の手紙を頂戴した。そこには機動隊が出動していることへの安堵感、機動隊の活動に對する県民からの信頼感というものを十分感じることが出来た。

さて、社会情勢の変遷とともに、機動隊の運営にも変化が求められているが、機動隊が警察力の最後の砦として揺るぎなき信頼を勝ち取ってきた。すなわち、一日ことがあるときに、県民から、あるいは部内からも「機動隊はよくやってくれ、いざというときには機動隊が頼りだ」といわれるような存在感のある組織作りを努めていきたいと決意を新たにしている。

徳島県警察機動隊長 年頭所感



檜皮 弘

新年明けましておめでとうございます。

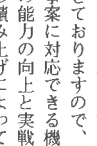
「励ます会」の皆様には平素から心温まるご支援、ご協力をお願いいたし心から感謝申し上げます。

昨年は管区機動隊が日韓首脳会談警備等二度にわたって県外出動したのに加え、県内においても七月に皇太子同妃両陛下の行啓、秋篠宮同妃両陛下のお成りに伴う警備警備が続き、隊員一人ひとりが与えられた任務を十分自覚し旺盛な士気と積極的な職務執行によって、その責任を全うすることができました。

本年は、県民が待ち望んでいた明石海峡大橋が四月に開通し、近畿圏とのより活発な交流が図られ、県民生活環境等にも大きな変化が予想されます。同時にこうした情勢を背景に新しい形態の事件や事故の発生が懸念されているところです。

なかでも、十一月には本県で「第十八回全国豊かな海づくり大会」の開催が予定されており、機動隊が果たす役割はこれまで以上に重要となつてきておりますので、あらゆる事案に對応できる機動的な訓練の積み上げによって真に精進な部隊の育成を目指したいと思っております。

香川県警察機動隊長 年頭所感



橋本 俊一

「体操」という小隊長の号令により、わが機動隊の一日が始まる。準備体操の後、近くの海岸沿いの約一・五キロのコースを一周する。

この毎朝のランニングは、十数年前に始まり、今も続いている伝説行事のひとつで、当時の隊長が隊員の基礎体力の向上を図るために始めたといわれている。

かくして五十路を迎えた私も隊員とともに、いや、隊員の後方からではあるが、気になり始めて久しいウエストを絞る絶好の機会ととらえ、毎朝汗を流しているところである。元来、走ることが苦手な私はあるが、続けているうちにそれなりにタイムが良くなってきた。それ以上に、走った後の爽快さは何とも言えない。加えて、晩酌のビールは格別である。思うに私にさえ走ることにより目に見えて変化が現れてくるのである。何年もこれを続けていく隊員にとつて、体力の向上に大いに役立つはずである。

とは言うものの、ただ走るというだけでは十分な成果が期待できないのではないかと。各人が自分なりの目標を持ち、その目標に向かって走り続けるならば、昨年の全国大会のように結果は必ず後からついてくると思う。

今年、隊員の一人ひとりが自分の目標を一つ上に定め、その目標に向かって邁進していくことを願っております。

愛媛県警察機動隊長 常在戦場



武智 彰宏

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、県内において特異な重大事案の発生もなく、比較的平穏に推移し、わが機動隊においても大規模な出動はありませんでした。今年、戊寅（つちのえと）すなわち暴虎の年であるといわれます。表面は一見平穏に推移しているように見えても、世紀末を控え激動の年となる可能性があります。

予想されます。「常在戦場」この四字は、昨年三月機動隊長を命ぜられたときに、警備部長から「常に戦場に我が身を置いて、日々引き締まった気持ちで、日々取り組みたいものだ」といっていたものであります。

越後長岡藩の藩士といわれ、かの連合艦隊司令長官山本五十六大將も、平時から「常在戦場」ということを強調されていたそうである。私も、機動隊も「平時の今こそ、常にその気持ちをもって実力を練成し、有事に備えておくべきである」との感を強くしております。

我が国近代警察の創設者である川路利良大警視も「警察を護せんとする者は無事の日々に於いて有事の日として怠らざるにあり」と訓えております。

年新たにして、隊員一人ひとりが「常在戦場」の心構えで、有事に備えた体制の確立に向け、日々精進すべく決意を新たにしているところであります。

高知県警察機動隊長 年頭にあたり



仙頭 文雄

新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた新年を迎えられたことと思っております。寅年にちなんで「虎穴に入らずんば虎子を得ず」という諺があります。猪突猛進は困りますが、今年はなにより、全隊員が一枚岩となつて創意工夫をこらし、勇気をもつて前進したいと思っております。昨年は、県内の治安情勢は比較的平穏に推移し、これといった大規模な警備はありませんでした。各種警備を完璧にこなし、また、数次にわたる出動した潜水部隊等の機能

別部隊もそれぞれに任務を完了しました。

近年における犯罪は、社会的に大きな脅威を与えている。犯罪は犯罪、ネットワーク利用による凶悪異常な犯罪が頻発しています。また、テロ・ゲリラ、銃器、薬物等からなる犯罪各般は、今後さらに社会の変化に際し、これらに知識や経験で推し量ることのできるような多様な犯罪形態が発生すると思われまします。

従いまして、機動隊としてこのことを受け止めながら、任務である「集団警備力を用いて治安警備及び災害警備の他、必要に応じて機動別部隊活動、難民救済、警備、警護、各種一斉取締り等に当たり、手眼」において、「世の安寧を護せんとする者は無事の日々に於いて有事の日として怠らざるにあり」と訓えております。

重ね、いかなる事案にも対応できる精進なプロ集団づくりに邁進していく決意であります。

終わりに、お互い切磋琢磨しながら「二度と帰ってこない」の毎日を生きていくことのない平成十年の三六五日の毎日を精一杯生き切ることを、隊員や家族にとつて幸せな一年であるように」と願っております。



深山 成美

新年あけましておめでとうございます。

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。私自身、昨今の機動隊をめぐる情勢の変化と各種要請の多様化を痛感しながら、第一機動隊長として二度目の新年を迎えているところでありま

四国

九州

設、産廃問題などに絡む住民運動が予想されるなど、予断を許さない情勢であります。さらなる訓練を重ねて有事即応体制を確立して、県民の期待と信頼に応えられるよう最善を尽くすとともに、「強く、正しく、明るく」の隊訓をモットーに文武両道を備えた強靱な機動隊づくりに邁進する決意であります。

沖縄県警察機動隊長
年頭所感



江原 清治
宇江原

新年明けましておめでとございます。

昨年も総理大臣米泉に伴うウレ警護警備、多数の過激派が来県した五一、五県民総決起大会に伴う警備、全国農業青年交換大会警備、警備、復讐二五周年記念式典警護警備等警備出動の多い一年でありました。

特に、復讐二十五周年記念式典警護警備は、米軍ヘリザブート移設問題や、沖縄県が推進している国際都市形成構想等の将来的なものと絡めた問題もあり、同警護警備の成功が全国的にも注目を集める警備でありましたが、全隊員のこの厳しい警備を厳密に受け止めて、やるべき任務を着実に完遂致しました。

今年も昨年同様、米軍基地に絡む警備出動、県国都府県市形成構想に伴う警備出動が予想されます。

これに対処するため、

○基礎体力の練成された部隊

○知力、体力、技術が活かされた機能別部隊の育成

○機能できる特殊部隊の育成

等、隊員の指導に努め、いかなる現場にも対応できる機動隊をめざしていく所存であります。

今年も沖縄県機動隊をよろしくお願致します。

隊員から隊員への手紙

先輩へ



山口県警察機動隊 機西 清吾

先輩、憶えていらっしゃるでしょうか。あの夜、まだ入隊二年目だった私を奮い立たせてくれたのは、あの言葉だったというのを。平成七年一月、神戸に到着したのは既に真夜中でした。そこで私を待っていたのは、翌朝から始まる救助活動に対する不安、極寒、更には止むことのない余震で否応なしに恐怖感が高まるだけだったと思います。

しかし先輩の言葉で奮い立ち、勇気づけられたのです。「怖くて不安なのは前だけじゃない。俺も、他のみんなも同じだ。でも、一番苦しんでいるのは我々の救助を待っている被災された方々なんだ。」そうなんです。機動隊員である私が怖がっているのは何も始まらないということに、その時気がついたのです。帰郷するまでの一週間、我を忘れた懸命な救助活動を行い、機動隊員として大切な何かを持ち帰ることができたのではないかと思っています。

現在、私の機動隊勤務も五年が経過しますが、中堅隊員としての責任を自覚し、あの



岩手県警察機動隊 前川 拓也

いつもお世話になっている

私に機動隊員となつて一年が過ぎ、隊にもだいぶ慣れ、仕事もこなせるようになってきました。しかしここまで成長できたのも、良き上司や先輩方が教へ導いてくれたからであります。中でも山内分隊長は言葉では言い切れないほどお世話になりました。春の新隊員訓練を覚えてい

読者の広場



正月のくしやみはおめでたい？

樋浦 忠

(理事・北陸支部長)

人の噂をすると、された人がくしやみをするという。もちろんこれは俗説だ。また「一ほめられ、二そしられ、三くさされ、四かぜをひく」といった言葉もあるが、これも世間で話がある。これは、何故こんなくしやみにまつわる言い伝えが出たのだろうか。これは、もともとくしやみが出るのは「不吉」という考え方からきたものだ。今では、くしやみが出ようがそんなことは一向に気にしないが、その昔は神秘的なものとみて、くしやみと一緒に「靈魂」が飛び出してしまうと

ところで、清少納言の「枕草子」によると、正月元日のくしやみはおめでたいこと、喜ばれたと書いている。一六四段にこう出てくる。「したたにおなるもの、正月一日のつとめて、最初にはなひたる人」と。元旦の朝早く、家の中で一番最初にはなひたる人(くしやみをした人)が得意になっている様子がうかがえる。清少納言だけでなく、一般的な民間信仰として「元旦に

はなひたるは長命の相」ともいわれた。そして、くしやみが出た時、「くそ喰らえ」とか「畜生」と怒鳴れば、風邪をひかぬともいいた。逆に、くしやみを言った時「くさめ、くさめ、を言わねば死ぬ」と恐ろしいことを吉田兼好は「徒然草」四七段に残している。

ところで、寒い時期は風邪の引き始めともいわれる。風邪の特効薬が出来たらノーベル賞ものとされるように、風邪はどのように始末が悪い。どんな高価な薬を飲んで、あるいはどんな名医にかかろうが、すぐにはすっきりしないもの。やはり、ある程度の日数をかけ、人間の持つ不可思議な自然治癒力に頼るのが、「最高の薬」だろう。まさに「日数をかけ、自然の体に戻す」原始的な治療法がいまも効果的だ。

この自然にまかすというのがいま流行りの脳内ホルモンの活性化ということだろう。その点でいえば、何も現代のブームではなく、古来から言い伝えられていることが、現代風にアレンジされ、マスコミでチャホヤされていることに過ぎない、ともいえる。

機動隊からのたより

福島県警に山岳遭難救助隊在り！

福島県警察機動隊

平成九年五月、機動隊内の機動別隊として隊長以下十三名による「山岳遭難救助隊」が発足した。その背景には、中高年者の登山ブーム等による山岳遭難事故の増加があげられ、特に平成六年福島、山形県境の吾妻連峰で「ツァー」スキーヤー七名が遭難し、五名が死亡する」という遭難事故が発生し、警察内部で山岳遭難に対する態勢強化が叫ばれたことを契機としている。



山岳遭難救助隊員一同、一層の精進を重ね、実力を

身につけたいと考えている。自信をもって「山岳遭難は俺たちを呼べ」と言えるまで。

一通の礼状

山内分隊長へ

先日早朝、埠頭から車両が海中に転落し、我々機動隊潜水班は現場に直行した。海中の潮の流れがあまりにも早く、また、視界もほとんどないという無様に入り、潜水班に緊張の空気が漂った。家族からの「一刻も早く」との視線を感じながら、捜索開始後間もなく転落車両を発見することができた。しかし、空しくも運転していた若い男性は既に帰らぬ人となっており、家族のすすり泣く声が聞こえてきた。山内分隊長は悲愴な気持ちにさせられた。

後日、遺族の方がわざわざ職場を訪ねられ先日のお礼を述べ頭を深々と下げられた。その数日後、一通の手紙が隊に届いた。「最近やつと落ち

お知らせ

◎平成十年一月二十日(火)

東京都江東区新木場警視庁武道館において、「警視庁機動隊武道始式」が開催されます。

ご参観希望の方は、事務局までご連絡ください。(一月十四日締切り)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|------------|--------------|-----------------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|----------------------|-------------|--------------------|-------------------|-----------------|------------------|----------------|----------------|--------------|--------------|------------------------|
| 本年もよろしく
お願い申し上げます | 大内 俊司 橋本 尚吾 | 佐々木 喜朗 姫田 清美 | 鈴木 實 加納 保成 | 青山 特殊鋼 白神 賢志 | 株エース電研 株テクノ・タジマ | 岡 部 株 東海レーパー鋼業 株 | 関東 銑鉄 株 豊田 通商 株 | 草野 産業 株 松田 鉄鋼 株 | 高周波 熱錬 株 宮崎 精鋼 株 | 光洋 商事 株 内外 運輸 株 | 芝本 産業 株 広島シャイニング工業 株 | 株周東商会 丸橋 哲彦 | 次郎丸 嘉介 大川トランスティル 株 | スカイコート 株 金森藤平商事 株 | 村山 鋼材 株 藤田 金屬 株 | 小川 運輸 株 三星金屬工業 株 | 平和 農産工業 自見産業 株 | 関西 製鋼 株 ブルマン 株 | 株クボタ 豊鋼材工業 株 | 高島 浩一 北海鋼機 株 | 西野 公庸 株機動隊員等を励ます会 東北支部 |
|----------------------|-------------|--------------|------------|--------------|-----------------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|----------------------|-------------|--------------------|-------------------|-----------------|------------------|----------------|----------------|--------------|--------------|------------------------|

今月の言葉

一九九八年を迎えて二十世紀もあと残すところ三年となった。次の世紀に向けて私達は何を考え、備えていったら良いのだろうか。

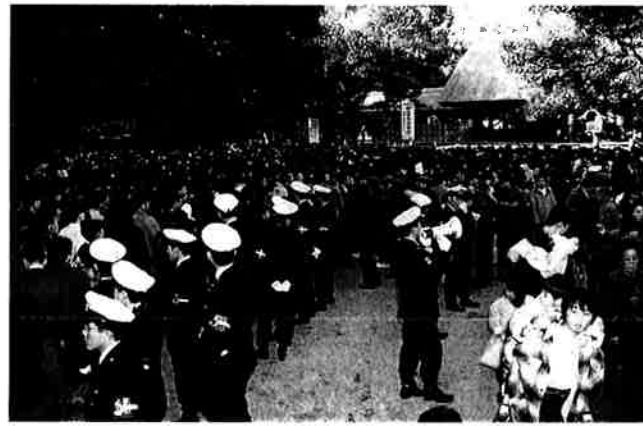
二十世紀の光（プラス）と影（マイナス）を振り返ってみよう。

光の面では

- ①民主主義の普遍化
- ②資本主義の勝利
- ③植民地主義の終焉、国民国家の普遍化、民族自決の認知
- ④科学技術の進歩
- ⑤生活水準の向上
- ⑥集団的安全保障体制の一般化
- ⑦情報化時代の到来

等が挙げられる。

今年も国民の安全と平和の為に 年末年始警備万全に



平成十年の年が明けた正月の三が日。三日間とも天候に恵まれ、日本各地で神社・仏閣へ初詣に出掛けた人は、昨年より二十二万人を上回る八千六百九十四万人（警察庁まとめ）であった。

また、全国の観光地、レジャー施設、スキー場などの主な行楽地への入出は、三百七十四万人と昨年よりも少ないとはいえず、新年を祝う人々で全国各地は賑わった。

今年は「安・近・簡」の傾向が一段と高まり、家族旅行などを控え、自宅周辺でお正月休み

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円（送料共）
（但し会費の中には購読料を含む）

二十一世紀に向けて

一方で影の面では

- ①イデオロギー競争下での世界大戦と冷戦
- ②大量破壊兵器の出現
- ③世界恐慌
- ④南北問題、人種問題の深刻化
- ⑤資源の浪費と環境問題の発生
- ⑥文化の均質化と軽薄化

係を持つて発生している。例えば科学技術の進歩と生活水準の向上は相反する面として大量破壊兵器、地球環境問題、人口問題と対峙しており、「進歩主義」に対する

正月三が日の初詣の人出

		(万人)
1位	明治神宮 (東京)	344
2位	成田山新勝寺 (千葉)	304
3位	川崎大師 (神奈川)	301
4位	住吉大社 (大阪)	282
5位	熱田神宮 (愛知)	227
6位	伏見稲荷大社 (京都)	225
7位	鶴岡八幡宮 (神奈川)	199
8位	太宰府天満宮 (福岡)	198
9位	大宮氷川神社 (埼玉)	183
10位	浅草寺 (東京)	168

を過ごした人々が多く、先行き不透明な景気を反映しているかのようであった。そのためか景気回復や世の中の平和、家族の健康などを祈る人々で初詣は長蛇の列となった。

各都道府県警察では、正月三が日、神社・仏閣および行楽地の合計約一、七四〇箇所に警察官や機動隊員が出動し、連日昼夜を分かたず警備にあたるなど、万全な警備体制により事故の発生を防ぐことができた。機動隊員の尽力のもと、今年も我々国民が安全に平穏無事の一年を送れるよう隊員の皆さまに心からお願ひしたい。

第二十四回 大阪支部総会を開催



近畿管区警察局長
井野 忠彦 殿



大阪府警察本部長
廣瀬 權 殿

「第二十四回大阪支部総会並びに懇親会」が十二月二日（火）午後六時よりホテルニューコクサイにおいて開催された。

総会には近畿管区警察局長、大阪府警察本部の幹部および機動隊員約一五〇名、励ます会会員約一八〇名が出席。鳥居世話人の司会進行のもと全員の国歌「君が代」の斉唱で開幕。

西野支部長より、「数回に亘り参列した警察行事を通じ、機動隊員のキビキビとした動作、名前を呼ばれた時の「ハイ」という躰が大変印象に残り、深く感動し感銘を受けました。我々の知らないところで厳しい訓練を繰り返し、立派に任務を遂行されている。その果実が私達会員一同が「枕を高くして寝ていられるのは

誰のお陰」と感謝の気持ち一杯であります」との挨拶がありました。

つづいて、本部鈴木相談役より、「私共の励ます会は、機動隊員の唯一の支援組織であり、今後も激励・支援活動を積極的ににつづけていく」との励ましの言葉が述べられました。

つぎに、警察側ご来賓のご挨拶に入り近畿管区警察局長井野忠彦殿より、当会発足以来二十年以上の永きにわたる支援に対し謝辞が述べられるとともに、「今年の近畿地方の警備を振り返って、大阪「なみはや国体」京都・和歌山で「天皇・皇后両陛下の行幸啓」兵庫「全教の教員集会」奈良「中国の李鵬首相来日」滋賀「日米共同訓練」等々、実に重要警備事案の多い年でありましたが、大阪府警察の機動隊にあつては府内のみならず他府県へ警備のため特別派遣され任務を完遂。また来年には長野オリンピックへ派遣されることにもなっております。今後とも機動隊は治安維持の最後の砦であることに誇りをもって任務を全うします」とのご挨拶があり、また、大阪府警察本部長廣瀬権殿（二面へつづく）



る懐疑」が次第に高まって来ている。それは文化、芸術の領域でも同様であり、「価値の多様性に対する再評価」につながり、近代文明そのものに対する根元的な

問題を提起しているかに思える。私達の日常生活により身近な経済面ではどうであろうか。少なくとも先進国ではこれ以上物質的な豊かさを追い求める

ことが正しい道であろうか、また可能なのだろうか？物質的な価値観のみが幸せをもたらすのだろうか？が問われ始めた。「拝金主義」の一般化は本来交換手段でしかなかった貨幣がそれ自体商品化してしまい、貨幣が全ての価値を決める尺度となり人間を支配する途になっている。

二十世紀に勝利をおさめた価値観に修正が必要となるのは明らかだ。人間性や自然、民族文化というような価値が貨幣とは異なる価値として重視されなければならない。地球環境や人間の尊厳性を重視した人類社会の新たなパラダイム（規範）が求められよう。

（副理事長・東京本部 千速 晃）



より「励ます会」は機動隊にとつては心強い支援組織であり、平素の支援に心から感謝する。本日この日「あいりん情勢」が悪く多くの隊員が出動しておりますが、なみはや国体での活躍、長野オリンピックへの派遣等々、機動隊員の逞ましい活躍の報告とともに「府民の皆様の期待に十分に答えられるよう頑張っていく」との力強い決意がありました。

その後、深合理事の音頭で懇親パーティーに入り、第二機動隊音楽バンド「ファルコン」の生バンドによるBGMが流れるなか、婦人機動隊員豊田さん、確村さんの司会でビンゴゲームが始まって歓喜の声が高まり、ビンゴの大合唱とともにつぎつぎと隊員に賞品が手渡されていった。

このような熱気に満ちあふれた雰囲気なかで、「ファルコン」の友人はだしの演奏で出席者全員が「この世を花にするために」を声高々に合唱。会場内の盛り上がりは最高潮に達した。

最後に木村政次副理事長の万歳三唱で盛會裡に無事幕を閉じた。

今月のテーマ 寅年隊員の 今年の抱負



警視庁第一機動隊
遠藤 元喜

寒さが益々厳しくなる中、いよいよ新しい年を迎えました。また、私は今年、年男でもあります。私は、第一機動隊に着隊してから約一年が過ぎ、仕事も覚え始め職場の雰囲気にも慣れましたが、昨年以上に気を引き締め何事にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

本年も、たくさんの抱負がありますが、まず次に述べる二点に全力を注いでいこうと思います。

一 早々に長野オリンピックへの特別派遣があります。この警備を確実に完遂できるように健康管理を徹底し、与えられた任務に全力投球して行きます。「長野特別派遣警備を完遂できるか否か」が今年の一年が決まる」との信念を持ち、あらゆる困難をも克服する決意です。

二 私は現在レスキュー小隊に所属していますが、怪我をしてしまい、未だレスキューの資格を取得しておりません。着隊する時に持っていたレスキューに対する情熱がやや薄れかけていた時、再び「情熱」に火を灯す出来事があったのです。

それは、十一月に四機で行われた各隊対抗のレスキュー競技大会です。当日週休でしたので、先輩の応援に行きました。その日は雨で選手にとっては最悪の条件であったにもかかわらず、どの選手もびしょ濡れになりながらも、まるで晴天の下で競技を行っている様に活き活きとした表情でした。そんな先輩の節度ある動作を目のあたりにし、自分の未熟さを反省するとともに、レスキューに対する燃えるような情熱が再び込み上げてきたのです。今後は、過去の自分から脱皮し一

刻も早く資格を取得するとともに、後輩の鏡となるレスキュー隊員になれるよう頑張りたいと思います。

最後に、この二つの目標も強靱な体力がなければ達成することはできません。基礎体力作りをしつかりとして、虎のように強い機動隊員になりたいと思います。



警視庁第二機動隊
黒須 綾子

寅年を迎えるのは、今年で二回目になります。年賀状の絵や置物も虎になり、自分が主役になった気がして少しうれしく思います。

私にとって昨年一年間は目まぐるしく、あつという間に過ぎてしまいました。

四月に第二機動隊に配置換えとなり、交通課勤務の経験しかない私にとっては今までとは全く違う環境の中で、初めての事に対する期待や楽しみよりも不安な事の方が数倍多く、最初の頃は戸惑ってばかりの毎日でした。

現在は広報係、広報担当として勤務していますが、数々の雑踏警備の現場で、まだまだ技術が足りないため失敗の繰り返しです。

今年はずっと訓練を重ね、現場で先輩方の力になれるよう頑張りたいと思います。さらに、婦警機動隊員の集中運用等の現場においても色々な面で女性らしさを生かし、男子隊員の方々に負けないよう努力したいと思っています。

機動隊在隊期間は三年、ああすればよかったなどと後悔せず、機動隊に来て良かったと思えるよう、そして昨年よりも一層機動隊員らしくなるように、今年も虎のように積極果敢に頑張りたいと思います。



警視庁第三機動隊
有馬 正志

昨年、第三機動隊に配置換えとなり、機動隊という「別世界」に足を踏み入れ

日々鍛え、磨かれながら仕事にも慣れてきたところです。

その中で、李鵬中華人民共和国國務院総理夫妻来日警備に従事して貴重な体験を得ることができました。

そして警備の必要性、任務の重要性を肌で感じ、重要警備を完遂できたことは大きな満足感と感激で一杯でした。この経験は、私自身機動隊員としての誇りとともに大きな自信となっています。

本年は、年男であり仕事も私生活もより充実した年とするために、上司、先輩のご指導を頂きながら切磋琢磨していきたいと思っています。

そして、二月に行われる長野オリンピック警備に向けて、自分の任務を確実に（こな）し、自信を持って警備に従事できる実力を備えたいと思います。

また、今年は私にとって先輩隊員になるという大きな試験が待ち受けています。後輩隊員が入隊すると当然ながら指導する立場として、他の隊員の模範となる行動が求められるのでさらなる自己啓発に努めたいと思います。

年頭の目標として、自ら置かれた立場を自覚し責務を全うすること。自ら進んで行動すること。何事も迅速且つ的確に対処することに心掛け、そしてあらゆる出動に向けて、常日頃から反復訓練を重ね警備技術の向上と気力・体力の充実に努めたいと思います。

本年も一日一日を大切に、活気溢れる年にするために機動隊員としての誇りと使命感を堅持して大いに奮起する覚悟です。



警視庁第四機動隊
清野 和弘

新年を迎え、昨年の反省を踏まえ今年の抱負を述べたいと思います。

昨年は、フジモリペルー共和国大統領一行来日警備、天皇皇后両陛下行幸啓に伴う岩手県下警備警備等に従事することができ、初めての体験が多く不安だった

反面大変充実した一年でした。

私は今年で着隊三年目を迎え、隊長伝令として二年目、そして年男でもあるこの「節目の年」に自分を見つめ直してみたいと思います。今までの私は、余暇を有効に活用することができず、色々な面で中途半端で時間を無駄に使い、何気なく毎日が過ぎていってしまいました。

そこで今年目標を一つに絞り、心機一転頑張ると決意しました。その目標とは、巡査部長昇任試験合格であります。

試験まで半年足らず、一分一秒でも無駄にする事なく、妥協しようとする自分自身を対戦相手とし、この試合に勝ちたいと思います。

我が第四機動隊のニックネーム「鬼の四機」の名に恥じることはないよう、自分自身を「行きつまれ打ち破れ」、そして行きつまれ打ち破れ」の精神で叱咤激励し全力で立ち向かっていこうと思っています。



警視庁第五機動隊
内山 正樹

警察官を拝命して、間もなく六年の月日が流れようとしています。今年は寅年、年男ということで、昨年に増して実りある充実した一年を過ごしたいと思っています。

さて、昨年は振り返ってみると、三つの努力目標をたて、少しでも実現できるように努力したつもりでしたが、すべての面で中途半端で終わってしまい、一つの目標しか達成出来ず、悔いの残る一年でした。目標を達成出来なかったのは、自分に甘かったことが一番の敗因だったと思います。

今年はその失敗を踏まえ、「己に勝つ」ということを目標に頑張っていきたいと思っています。

「己に勝つ」とは、仕事、勉学、術科訓練等、すべての面に対し、中途半端な気持ちで取り組まず、決してあきらめず、一日一日何をやっていったら良いのかを考えな

がら行動に移すことです。

この目標を実現するには、辛抱強く、そして粘り強く、こつこつと努力を重ねること。そして、終始一貫、失敗を恐れない「チャレンジ精神」で臨み、「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」の言葉を心に刻み、目の苦しき辛さを乗り越えることが大切だと思います。「試験の山」に積極果敢にアタックし、来年になって、「昨年」は充実した一年だった」と思える年にしたいと思っています。



警視庁第六機動隊 岩下 郁生

今回で二度目の寅年を迎える。寅年と聞き私が思い浮かべることは、勇猛で逞しいという事である。

私自身はと考えると、マイペースであまりにも周囲を気にせず、上司、先輩、後輩等に迷惑をかけてばかりだったと思う。今年は奮起の年としたい。

私は、機動隊に着隊して二年目を迎え、後輩もでき、中堅となり、心にも多少のゆとりが持てるようになり、心身共に充実の時期を迎えていると実感する。今年一年、虎のように逞しくなれるよう、一つ一つの取り扱いを丁寧に適正にこなし、後輩や上司、同僚から信頼を得ると同時に、目前まで迫っている昇任試験に力を注ぎ、一日一日を大切に、さらなる飛躍の年としたい。



警視庁第七機動隊 小林 広和

新年あけましておめでとうございます。本年は「寅年」、年男である今年こそ、自分自身に何か思い出に残るようなことをやり遂げたいと思っています。

第一に巡査部長試験に合格することです。このことは、私が機動隊に来た一番の目的であり、同時に「合格」を楽しみにしてくれている両親への、親孝行のひ

とつとして頑張りたいと思っています。

第二に体力の向上です。「機動隊は強くなてはならない」という隊長のお言葉に加え、最近少々太り気味ではないかという思いから最低でも週に一度は思いきり運動をしようと思っています。具体的には自宅近くにある公園のマラソンコースを走り、汗を流すことを考えています。しかし一人となるとなかなか長続きしないものです。そこで、妻をこの計画に引き入れ、二人で誘いあい、楽しみながら実践していきたいと思っています。

第三に興味を見つけてことです。私の周りには実に多様な趣味を持っている人が多く、充実した非番・週休を過ごしています。現在、私には特に趣味というものがなくて、自分自身を高めることができ充実した時を過ごせる。そんな趣味をぜひ見つけてみたいと思っています。

以上、今年の目標である三本柱をあげてみました。一本も崩れる事のないよう今年も明るく楽しく元氣よくを胸に秘め、「一年」「二日」「二時間」を大切に過ごしていきたいと思います。



警視庁第八機動隊 名古屋 勉

今年の私は社会人として迎える初めての年男です。私は毎年、新年を迎えるとき必ず、「今年こそは」といふつかの目標を立てるのですが、そのほとんどが計画倒れに終わってしまっています。しかし、今年は「年男」の名に掛けて「初心貫徹」することを決意しました。そして有言実行すべく私の今年の三つの目標をここで公言したいと思っています。

その一つは、柔道の三段取得です。私は体力には多少自信があり、今までの人生において頭よりも体を使って生きてきた私にとって、柔道三段は喉から手が出る程欲しいものです。昨年も稽古を積んで自信をつけてから昇段試験に臨んだのですが、本番では極度の緊張で体が動かなくなってしまう、惜

しくも昇段の機会を逃してしまいました。今年こそは日々稽古を重ね、いかなる場合でも自分の力を十二分に発揮できる実力を身につける決意です。

二つ目は、夜間大学の単位の完全取得です。私は現在、国士館大学の一年生として勤務の合間を利用して勉学に励んでいます。非番・週休あるいは勤務終了後に通学することは決して楽ではありませんが、自分で選んだ道です。高い月謝と貴重な時間を費やすことを肝に銘じ、授業で学ぶことは全て吸収し、自分の人生にプラスになる何かを掴み取りたいと思っています。

最後は、私が高校時代から趣味として、また自分自身の修業として続けている空手の昇級です。私がなぜ空手を続けているかという点、警察官は強くなければならない」という自分の信念からです。自分自身が強くなつてはじめて、仕事にも自信が付き、自分よりも体の大きな相手にも堂々と職務質問ができるようになると思うのです。

今は不透明な時代と言われていますが、警察官の治安を守るという仕事は何も変わらないと思います。私はこれらの三つの目標を貫徹し、都民の期待に応えられるような「文武両道」の立派な警察官になりたいと思っています。



警視庁第九機動隊 堀 浩之

誰しも永年、自分という人間と付き合い合っていると、おおよそ性格・癖は充分に分かっているところと思う。私も三十五年間自分という人間と付き合い合っている、マイペースでスロー型、その上自分には甘いといった性格を嫌というほど思い知らされ、何度となく誓った禁煙が守られないまま毎日「禁煙」「禁煙」と言っている。僅かに本数が減ったことを喜んでる。

自分に甘いと思う人は、努力目標を立てるといった時、新年や自分の誕生日といった「機会」に「心新たに」といった工夫が必要と思う。幸い、年の暮になつ

て私に待望の長男が誕生した事で、子供の健康を考え禁煙の思いは強くなった。

家内も妻から母親となり、女の偉大さを見せ付けられた。私も「何か一つ父親らしい事を」と頭をひねってみたものの、良い家が浮かばないのと所詮、母親である妻を越えようとした事に無理があると気が付き、当面はとりあえず「禁煙」の実行と昨年中途半端となつてしまつた通勤途中を利用する「ジョギング」を行うこととした。

今まで「継続」には才能が必要と勝手に思い込み、逃げていたところがあったので、本年は「継続」という「力」を付けることを年男の抱負としたい。



警視庁特科車両隊 塗木 隆一

今年は、三度目の年男を機動隊で迎える。振り返ってみると、十二年前も機動隊で年男を迎えていたのである。その時は、昇任試験の合格を目標にしていたことが思い出される。偶然にも、今回も機動隊で年男として過ごすこととなるが、前回にも増して、向上心を持って仕事に取り組みたいと思っている。

私は、昨年九月に、一年間の成田出向から帰隊し、現在、庶務主任として勤務しているが、これまでの仕事を一つ一つ反省してみると、目の前の仕事を処理することに追われ、自分自身の目標や啓発を見失っていた気がする。

今年は、仕事をする際、各業務について、計画、実施そして反省を忘れず、これが最善の方法かどうかを確認しつつ、一つ一つのことにベストを尽くしていきたいと思います。

虎は、「二日千里を行き、千里を帰る。」と言われる。普段はのんびりとしているかのようであるが、いざとなると素早い決断と行動力を発揮する動物である。落ちつきのあるその風格、的確な決断と行動力。寅年の男として、一つでも身に付けたものである。

努力と実績	信頼の機動隊	東 鋼 業 (株)	大野興業 (株)	(学) 嘉悦学園	高周波熱錬 (株)	杉 尾 榮 俊	大 洋 製 鋼 (株)	(株) 上野百貨店	大 東 港 運 (株)	浅 田 隆 司	竹 之 上 誠 剛	西 戸 榮 一	橋 山 和 正	中 京 製 線 (株)	東海鋼材工業 (株)	大洋シャーリング (株)	堀 口 海 運 (株)	早 達 運 送 (株)	新 潟 鋼 機 (株)	不動鋼板工業 (株)	東 北 支 部 (機動隊員等を励ます会)
-------	--------	-----------	----------	----------	-----------	---------	-------------	-----------	-------------	---------	-----------	---------	---------	-------------	------------	--------------	-------------	-------------	-------------	------------	----------------------

読者の広場



熱海警察官友の会



橋山 和生
(理事・大阪支部)

ご縁があつて熱海市の「警察官友の会」の会員に加えていただいた。

初めての会合、初鳥の見える会場に座ったメンバーは約二十名。

広く名前の知られた旅館や銘菓会社の社長、氣功の達人、医師会会長等さすが新旧共存の町熱海を思わせる多士済々。

これをまとめる会長は前「熱海青果」の社長。小唄の「江戸さして」に「味は紀州よ、名は紀文、男は度胸じゃないかいな」とのくだりがあるが正にそれを地で行く方である。一度会つてお話をすると筋の通った考え方、竹を割った性格に誰しもハッとさせられる。会合は十二時の「ピンポンパーン」の時報と共に始まり一時キツカリに終わる。だから次の予定列車には必ず乗れる。

そして又、署長が面白い人。警察官なので硬い面もあるがとっても酒脱。自分の警察官人生も残り少ない。だから最近では部下に言いたい放題でいると言われる。

「とにかく働いて働いてこそ、その先の真実が見える。頑張れ」と。そしてニコリと笑つていう。「少しキザですか」

多士済々・百花繚乱の人生を束ね和ませ

米大リーグ雑感



落合 國雄
(理事・東京本部)

るものは理論ではなく人柄。それも、えも言えぬ何か、えも言えない何物かと感じさせてくれるお二人である。

昨年一九九七年のワールド・シリーズは、久方ぶりに登場のクリーブランド・インディアンスと新顔のプロリダ・マリリンズとの間で戦われ、マリリンズが四勝三敗でインディアンスを下し、初のワールドチャンピオン座をついた。球団創設後僅か五年の快挙であり、大きな話題となった。

この試合は衛星中継で放映され、そのうちクリーブランドからの中継では画面に雪の花がちらほら舞い、雪の中のワールド・シリーズは史上初めての「おまけ」までついた。

野茂の活躍のおかげでワールド・シリーズのみならず、一般のペナントレースも衛星中継されるようになったのは、オールドファンの一人として楽しみが増え、同時に往時を回想するよすがとなっている。

今から四十年ほど前の事になるが、ニューヨーク駐在員の生活を送っていた私が何より嬉しかったことの一つは、本場の野球が観られることであつた。暇を見つけては、ニューヨーク・ヤンキースの本場ヤンキー・スタジアム、ジャイアンツのボロ・グラウンド、そしてドジャースのエベッツ・フィールドに足を運んだものだ。

一九五〇年代は米国の野球の最盛期であり、著名な選手を輩出した。ジョー・ディマジオ、ウィリー・メイズ、ミッキー・マントルそしてロジャー・マリスなどの強打者は枚挙に暇が無い。ロジャー・マリスは往年のベーブ・ルースのホームランの記録六〇本を越す六十一本を初めて打った打者としてその名を残している。

一九四九年から一九五八年までの十年

間は上記ニューヨークの三チームが必ずワールド・シリーズに登場し、かつその内六年間は三チームの間のみで戦われたものだ。そのため、ワールド・シリーズの行われる十月は、ニューヨークの街角のどこでも歓声が聞かれたものである。特にニューヨーク・ヤンキースは一九四九年から六〇年代までの十数年の間にベナント獲得十四回、ワールドチャンピオン九回に及んだ無敵ぶりであつた。

スにタイトルを奪回された。その後時代が変わり、ヤンキースは往年の無敵ぶりから凋落し、一昨年一九九六年アトランタ・ブレーブスを破り、ワールドチャンピオンに返り咲いたのは十八年ぶりであつた。そして、昨年は鳴り物入りで伊良部などを補強したが効果なく、王座から転落したのはご承知の通りである。

米国の野球の人氣は、昨今はアメリカン・フットボールに抜かれ、またバスケットボールにも抜かれかねないとの事である。一九九四年のストライキがこの風潮に拍車をかけたといわれるが、オールドファンの一人として寂しいことである。

当会からの贈りもの 全国優秀隊員海外視察旅行へ

さる一月十四日、警察庁において、平成十年優秀機動隊員「海外事情視察旅行」の目録贈呈式が行われました。

これは、国際的な活動が増加している昨今から、全国の優秀機動隊員に対し外国人も信頼され、国際事情にも明るい警察官になつていただくために平成四年より行われているものです。毎年意義ある研修旅行であるとの好評をいただいていることから本年も当会からハワイへの視察旅行に招待する運びとなりました。

当日は、全国各地から集まった八十名の精鋭たちに対し、佐々木理事長より目録が手渡されました。そして、理事長挨拶を受け、全国優秀隊員を代表し警視庁第一機動隊押尾透彦部長より「この視察旅行を良い機会としてさらに精励していく」との嬉しい感謝の辞が述べられました。

一行は、一月二十一日に出発し、同月二十七日に帰国します。その様子は来月号に掲載する予定です。



隊員から隊員への手紙 先輩隊員へ



九州管区機動隊
上窪 誠吾

九州管区機動隊に配属となつて以来、厳しい訓練が続き、ヘトヘトになるまで走り、厳しく指導される毎日です。そんな訓練の中で「自分の目指す警察の仕事が、こんなものだったのだろうか」と悩んでいた時の先輩の言葉が今でも忘れられません。「機動隊の仕事は苦しいかもしれないが、市民を守る重要な仕事であり、治安を守る最後の砦として決して我々は負けるわけにはいかない」と教えてもらい、今まで自分がもつていた機動隊への間違つた考えが大きく変わりました。

私は今、自分の仕事に誇りを持っていきます。先輩から教えていただいた機動隊の重要な役割と、厳しい訓練の大切さを認識して、訓練で苦しいとき、自分に負けて頑張っています。まだ体力も技術も先輩の足元にも及びませんが、少しでも近付けるように精一杯努力し、そして日本の治安を守る機動隊員の一員として胸を張って任務に当たり、さらに厳しい訓練にも耐えていこうと考えています。

お知らせ

◎二月二十五日(水)午後五時三十分より、名古屋市中区東桜「メルパルク名古屋」において名古屋支部総会を開催致します。

◎四月十四日(火)午後六時より、九州支部総会を開催致します。

(会場未定)

◎六月十一日(木)午後五時より、港区元赤坂「明治記念館」において通常総会を開催致します。

皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

今月の言葉

平成十年は混乱の中に新年を迎えた。大型の金融機関の実質的な倒産は、一時的に日本経済をミミ二恐慌的な状況に追い込んだといつても過言ではあるまい。政府も事の重大さに驚いて、慌てて金融システムの安定のための対策を打ち出し、歯切れは悪いが、景気回復が最優先の課題であることを認めたようである。

今日、この原稿を書いている一月十七日の朝刊は、円が一時百二十八円台に上昇し、株価も七百円上がつて、一万六千円台を回復したことを報じている。どうやら一時的には小康を保ちえたようである。しかし、まだ安心はできない。預金者保全の問題の外に銀行には信用供与の、より重要な役割がある。貸し渋り現象が拡がっているように思えるからである。金が廻らなくなれば経済は窒息する。

橋本内閣が大胆に二つの構造改

武道魂ほとばしる

警視庁武道始式開催

一月二十日、警視庁武道館において、「平成十年警備部武道始式」が行われた。警視庁の十個隊が柔道・剣道それぞれの競技で勝敗を競い、毎年数多くの名勝負が繰り広げられている伝統行事である。

最高得点をとった一個隊のみが決勝リーグへと進み、午後に入りいよいよ決勝リーグに競技は移った。技と技、力と力、そして魂と魂がぶつかり合う接戦の連続に会場内は熱気に満ち溢れた。大将同士の一騎討ちに場内の興奮は最高潮に達し、全員の目が競技場の一点に集中した。そしてついに今

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円（送料共）
（但し会費の中には購読料を含む）

豊かさの中で

革を提言した。中でも、大幅な行財政改革の構想を打ち出したことは、この政権の前進の姿勢を示すものとして評価していいのかもしれない。もともと私自身は、こういう観念が先行しすぎるアプローチは賛成できないが、気持ちとしては肯けるものがある。

私の尊敬する新日本製鐵(株)の武田相談役には、永い間上司としてお仕えしていたが、折

年栄えある優勝を手にしたのは剣道、柔道ともに第六機動隊であった。

の場や来年の武道始式に向けたそれぞれの課題を胸に秘め更に精進されることだろう。



れ、まず前田警視総監より「日頃の訓練の成果が発揮され熱戦が繰り広げられた。本年は警視庁機動隊創設五十周年の記念すべき年であると共に、一月の長野派遣と重要な年であり、今日の武道を警備に活かし、機動隊の力を大いに発揮しさらに前進してほしい。」と述べられた。ついで、当



つたの思いもある。神戸の少年による残忍な殺人、平気で人を傷つける凶悪な犯罪の頻発、パチンコに夢中になって子どもを死に至らしめる母親、そして、経済界でも、毎日のように報じられる破産倒産不正事件の横行など、貧しかったけれど規律のある日本の社会はどうなってしまったのであろうか。豊かさの陰で、何故こんな心の荒廃が深く進行してしまった

日本人の倫理の再構築が重要な政策課題として取り上げていかなければならないのではなからうか。古い言い方かも知れないが、その第一歩は小さい時からの躰の教育ではないだろうか。学校は躰教育を家庭の問題として自らの責任を放棄してしまつた。家庭でもやらなければならないし、学校でもやる必要がある。躰は形だけの問題ではないかという人もいる。しかし、礼は形から入ることの重要さを説いている。剣道でも柔道でも、日本



か。着る物がなくて寒さに震えているのであろうか。広くはないが暖房のある部屋で、テレビを楽しんでいるのではないだろうか。人々は豊かさに恵まれているのである。

今から五十年余り前、戦中、戦後の苦しい生活を実感として経験している私達世代の者にとっては、ある意味では夢と思われていた生活が、今ここにある。

新しい日本の枠組みを建設するためには、

（理事長 佐々木 喜朗）

＜今月のテーマ＞

優秀隊員
ハワイ視察記



警視庁第二機動隊
石井 修輝

私が参加したハワイ研修の滞在先は、オアフ島ホノルル国際空港からバスで約二十五分の所にあるワイキキで、人口の約八〇％が観光客と治安も良く、日本語の通じる飲食店もあり観光のしやすい街でした。しかしハワイといってもここはアメリカ、地元の警察官でも立入りたくはないというダウンタウンもあり、観光客を狙った、ひったくりや置き引き等の犯罪が増えているそうです。

季節は雨季で、雨の降りやすい時期だったのですが、滞在中は全て快晴と天候に大変恵まれました。初日はホノルル市内観光を、中三日間は自由行動でオプショナルツアーに参加する人もいましたが、私はワイキキビーチで日光浴をし、夕方はポート部員としての体力維持のためワイキキの街を走る等、毎日を満喫しました。

また夜の街へも同僚と共に、食事と買物を兼ねて出掛けましたが、ホノルル警察の厳正なパトロールと、ボランティアによるパトロール隊の活動状況を見ることで、地元住民の平和な街づくりの意志と願いが伝わってきて、地元住民と密着した警察活動の重要性を感じました。最後になりますが、研修中各県の機動隊員との交流や、ハワイでの貴重な体験をし、鋭気を養うことができ、本研修に携わった関係者の皆様に感謝申し上げるとともに、これを契機にまた治安維持に全力で頑張りたいと思います。



北海道警察機動隊
相崎 昭義

私にとって海外旅行は初めての経験であり、不安な思いにつつまれながら成田空港を飛び立ちましたが、眩しいばかりの太陽と澄みきった青い空、そして北海道では出会うことのできないマリングルの海を目の当たりにし、いっしょに不安は大きな期待に変わっていました。

ハワイでの四日間、昼はワイキキビーチで波と戯れ、ショッピングセンターで買い物を楽しみ、夜は他府県の機動隊員と朝まで話をかわし、時間は瞬く間に過ぎていきました。

その中でも、ワイキキのポリスステーションを見学できたことは、貴重な体験でした。私が突然、同ったにもかかわらず、現地の警察官は快く歓迎し施設内の見学や犯罪発生状況の説明を始め各種資料を提供していただき、その親切な対応に感激すると同時に、見習うべき姿勢であると実感することができました。

最後にこのような貴重な体験ができたことは、上司、同僚の支援があったからこそであり、今回の受賞は北海道警察機動隊全隊員の活躍に対するものであると受けとめ、今後もこの賞に恥じないよう誠心誠意職務に励んでいきたいと思っています。



ワイキキのポリスステーションにて



秋田県警察機動隊
石川 幸一

寒風吹きすさぶ真冬の秋田から地吹雪に見送られ、さわやかな風、青い空、そして燃えるような熱い太陽の出迎えを受け、異国の地へと降り立った。

当初、気候のギャップに戸惑いを感じながらも、林立する椰子の木々、咲き乱れる原色の花々等思い描いていた景色が次々と目に飛び込み、「常夏の島ハワイ」を実感するのに時間はかかりませんでした。滞在中は、ゆったりとした気分での太陽の光を全身に浴びながらビーチでの日光浴、美しい風景の中での散策、各種ツアー、分厚いステーキ、ショッピング等を満喫する事ができました。

またアメリカ人の国民性や習慣の違いに関しては、気軽に写真撮影に応じられる警官、地図を広げて困っていると親身になって声をかけてくれる現地の人、大袈裟に笑う現地ツアースタッフの姿におおらかで優しく、明るい国民性を感じ、ビーチでの禁酒禁煙、レディーファースト、チップの習慣等、日本での生活では考えられない習慣の違いを直接肌で感じる事ができ大変良い経験になりました。

今後、更に国際化が進む日本では、外国人と接する機会も一層増えると思われ、事から国ごとの文化風習を考えた接し方が必要であると痛感させられました。おわりにこのような機会を与えて下さった機動隊員等を励ます会の皆様をはじめ、上司、先輩、同僚そして行動を共にした隊員に深く感謝するとともに、この貴重な体験を、今後の仕事に活かすよう努力していきたいと思っています。



千葉県警察機動隊
伊藤 修章

私がこの度の研修旅行中を通じて体験した

中で一番印象に残った事は、地元の警察官との夜間パトロール同乗体験である。

私の相勤者は、ポール・レイニス・マサー巡査部長三十四歳、身長は一八〇センチを超え、恰幅ある、いかにもアメリカカポリスといった風貌で勤続十年目の地域警察官である。パトロールは基本的に警察官一人で行い、発生した事案内容によりチームを結成し対処することである。

私は彼の運転する車両の助手席に同乗し、ビジネスの中心地であるダウンタウン、麻薬売買、殺人の多い低所得者居住の危険地帯、また高級リゾート地等、広範囲なパトロールに便乗することが出来た。途中、駐車場で強盗事件発生との連絡を受け、私が乗車しているにも関わらず、サイレンを吹鳴し、現場急行した時は宛ら映画のワンシーンの中にいるような錯覚を覚え、またこれがホノルルの現実であると思ひ知らされ、私のドライブ気分は一気に覚めてしまった。

生憎犯人は逃走、検挙に至らなかったが、私は彼に対し「凶悪事件等に直面し、恐怖感に襲われた事はないのか。」と質問したところ、彼は、「私や彼方全ての警察官がそうであると信じているが、この仕事に誇り、責任、プライドを持っている。一度たりとも恐怖を感じたことはないし勿論これからはそうだろう。」と胸を張って答えた彼の姿に共感を覚えると共に、私自身も今以上に強い信念を持ち、県民の期待に応えられるよう、職務に邁進してゆく決意を新たにしました。



愛知県警察機動隊
斎藤 誠

平成十年全国優秀機動隊員として名誉ある賞をいただき、また機動隊員等を励ます会より副賞としてハワイ研修の機会を与えられましたことを厚くお礼申し上げます。これも、上司、先輩、同僚等のご支援と感謝いたしております。

さて、私にとりまして「ハワイ」は二度目で、五年前新婚旅行で訪れたところであ

り、青い空、青い海、白い砂浜を見ると新婚旅行を思い出し感激しました。仕事のことを忘れ、このハワイの地で有意義な旅行ができ心身ともにリフレッシュしました。滞在中は、他府県の機動隊員との交流もでき、各県機動隊等の現況や制度、訓練方法等学ぶべきところも多く、語らいにも熱が入り楽しい時間を過ごすことができました。



パールハーバーにて

ハワイは、日本人の観光客が多いので日本語が判るだろうと話しかけると全く言葉が通じず困ったことや、意を決して苦手な英語で話をするなど今度は、相手が困った顔をして日本語で応えてくれたりと色々なことがありました。

最後に、この旅行で行動を共にした隊員の皆さんに感謝すると共に友情を大切に、「この賞に恥じないよう自己研鑽に励み、機動隊員として治安の維持に努めていきたいと思っています。ありがとうございます。」



大阪府警察機動隊
森田 貴行

第一機動隊に赴任し、早四年がたとうとしている今日、この四年間を振り返ってみると、私自身、機動隊員として自覚を持ち、常に前向きでひたすら目標に向かって全力で取り組んで来たように思います。

私が幼少の頃以来、母から言い聞かされている言葉があります。「苦しいこと、辛いことを逃げずに頑張っていれば、いつか報われる時が来るから。」その言葉に反することなく一生懸命頑張った成果が全国

優秀機動隊員賞の受賞につながったのではないかと喜びを胸に感じています。



この研修では、全国の機動隊員と交流することができ、意気投合した者たちでスキューバダイビングをする機会がありました。日頃、訓練、水難救助等で潜る海とは異なり、未知の世界を駆け巡ったような感じがします。空同様青い海、それはそれは言葉では言い表せない驚きばかり、自然の偉大さを、自分自身の肌で痛感できた貴重な体験ができました。

この素晴らしい体験を通じ、全国の機動隊の同僚との交流が深まり、治安維持の最後の砦である機動隊員として、強い団結心で結ばれることができました。また他府県の同僚と接する中で、機動隊員として教えられることも多々ありました。今後機動隊として努力精進を重ね、共に団結し治安を守っていききたいと思っています。



岡山県警察機動隊 右近 裕一

この度、私は「全国優秀機動隊員」という名誉ある賞を賜うことができましたのも、一偏に上司、先輩、同僚等の方々のご支援の賜と心より感謝致しております。

ハワイ滞在中は、親しくなった他府県の隊員と各種ツアーやショッピング、食事等に出かけ異国情緒を満喫して充実した日々を送ることができました。とりわけ有意義であったことは、海外事情の一端を垣間見ることができ、来るべき国際社会に対する認識を得ることができたこと

と、他府県の隊員と交流を持つことにより、他府県の機動隊の運営内容、訓練方法等について学ぶことができたこと等視野を広めることができたことです。

本研修は、私にとって一生忘れることのできない素晴らしい経験となりました。このような貴重な体験を与えていただいた「機動隊員等を励ます会」の方々に深く感謝するとともに、これからも国民の期待に応えることができるよう、この経験を私の警察人生に活かし、日々努力していききたいと思っています。



長崎県警察機動隊 梅野 勝也

この度、「全国優秀機動隊員」という栄誉ある賞をいただいたことは機動隊員として身に余る光栄であり、私を推薦してくださった上司及び関係者全ての皆様に深く感謝致します。また、「機動隊員等を励ます会」様からはハワイ研修に招待していただき、大変貴重な体験をさせていただいたと深く感謝いたしております。

さて、ハワイ研修で最も印象的であったのは、日本人と韓国人の多さであった。土産品店の店員はほとんど韓国人で、しかも日本語がペラペラ、そこに日本人観光客が買物にくる。何でハワイで？と不思議な光景であった。しかし、その中で学んだことがあった。というのは、ある韓国人店員に「日本語上手ですね」と話しかけたところ、その店員は「日本語ができないと商売にならない、だから日本語勉強しました」と語った。皆仕事のために勉強し、生き残るために一生懸命なのである。当然といえは当然のことなのであるが、果して自分はどうなのだろうか、時間が経つほどに強く感じてきている、まだまだ余力があるのではないかと。

私の警察人生はまだまだ始まったばかり。この海外研修で感じたこと及び「優秀機動隊員」としての誇りを胸に、機動隊員の名に恥じぬよう、何事にも努力を怠らず、常に「一生懸命」でありたいと思う。

機動隊ホームページへようこそ

今回より、各県機動隊の様子をお伝えしていきます。

長崎県警察機動隊

北海道に次ぐ長い海岸線と多くの島嶼を有する風光明媚な長崎県の治安を守る我が隊は、これまで

○原子力空母エンタープライズや原子力潜水艦をはじめとした米艦船等の入港に伴う幾多の治安警備

○多数の死傷者を出した七・二三長崎大水害や雲仙普賢岳噴火に伴う災害警備

○八月九日の原爆被爆者慰霊平和祈念式典警護警備

○恒例の精霊流しや長崎くんちの雑踏警備等多種多様の警備実施を経験しています。これに加え近年では、集団密航事件に伴う出動や水難救助部隊の出動等で機動隊の真価を発揮するなど機動隊の存在意義を内外に大いにアピールしているところです。

また、その一方で、人材の育成にも力を注いでいます。すなわち、朝礼時の隊員による五分間講話や部内外の講師を招いての講話、書道教室等の人づくりの

警視庁第一機動隊

一 誕生と生い立ち

第一機動隊の歴史は、昭和八年十月一日に発足した「特別警備隊」に遡る。その後、凶悪犯罪を防止するため第一線警備力の強化を狙いとした機能改革が行われ、昭和二十三年、機動隊の前身である予備隊が編成された。その後数度の変遷を経て、昭和三十二年、名称変更により第一予備隊は「第一機動隊」と改称され現在に至っている。

二 隊舎のあらまし

昭和八年の発足時には警視庁本部中庭と各署に分散待機していた。昭和九年本部中庭に新隊舎が完成し使用され、昭和三十一年旧近衛連隊庁舎に移転した。昭和三十九年東京オリンピック開催に伴う関連事業の一環として、現在の千代田区北の丸公園に鉄筋コンクリート四階建て隊舎と清明寮の建設に着手し、昭和四十年竣工した。この隊舎は交通至便の地にあり、隊舎を取り巻く北の丸公園、皇居

ための情操教育を実施しています。

その他、隊員の融和団結を目的に、定期的な小隊対抗球技大会、駅伝大会、年末の餅つき大会、武道演武大会等も開催しています。また、長崎の夏の伝統行事であるペーロン大会には、当隊員が地元チームの一員として毎年参加し好成績を収めるなど、地域社会との交流も深めています。このように、当隊では訓練以外の活動でも活気あふれる人づくりの部隊を目指しております。



の森など、「都」屈指の景観が四季を通じて隊員に深い安らぎを与えている。

三 シンボルマーク

シンボルマークは、警視庁創立百周年を記念して隊員から募集し、第一機動隊の「二」、機動隊の「機」、そして十個隊を表す十枚の翼を組み合わせて「鷗」とし、逞しい足は悪に対する不動の姿勢を意味している。隊訓は「誠実」「融和」「忍耐」で全隊員は、いかなる困難にも負けず、日夜一致協力して職務に精進している。



誇りと伝統
栄光の機動隊

東 北 支 部	北 越 メ タ ル (株)	中 條 鋼 材 (株)	南 部 建 材 工 業 (株)	太 陽 シ ャ ー リ ン グ (株)	丸 定 産 業 (株)	日 鐵 物 流 (株)	岡 谷 鋼 機 (株)	明 鋼 材 (株)	谷 本 鐵 鋼 (株)	国 見 山 (株)	高 島 浩 一	黒 田 一	木 村 政 次	村 山 鋼 材 (株)	ツ ツ ミ 金 属 (株)	(株) 日 鐵 流 通 セ ン タ ー	(株) 三 榮 商 會	高 周 波 熱 錬 (株)	栗 田 工 業 (株)	岡 部 (株)	(株) エ ー ス 電 研
---------	---------------	-------------	-----------------	---------------------	-------------	-------------	-------------	-----------	-------------	-----------	---------	-------	---------	-------------	---------------	---------------------	-------------	---------------	-------------	---------	---------------

読者の広場



円安円高に

振り回されないこと



西野 公庸
(理事・大阪支部長)

皆さん新聞等ですでにご承知のとおり、対米ドルとアジア各国間との通貨が大変な力で揺り動かされデフォルトになりかねない国には IMF の協力を得て、事なく一応おさまりましたが、他の国の出来事と考えられない一面を強く感じます。

為替と株式は国際資本金融社会では、その国の顔になります。残念ながら日本は世界の中でこの分野の仲間入りをして半世紀が過ぎただけです。先発各国の数百年のノウハウにはとても及ばないのですが、今後世界の中に融合して競争しなければならぬ事になります。本年四月一日より外貨預金の自由化がそれで、企業のみならず個人も経済国際化が本格的に始まる事になり、今、黒船が開国を迫って来た時と同じように、通貨の自由化が始まります。すでに円安円高を利用して、円高の時にドルの外貨預金をして置いて円安時に必要があればそのドルで買物をすればそれなりのメリットがあるわけですね。一九九五年四月十九日米ドルは八〇円三四銭でしたが、一九九八年一月七日には一三四円四五銭になりました。同じ一ドルが円との比較で五四円一銭の差額が出るわけです。

そこで為替に振り回されないためには円高時のドル預金を持つていて円安円高に冷静に対処することが今後の生活の知恵になると考えます。誰かが日本やアジアの諸国を経済困難に陥れ、それで差益をしっかりと儲ける事を考えて実行して行くことが今後好むと好まないに関係なく続くと考えられますので、米ドルを持つて少し頭の体操をすることが今後の生活に必要なことのように考えられます。米ドルのように円が世界のキイカレンシーになるためには今少し時間がかかりますので敢えてこんな事を申し上げる次第です。

私の友人で外国生活をした方は、為替を見ながら自分の必要なものを買うのに円安の時にはドルで支払、円高になれば円で決済している方がいます。円安円高を操っている顔の見えない人に関係なく自分の生活を守ると言ってもらえますが、皆さまも少しトライすることをお勧めします。如何でしょうか。

箱根駅伝に思う

綿川 渉
(理事・東京本部)

好天に恵まれた正月二日・三日、今年も東京箱根間往復関東大学駅伝大会が行われました。二〇kmを懸命に走り抜いた各校の選手たちが、胸に掛けた一本のタスキを次のランナーに引き継いで倒れ込む姿、そしてこれを抱きかかえる控の選手たちの姿には、いつ見ても感動するものがあります。

彼らは、この日のために、一年間多くの仲間と共に、苦しい練習を積み重ねてきたことでしょう。そして、走った選手も出られなかった選手も、この一本のタスキがゴールに運ばれきったとき、責任を果たした満足感に充たされていたことと思います。私がこの駅伝で特に印象的に思ったことは、これまで無名に近かった選手が、四年生になって初めてこの大会に出場し、そして立派にその役割を果たしたことです。

実績のある選手が、それなりの成績をあげたことは当然かとも思われますが、実力の無かった選手、又は潜在的には実力を持ちながらこれを発揮し得なかった選手が、地道に努力を積み重ねて活躍するようになった姿こそ、価値があるように思います。陸上競技に限りますが、監督やコーチにとつて、手塩にかけて育てた選手が期待に応えてくれるようになったとき、この上ない喜びを感じることでしよう。

私たち、実業の社会に生きる者からみても、このように下積みではありながらコツコツと努力し続ける者こそ、会社として必要な人材であると思います。彼らが会社という場所を得てよく努力して育ち、そして次代を担ってくれるようになることは、大変うれしいものです。

お知らせ

◎お詫び

去る一月二十五日付け第二八四号第三面「努力と実績・信頼の機動隊」の欄で、「太陽シャーリング(株)」とすべきところ「太陽シャーリング(株)」と誤って掲載し、太陽シャーリング株式会社様にご迷惑をお掛け申し上げました。心からお詫び申し上げますとともに今後このようなことのないよう、十分注意いたします。

◎記念式典

五月十八日(月)午後三時より東京都日比谷公会堂において開催されます。なお、会場の都合で警視庁から發送される招待者のみの出席となります。

◎観開式

五月三十日(土)午前十時より正午までの間、旧東京国際見本市会場の晴海会場において

警視庁機動隊創設五十周年 記念行事について



今の日本は、私たちが若かった頃と比べて大変豊かになりましたが、人間的には軟弱化したと言われています。しかし、一方において、警察の機動隊員は平素から絶え間無い厳しい訓練を自分自身に課して、強健な肉体と忍耐強い精神力を養っている人たちがいることを思うと、私は、大変頼もしく思います。そして、このように努力している人々たちを、私たちはいつも見守り、支援していきま

機 動 隊 か ら の た よ り

米海兵隊矢臼別演習場での砲撃訓練に伴う警戒警備で任務完遂

北海道警察警備隊

昨年九月十九日から二十八日までの十日間、北海道の矢臼別演習場において米海兵隊の砲撃訓練が行われました。本訓練は、昨年七月の山梨県北富士演習場に引き続き二回目の本土移転訓練で、全国的に注目される警備となり、特に夜間砲撃訓練が初めて行われたほか、過去最大量の弾薬を使用した訓練となったため、演習場周辺では、連日、抗議・集会デモ・監視活動などの反対行動が取り組まれました。

また、警察の警備に対する地域住民の関心も高く、我々部隊員の一手一投足が注目される中、面積約一七〇平方km、外周七五kmという広大な警戒区域を先遣隊の来道から、後発隊の離道までの三十三日間を渡って、昼夜を分かたず警戒に当たりました。

警戒に当たる隊員の一人ひとりが、強い使命感と旺盛な士気の下に一致団結し、全力を傾注した結果、不法事案・違法行為の発生を見ることもなく、無事に米海兵隊矢臼別演習場での砲撃訓練に伴う警戒警備の任務を完遂することが出来ました。

今後、訓練に励み、如何なる困難な警備事案にも臨機応変に対応できる部隊を目指し頑張っていきたいと思っております。



今月の言葉

デザインの世界では情報が泡や粒で現わすことが多い。当を得た表現であると思う。空中に浮遊する塵のように一見規則も法則もなく動きをするものと捉えている。

だから情報の流れ、方向、速度、相互関連をつかもうとすると、人によって意味づけや打つ手が大きく変わっていく。

自然科学の世界では割合に一定の条件を設定し易い。しかし社会科学の分野では簡単にはゆかない。それは情報の内容や動きそのものに心があ

日本全国の警備力、機動力によって 長野オリンピック警備完遂!



平成十年二月七日、長野県において第十八回オリンピック冬季競技大会が幕を開けた。

日本の伝統美を全世界に発信した開会式に始まり、ジャンプやスピードスケート等における日本人選手の大活躍、世界の一流選手が持てる限りの力を発揮した数々の競技等二十三日の閉会式まで、世界の人々が感動し、日本中がオリンピック一色に染まった十六日間だった。

この大会には、天皇皇后両陛下が数次にわたって行幸啓をされたほか、多数の国内外の要人が長野を訪訪



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円（送料共）
（但し会費の中には購読料を含む）

情報というもの

るからだ。情報という浮遊物を通して、その心を掴まない限り真実は判らないことになる。

景気の先行きを予測するとき人によ

ない。ちぐはぐな予測・見通しだから、それによって実施する政策はさっぱり効果をあげない。政策を打ち出すたびに株価は逆の反応ばかりを繰り返している。

ということになる。

理由はひとつ。心がないからだ。情報の深奥を探りあてる心根がないのである。頭脳明晰なスタッフもリーダーも求める心が



産業社会や経済活動の最前線で走り廻り商売を展開する人々でなければ情報の呻きや哀惜の声を聴くことはできないのかも知れない。

己が、会社が、社会が生きていくために眼を見張り、耳を敏く、心を通わせる市井のなかでこそ情報の声をきくことが出来るのである。だから今日も「しか」と情報の声を聴き届けるために、歩きを止めるわけにはゆかない。他人まかせにすることは出来ない。

（理事・東京本部 杉尾 榮俊）



天皇皇后両陛下を迎える人々にぎわう長野駅



会場内の警備にあたる



長野インターチェンジにて交通警備の様子

おまわりさんありがとう

長野オリンピック警備に従事する機動隊員等の警察官に対し、地元の子供達から心温まる声援、激励が多数寄せられた。

警察官の活動を労う内容のもの、警察官の活躍をみて、将来警察官になりたいと希望する内容のものほか、「金メダルはおまわりさん達にあげたいです。」と書かれた思わず微笑んでしまうような内容のものなど、警備に従事する警察官にとっては、何物にも優るうれしいプレゼントとなった。

〈今月のテーマ〉

私の宝物



警視庁第一機動隊
竹花 建二

私は、平成九年四月に着隊し、現在で約八か月になります。特機の経験がなかった私にとって、初めて体験する機動隊生活は、毎日が不安と緊張の連続でした。そんな私にとって何よりも心強かったのは、運命共同体とも言える着隊同期の存在でした。同期と言っても初任科の先輩であつたり、また私が年齢的にも一番年下ということもあり、着隊当初は、打ち解けるのに時間がかかりましたが、今では、どんなことでも話し合い、共に行動出来る堅い絆で結ばれています。機動隊の着隊同期は、卒配とは違い、第一線の勤務を経てからのスタートであるため、知らず知らずのうちに身に付いてしまっている自我が災いして、時折意見の食い違いから、衝突することもあり、お互いが気を遣ったり、悩んだりしたこともありました。しかし私は、敢えて同期のことを親しみを込める意味で「お前」と呼び、無遠慮に接していくうちに、年齢も期別も越えた本当の絆が生まれてきました。機動隊生活の中で自分を支え、助けてくれるのは同期です。これからの長い警察人生の中でも、本当の意味で同期と言える存在は、機動隊の着隊同期が最後なのではないかと思えます。同期は自分で選ぶことができません。だからこそ与えられた一人ひとりの良好な関係を大切に、これからの支えられ、そして支え続けていきたいと思っています。この同期との絆こそ、私の一番の宝物です。



警視庁第二機動隊
井岡 勝

私の宝物、一度の出会いを大切に生涯に残る青春のページを刻むことです。私は全国優秀機動隊員として四泊六日のハワイ研修に参加する機会を得ました。日本では厳しい寒さの中、一月二十二日中隊の皆さんに負い目を感じながらも、常夏の島ハワイに向けて出発しました。今のハワイは雨期と言いつつも日中の日差しは厳しく、太陽からの日差しと地面からの照り返しは時間とともに肌を黒くしてしまいました。

そんな中で、全国からの機動隊員八〇名が集まり、初日のウェルカムディナーパーティーでは各県の活動状況や自慢話に花が咲き、楽しい時間が過ぎました。その中の一人に偶然にも千葉県機の隊員として高校時代の後輩がいたのです。その当時、彼は野球部に、私は柔道部に所属して日々汗を流していた頃の話を話の過ぎるのを忘れ、大きななつかしみを覚えました。現在では、電話や手紙のやり取りをして情報交換をしていますが、研修の機会があったからこそその出会いであり、人生のなかの友情という貴重な財産になったと感じています。

人と人との出会い、そして旧友に対する思い、それは自分自身を大きく成長させていくための要素であると思います。長野冬季オリンピック警備という大きな仕事などの警備完遂に向けて邁進すると同時に、一期一会の出会いを私の宝物とし、また楽しみにしつつ、新たな人生の発見を期待しているところです。



警視庁第三機動隊
岩田 俊哉

「君の宝物は何?」と尋ねられて、真先に頭に浮かぶのが「妻の顔」である。

結婚して早半年が過ぎたが、お互いに仕事をしているため二人だけの時間が意外と少ない。

私は、結婚披露宴で皆の前で「共働きになるので、家事は二人で平等に行います。」との誓いの言葉を忘れずに、週休等で時間のある時は、掃除、洗濯、そして本を見ながら夕食を作ったりする。最初の頃は、苦手であつた料理も、最近は少し慣れて、メニューも増えてきた。そして、夕食を食べながら、その日にあつた出来事を話したり、休日の予定を立てたりする。

自分が少し家事に協力すれば、二人の時間は増えてくる。そして妻が喜んでくれば、また頑張つて夕食を作ろうという気も湧いてくる。それとは逆に、妻が夕食を作つて待っている時など、「ただいま」と玄関を開け妻の顔を見るとその日の仕事の疲れも吹き飛んでしまう。

独身時代にはなかつた暖かさが今はある。私と妻は、お互いに仕事をもち、日々忙しい生活であるので、一時でも話しあう時間を持つるよう努めている。私の宝物は「妻」であり、「二人の時間」である。そして、この宝物を守つていくためこれから更に努力していこうと思う。



警視庁第四機動隊
荒巻 靖和

「私の宝物」それは、決してお金で買ふ事の出来ない「私の娘」です。日に日に成長していく娘の姿を見ていると、親として、この子を守らなくてはならないと強く感じます。

幼かった頃には、宝物というか大事な物が色々ありました。お菓子に付いていたプロ野球選手のカード、文字を消そうとすると逆に汚れてしまうスーパーカー消しゴムなど、今ではがらくたの様に見えるものが、あの頃はとても大切に宝箱に見立てたクッキーの空缶に一杯詰め込んでいた記憶があります。大人になった今では、欲しいものはお

金で買うことが出来ます。しかし、私の娘は、お金で買うことは出来ません。

自分のことだけを考え、気軽に生きてきた今までは違ひ、子供の事になると、熱を出して苦しうにしている姿を見ると心配し、ニュース等で幼児が被害者となる痛ましい事件事故等を知ると、背筋に寒さを感じる思いがするのです。

子供の頃の宝物は、机の引出しにでも入れておけば失うことは無いのですが、今の宝物はそうはいきません。仕事の疲れも寝顔で癒してくれる。そんな娘を父親として限らない愛情を注ぎ大切に育てていきたいと思っています。



警視庁第五機動隊
上遠野 高弘

私の宝物、それは家族です。

平成四年六月に交通事故で父を亡くし、私の家族は、母親と妹二人の四人家族となつてしまつたのです。私は家の中で男一人となり早く一人前にならなければいけないと強い責任感を持つたのです。

父が亡くなったとき、私はすでに警視庁警察官の採用試験に合格しており、家族を安心させるためには、私がこの仕事を一生続けることだと心に誓いました。

平成五年四月に警察学校に入校し、家族と離れ警察官となるための教養を受けました。その間つらいこともありましたが、家族の中で男一人だという気持ちで頑張つてきました。

一年間の学校教養を終了し、卒業配置となつた私は、早く一人前になるよう一生懸命努力しました。そして仕事にも慣れ、取り扱いにも少し自信が出てきたころ機動隊への転動となつたのです。初めての転動で不安でしたが、何事にも一生懸命取り組むことで不安を打ち消してきました。また良き上司、同僚にも恵まれ、あつという間に一年が過ぎようとしていますが、間もなく二年が過ぎようとしていますが、この間私は家族のことを忘れていません。頑張つてきたような気がします。しかし、

今落ちついて考えてみると、家族のためという気持ちの片隅にあつたからこそやつてこられたのかも知れません。私はこの掛け替えのない家族を父の代わりを守る事が私の大きな役割であると思うのです。

私は、自信と誇りが持てるようになってきたこの警察官という仕事を続けることで「私の宝物」である家族を安心させていきたいのです。



警視庁第六機動隊
山本 昭弘

私には、平成九年二月一泊迄は、これといった宝物はありませんでした。しかし、私の宝物は、この日の十四時三十三分、産声と共に私の手の中によつてきました。

腕の中の宝物はあまりにも小さく、そして言いようのないほど可愛い女の子でした。妻が退院するまでの一週間ほどとも長く、私は時間の許すかぎり、その小さくても大きな宝物に会いに行きました。

妻と娘が戻り、新たな三人の生活が始まりました。私は以前から子供が出来たら絶対に川の字で寝ようと思つていました。それが現実となつた今では、嬉しい反面、夜泣きで寝不足気味ですが、愛娘のすやすや眠る顔を見ていると、寝不足も忘れ、つつい見入つて、時間が経つのを忘れてしまいます。

子供の成長は早いもので、一日一日進歩があり、目で見え、笑うようになり、妻と一緒に迎えをしてくれるようになります。私は、その笑顔が待っている暖かい家に早く帰りたいと思うようになりました。休日ともなると私は、この小さな宝物に掛かりきりになり、自分の時間がないほどです。しかし、私はこの小さな宝物にかけける時間を惜しいとは思いません。いくら時間があつても足りないくらいです。たくさん愛情を注ぎ、一緒に学び、これからの成長を見守つていきたいと思っています。「がんばれ!小さな宝物。」



警視庁第七機動隊
駒形 真之

私は今、オセロゲームに熱中しています。このゲームをやったことがあるという人は多いと思いますが、オセロに世界ランキングや国内に段位制度があるというのを知っている人は案外少ないのではないのでしょうか。

実はオセロは、昭和四十八年、日本人によって考案された比較的新しいゲームであり、昭和五十四年からは各国の主要都市において世界選手権まで開催されています。日本は非常にレベルが高く、毎年のように世界大会で優勝しています。

私がオセロを始めたのは高校二年生の時、友人と近くの大会に出場したのがきっかけでした。それからというもの私は、オセロの魅力に取りつかれてしまい、現在は国内に十数人しかいない六段まで昇段、タイトルも王座、棋聖等を獲得し、年間別に集計される世界ランキングでも上位に名を連ねるようになりました。

私の棋風は序盤重視型で「駒形流」とも呼ばれる定石も誕生しました。また東京都オセロ連盟の副委員長にも就任し、大会の運営を任されるようになりました。

オセロは非常に奥の深いゲームであり、これを通じてこれまで多くの人々とめぐりあうことができたし、諸外国のプレイヤーとも交流を深めることができました。今、私にとって「オセロ」は単なる遊びではなく、かけがえのない財産であり、大切な「宝物」です。今後は最大の目標である世界チャンピオンを目指して腕を磨いていきたいと思っています。



警視庁第八機動隊
金子 龍平

新年を迎え、気持ちを新たに仕事とプライベートに頑張っている私も、警視庁巡査を拝命し早三年四カ月が過ぎようとしています。

しています。

そこで今現在、私が考える警察官として一番大切なものは？と考えたら、家族と自分を支えてくれる人達(友人)と自らの健康であると思います。

第一に家族を大切にしています。家族から離れ、警察という危険と隣り合わせの仕事の中にいることから、いつも心配してくれている両親や兄弟に電話で近況を報告したり、神奈川の実家に帰ったりして安心させています。

第二に自分の周りにいる友人同僚を大切にしています。十人十色で沢山の仲間がいますが、一緒にいて楽しく、信頼できる者ばかりで私にとって、なくてはならない大切な人達です。

第三に警察官にとって健康が基本です。身体が資本とされている我々機動隊員にとって、柔剣道の合同稽古、ウエイトトレーニング、そしてうがい等を励行し、日々健康管理に努めています。

以上が私にとって大切なものの三つではありますが、それらの人達に対し、決して裏切ったり心配をかけたりしないことを肝に命じ、「完全燃焼」をモットーに頑張っていく所存です。



警視庁第九機動隊
阿部 美樹

「あなたの宝物は何ですか」と聞かれた時皆さんなら、何と答えますか。

私は「宝物」と言えるものがたくさんあります。その中から、あえて一つだけと言われても、とても悩んでしまいます。

それは、「家族」だったり、「友達」だったり、または「今までに出会った人達」だったり、「故郷の緑や夜空の星の美しさ」だったり……と数えればきりがありません。三年前に東京で暮らすようになってからつらいつつも私を支えてくれたのはそんな宝物でした。

宝物は、必ずしもお金で買えるものや形あるものではないと思います。故郷を離れて、初めて父や母の大切さ

に気付くように、きつと「宝物」というのは身近にありすぎて見つかりにくいものなのかも知れません。

高価な物を持つていなくとも、美しい音楽を聴いて感動する心や他人へのちょっとした思いやりの気持ちは何ものにも代えがたい「宝物」だと思います。

皆さんも自分の宝物は何か、ちよつと考えてみてはいかがでしょうか？



警視庁特科車両隊
工藤 博

私の宝物は、千葉県警察新東京国際空港警備隊に出向当時の制服です。この出向当時、他府県の仲間と訓練で汗を流し、一緒に海へ遊びに行ったり、大晦日には、各県の名産物で開いた宴会等、なつかしく思い出される。

しかし、そんな良いことばかりではなかった。平成六年十月二十二日、この日の出来事は一生忘れられないだろう。雨の降る深夜の検問準備中、車にはなれ一人の若い隊員の命が散った。二十三歳であった。その現場で我々は、冷たい雨に打たれながら彼の無事を祈ったが、午前三時、その願ひのかなわない事に、全員涙を流した。この時、隊員全員が無力感を感じていた。

また、空港において、ゲリラ事案が発生したが、これを防ぐことができなかった事に、全員が悔しさを噛み締め、今後絶対に空港でゲリラ事案を起こさせないと誓いあった。

このような出来事をバネにしながら、また一日、一日勉強時間を作り、「コッコン」と努力した結果、昇任試験に合格することができたが、その時、自分でも信じられない気持ちとともに、大きな喜びを味わう事ができた。

この制服には、一年間の楽しかった事、悲しかった事、そして、喜びが凝縮されている。この制服こそ、今の私のかげがえのない大切な思い出のしみ込んだ宝物である。

機動隊ホームページへようこそ～警察庁～

徳島県警察機動隊

温暖な気候と、豊かな自然に恵まれた本県は、比較的に事件も少なく「安全で暮らしやすい土地柄」と言われております。

しかし、本年四月の明石海峡大橋の開通でこれまで以上に京阪神との一体化が促進されて、警察活動においても大都市圏の抱える治安上の諸課題が新たに生じることから、これらの変遷する警察事象に的確に対応して、治安を守っていかなければならない厳しい情勢下にあります。

我が隊は、現在、隊長以下三十五名の少数精鋭で構成されている関係で、各種機能別部隊は、隊員一人が何役もこなしております。こうした中であつて、海川の多い本県で出動要請の多い潜水救助班については、全国に誇れる部隊作りを目指しております。そのため平成八年には、機動隊潜水救助班経験者を中心に第二機能別部隊を発足させ、専門家の講師を迎えて、年間数回現役部隊との潜水合同訓練を行うなど、「実践に使える活動」を合言葉に日夜習熟訓練に励んでおります。

今後は、より一層一心(使命感)・技(高度な技術)・体(強靱な体力)の充実を図り、本年十一月に本県で開催されます「第十八回豊かな海づくり大会」では、隊長以下全員が一致団結して任務を完遂する決意であります。



誇り	と伝	統	輝	け機	動	隊	鈴	木	愛	知	産	業	エ	ー	ス	電	研	高	周	波	熱	錬	山	陽	特	殊	製	鋼	次	郎	丸	嘉	介	小	川	運	輪	姫	田	清	美	橋	本	尚	吾	村	上	祐	隆	(株)	テク	ノ	・	タ	ジ	マ	豊	田	通	商	(株)	宮	崎	精	鋼	(株)	金	森	藤	平	商	事	(株)	藤	田	金	屬	(株)	自	見	産	業	(株)	ブル	マ	ン	(株)	北	海	鋼	機	(株)	東	北	支	部
----	----	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	-----	----	---	---	-----	---	---	---	---	-----	---	---	---	---

(社)機動隊員等を励ます会

読者の広場



ワイン党



小林 直樹
(理事・名古屋支部)

ワインの効用が宣伝されて、今やワインブームといえそう。昨年の国内の販売量は三億本近くになり、ウイスキーの消費量を追い越したそうである。

主食の米、パン、副食の肉、魚、卵などよく食べるものはほとんど酸性食品である。しかるに、人の血液は弱アルカリ性なのでバランス上野菜などのアルカリ性食品をとらねばならない。

葡萄酒はアルカリ性なのでそれを醸酵させたワインもアルカリ飲料である。ワインの中には土壌から取り入れたミネラル分も豊富に含んでいるのでワインは別名「飲む野菜」といわれている。

特に赤ワインは動脈硬化の予防作用もある。

私もワインを飲む機会は結婚式ぐらいしかなくて、いつもは焼酎か日本酒であった。

ところが、三年ほど前に欧州を旅してワインに親しんでから、かなりのワイン党になった。

あの名譽ソムリエの元巨人軍江川 卓氏もそうだったらしいが、私もはじめはワインといえば白ワインを飲むものだと思っていた。

パリのブルゴーニュの森の中のレストランで食事をした時、同席した人からワ

インは赤を飲まなくっちゃあといわれて赤ワインを注文した。もつとも銘柄を選ぶなんてとてもできなかったからリストの右端の値段の欄をみて注文したのだが、このワインがとてもうまかった。それから、よし赤を飲んでみようという気になって、二日後イタリアに行つて、ここで赤ワインを飲みまくった。

イタリアのワインは値段もてごろだし、軽いものからこくのあるものまでいろいろあつて、私にはもつとも合っている。ワインはフランスが有名だが、フランスにワイン作りをもたらしたのは紀元一世紀ごろのローマ人である。ワインの元祖は紀元前四〇〇〇年の西アジアのフェニキア人であるが、ワイン作りを伝えたのはローマ人の力が大でキリスト教の影響も見逃せない。かつてキリストは「ワインは私の血と涙である」と語った。

最近、某女優が「私の身体はワインでできているの」といったがこれはかなり不遜な発言である。

ともあれワインはフランス産と思つている人は一度イタリアワインも試飲されたい。

トスカナ地方の赤ワイン、ピエモンテ地方の白ワインなどすばらしいワインがある。

実際にドイツや北欧のワインの原料のブドウはイタリアから輸出されているのが多いとあるイタリア人から聞いた。

イタリアワインにかぎらず、最近ではチリ、アルゼンチン、南ア、ブルガリアのワインも一般の酒屋で格安で手に入るようになったがこれらのワインもけっこういけるワインが多い。

我家の娘達も今までアルコールは飲まなかつたがこのごろかなりのワイン党になった。

私も当分ワインから離れられそうにな

い。「こいつまでワインを飲むとはブームもおわり」といわれても。

マスコミに踊らされる 日本経済



原 洋
(理事・中国支部)

あのバブルはたしかに異常であつた。

それを引き起こした直接責任は、当時の金融政策・金融業界・不動産業界・証券業界にあるが、「日本にとって製造業は過去のもの、財テクこそ新しい時代の流れ」と旗を振り国民をその気にさせ、バブルをより大きくさせたマスコミの責任は重い。

バブルが破裂したあと、その後始末が日本経済にとって最大課題となり、まず出てきたのが住専処理問題である。マスコミは公的資金の導入に猛反対し政府は及び腰になつてしまつた。その為、バブ

ルの後始末で最も重要な銀行の不良債権処理問題に手を付けられず、その対策が後手に回ることになった。

銀行の倒産が現実のものになると、マスコミは金融不安を煽り立て、国民の間に不安心理を植付けてしまつた。政府の対策は後手に回つたが、銀行に対する公的資金導入を決め、金融システム不安は解消の方向にある。

今、日本経済にとって最も心配なことは、マスコミに煽られた消費者の不安心理がまだ取り除かれていないことです。国民一人ひとりが買い物を控えると本物の不況がやってきます。

急成長を続けてきたアジア諸国の経済は今苦境にあります。原因はいろいろ言われていますが日本とは根本的に異なります。日本の製造業は世界一の競争力を持ち、加工貿易立国が基本の日本は決して悪い状態にはありません。

お知らせ

◎四月十四日(火)午後六時三十分より、福岡市博多区吉塚本町「博多サンヒルズホテル」において九州支部総会を開催致します。

◎六月四日(木)午後五時三十分より、千葉市中央区千葉港「ホテル・ニーツカモト」において千葉支部総会を開催いたします。

◎六月十一日(木)午後五時より、東京都港区元赤坂「明治記念館」において第二十五回通常総会を開催致します。

皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

警視庁機動隊創設五十周年

記念行事について

◎観閲式

五月三十日(土)午前十時より正午

招待者は、約二千名を予定されておりますが、超過する場合は制限される場合がありますので、参観ご希望の方は三月中旬に事務局までご連絡下さい。

機動隊ホームページへようこそ～警視庁～

警視庁第二機動隊

当隊は、東京の下町墨田区に昭和二十五年に第七予備隊として発足以来、隊舎の横を流れる、横十間川と共に歩んできた。

近年、隊の周りは、高層都営住宅に囲まれた近代都市の様相を呈して来てはいるが、住んでいる人は、昔ながらの住人であり、隊舎警備に立つた若い隊員が世間話でもしようものなら「どうせあんた達は、三、四年でいなくなるんだろ、私は生まれたときからずーっと居る先輩だよ。」と子供扱いされる始末。訓練で隊外を走れば、「声が小さいぞ、気合いが入ってないよ。」と何処からともなく声援が飛ぶ、誠に古き良き長屋の雰囲気だ。共に人情味溢れる町でもある。

また、くだんの横十間川は、亡き文豪「池波正太郎」の描いた主人公達、小説中でも闊歩する情熱豊かな川であると共に、昭和四十五年に当庁初の水難救助隊を育ててくれた母なる川でもある。

このように水に親しみ環境と水難救助隊の活躍から、ついたニックネームが「河童の二機」、我々は、愛敬のあるこの妖怪の様に、善良なる都民に愛されるべく、「融和団結・率先垂範」の隊訓を胸に、各種訓練や警戒警備に日夜全力を尽くし励んでいる。

このように水に親しみ環境と水難救助隊の活躍から、ついたニックネームが「河童の二機」、我々は、愛敬のあるこの妖怪の様に、善良なる都民に愛されるべく、「融和団結・率先垂範」の隊訓を胸に、各種訓練や警戒警備に日夜全力を尽くし励んでいる。



今月の言葉

長野冬季オリンピック大会は日本選手の大活躍により、国民に大きな喜びと感動を与えてくれた。この大会の運営に当り、機動隊の皆様も地元をはじめ、全国から多数の方々が厳寒の中を警備に当られ大会を無事終えられたことに對し、心から感謝申し上げます。

国内外の大選手が参加しての大会であり、多くの名場面があったが二、三の強い印象が思い出される。五百米スピードスケートで優勝した清水選手は、あの小柄な身体で名実ともに世界一速いスケート選手になられた

つて一流選手に成長されたものである。また、ジャンプ競技も金メダルが期待されていた原田選手にとっては前回のリレハンメル大会の雪辱を期していただけに、ス

感動と教育

身につけられたからであり、勝利の瞬間の涙がそれを物語っていた。今回、選手の方々の育ち方を聞くにつけ、幼児期の指導教育の重要性が改めて感



百まで」と言われるように幼少の時に親や先生から厳格な指導を受けることは、その後の心や技へ大きな影響を与えている。成長して正しい判断力と、やる気が出てき

て、はじめて本人の考え方による自主性を發揮し得るのである。昨今、少年の校内暴力や凶悪事件が社会問題化しており、その対策が急がれているが根本的には戦後五十年間のわが国の社会構造や教育上の問題が顕在化したものである。しかし、その原点は人生のスタートである幼児期に人間として必要な「心の教育」を家庭や学校できちんと行うことにある。我々は今回のオリンピックを通じて得られた多くの感動を教訓として、自らを省みて子供達に伝えていきたいものである。

（理事・東京本部 小原 信二）

広がるふれあいの輪 九州支部総会盛大に



第二十一回九州支部総会がさる四月十四日（火）午後六時三十分より博多サンヒルズホテルにおいて盛大に開催された。

総会には、九州管区警察局長、福岡県警察本部の幹部及び管区機動隊員、各県警察機動隊員等一四二名のご出席をいただき、当会からは佐々木理事長をはじめ支部役員、一般会員約二二〇名の参加があり、若い〇Ｌも数多く見受けられた。

はじめに九州支部を代表して高橋支部長が挨拶に立ち、当会の生い立ちの歴史にふれながら支援

活動の基礎が固まったとし、一方当会の機関誌「はげまし」に寄せられた各地の隊員の方々の「警察活動の伝統を大事にし、社会的使命を自覚して渾身の努力をする」旨の所感を讀むたびに感心させられ、これまで隊員を教育された幹部の方々の指導とご熱意に心からの敬意を表し、最後に、自由と平等をうたう法の下で、自分のことばかりを考え、社会的自覚をするように育てられなかった戦後教育の最大の欠陥を指摘した上で、個人と社会、個人と国家の関係や「真に国際的なものは、真に民族的なものである」ことを説き、危機管理の大切な今日、機動隊の皆さん方が「国の安全のためだけでなく、それ以上にわれわれの精神的支柱にもなるような心にもなつて、今後、ますます努力して欲しい」と期待をこめて、励ましの言葉を述べられた。

続いて、励ます会の佐々木理事長は、新任の挨拶の後、従来の社会の価値観が崩壊しつつあり、その崩壊の過程で、今までは考えられなかったいろいろな犯罪が発生していることを指摘したうえ、警察は、正義と秩序を守っていくために果さなければならぬ役割を数多く負っているとし、そのご苦労に報いるべく、一層の努力をする旨の決意を述べられた。

次に来賓祝辞に入り、金澤九州管区警察局長殿より当会の支援活動に対する謝辞と活動状況の報告があり、反社会的犯罪がいつ起るかわからない今日、「いづいかなる事態においても迅速、的確に対応するため、心ある人々からおくられてくる声援をバックに、自信をもって日夜厳しい訓練を実施し、国民の期待と信頼に応えようよう研鑽、努力したい」との力強い決意が述べられた。



最後に、重信九州管区機動隊長殿のお礼の言葉があり、新日本製鐵の松川九州支店長の音頭により、懇親パーティーに入った。

会場は、新日鐵ハワイアンバンドの演奏、太宰府の女性チームによる勇壮華麗な太鼓の連打に、会場内は和やかな内にも熱気が満ちあふれ盛会であった。特に今年は、機動隊員と会員との懇談に重きを置いた運営がなされ、各テーブル毎に相互の交流が深められ、懇親の輪が広がった。

午後八時、飯田世話人の音頭による万歳三唱で活気に満ちた九州支部総会と懇親パーティーは静かに幕をおろした。

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円（送料共）
（但し会費の中には購読料を含む）



金澤九州管区 警察局長殿
倉澤福岡県 警察本部長殿

〈今月のテーマ〉 長野オリンピック・パラリンピック 国際2大イベント警備を終えて



北海道警察警備隊
渡邊 由規生

「長野オリンピック」。この警備に従事できることは、警察官冥利に尽きますが、その警備の成否は、即、国際問題等に発展しかねません。更に、「各競技の円滑な遂行」という重責もあり、これらのことを思うと警備出動に際して、緊張せずにはいられませんでした。

私が所属する北海道警察警備隊の任務は、「交通対策」、「沿道警備」等であり早朝からの交通規制や、夜間、降雨の中での沿道警備等、厳しい勤務の連続ではありましたが、それがより一層隊員間の団結を強くするとともに、勤務を終えた後の充実感を得ることができました。

また、北海道出身選手の活躍、特にスピードスケートの清水選手や、モーグルスキートの里谷選手の金メダル獲得は、我々の疲れた身体への妙薬となり、翌日の勤務に向けての良い刺激となったことは忘れることができません。

長野オリンピックの警備は、大成功を収めました。その成果の要因は、全国警察が一丸となって真剣に取り組んだ結果であると思います。長野オリンピック警備に出動し、その任務を完遂できたことを「自分の誇り」として、これからの警察人生を歩んでいきたいと思っています。



東北管区機動隊
守 保

二十六年ぶりに日本で開催された長野オリンピックの警備に、大型輸送車操縦車担当として二月四日から二十三日までの二十日間特別派遣されました。私はこの出動に際して二つの目標を立てました。

その一つは、部隊を安全かつ確実に目的地まで輸送することです。我が部隊の警備担当区域である長野市内の最低気温はマイナス一〇度以下、白馬村ではマイナス一五度以下にもなり、その雪の多さに雪には慣れているといわれる東北人の私にとっても「半端じゃない」という感じでした。そのような状況の下で、同行した整備担当者や車両状態の維持管理に細心の注意を注ぐとともに、迅速的確に交通情報を取ることに努めました。情報と現実との食い違い等に困惑し、時には吹雪のため前方の視界が二〇メートル以下になる等想像以上の厳しい気象変化のため、極めて困難な状況での輸送を強いられました。しかし、運転助手をはじめ同乗隊員等の適切なアドバイスにより無事任務を完遂することができました。

もう一つの目標は、絶対に病気等にならないということです。長期出動に加えて過酷な厳冬期で連日午前四時起床という勤務環境の中で身体が持つかどうか心配でした。その為自主トレによる体力づくりに励み、風邪気味の時には早めに薬を飲み休養を取る等健康管理に努めた結果、良好な体調で過ごすことができました。当初、懸念されていたゲリラ事件を封圧し、また競技では日本選手が好成績を挙げる等長野オリンピックが成功裡のうちに終了したことに、私は「警備」というオリンピック種目に参加し、金メダルを取った思いがしました。この出動で得た数々の教訓が、今後の私の警察人生の糧になるものと確信しています。



関東管区機動隊
小宮山 秀樹

私は、学生時代に競技スキーをしていた関係で長野オリンピックの開催に大きな関心を持っていました。そんな私が、管区機動隊員として警備に従事することになったのです。大変光栄であると同時に、派遣前には「オリンピックを成功させるために与えられた任務に全力を尽くそう」という強い責任感で一杯でした。

長野では、想像以上の厳しい寒さの中、第一次派遣では競技場への選手役員等の円滑な輸送を確保するための交通規制、第二次派遣では閉会式会場警備にと、延べ二十一日間従事しました。幸い私の勤務したポイントやエリア内では、心配された事件事故もなく任務を完遂することが出来ました。



私が今回の勤務を通じて強く印象に残ったことは、この大会を成功させようという長野県民一人ひとりの思いと、大会を支え活動していた多くのボランティアの人々の活躍でした。私が街頭で交通整理を行っているとき道行く人が「寒いのに遅くまでご苦労様です」等、励ましと労いの言葉を掛けてくれました。また、缶コーヒーマシンの暖まる差し入れもありました。

都市化による人間関係の稀薄さが問題となっている昨今、長野で経験した人々との触れ合いが私の勇気と励ましになり、今世紀最後の冬季オリンピックで経験した事が私の人生で大きな財産となると思います。



中部管区機動隊
宮前 和徳

平成十年の冬、私が管区機動隊員として勤務すること三年前、その最後にして最大の警備に従事することになった。言うまでもなく、長野オリンピック大会の警備である。二十世紀最後の、そして国内での大会という事で、選手だけでなく、その警備に当たる私たちにも、あらゆる方面から視線が注がれる警備であった。

任務は、会場へ通じる幹線路における二十四時間車両検問。不審者はすべて我々の所で停め、会場入りをさせない。そして必ず大会を無事成功させるという皆の強い意志の中、非常に緊張したが、確実に任務を日々行っていた。

寒さには慣れているつもりであつたが、いざ勤務に就いてみると、今まで体験したことのない雪下の刺す様な寒さが身体を襲い、じつと立っている事もできない状況下であり、夜間には、一層それが厳しさを増した。当然体調が悪くなる者もいたが、職責の自覚か、あるいは緊張感からか誰一人として弱音を吐かず、欠ける事なく役目を完遂することができたのである。

今回の出動は、私にとって、隊員としてはおそらく最後の出動となるであろう。これから先これほどの規模の警備に携わる事はないかもしれない。このいわば舞台裏であるとはいえ、世界規模の大会に参加できた事、またそれをやり遂げた事を誇りに、そして自信として、今後の活動に活かし、何事にも精進してゆこうと思う。

近畿管区機動隊

藤井 雅実

今世紀最後のオリンピックと日本国中が湧いた冬季長野オリンピック、「最後の金メダルは警察だ」私は、長野県警察の部内誌でこの下りが紹介されたとき、胸がじんと熱くなった。我々は、この長野オリンピックに伴う警

戒警備のため管区機動隊の一員として特別派遣された。大隊副官として何度か事前実査をし、効率的な部隊運用、士気の向上、緊張感の持続、健康管理の徹底が今回の特派での大きな課題であった。

厳寒の地での勤務は、我々関西人にとっては想像もつかないものであったが、幸いなことに特派期間中さしたる荒天もなく、隊員もインフルエンザで入院することもなくこの重要な任務を完遂することができた。



我々は、長野市内の会場警備隊として勤務したが、その中でも施設外で勤務する隊員が降りしきる雪の中で雪だるまのように真っ白になりながら、黙々と勤務に就いている姿を見ると「日本の警察ここにあり」と胸を張って誇れる。これが、世界に冠たる「日本の治安の良さ」の根幹であると思う。

世界中が注目するNAGANOで無事オリンピックが終了したのは、これらの隊員一人ひとりの努力によるものであり、これは、我々近畿管区機動隊第五大隊だけではない、長野に特派された全ての部隊が真摯に取り組んだ成果の賜である。

全国警察の威信をかけた長野オリンピック警備に微力ながらも貢献できた「誇り」「充実感」「達成感」は言葉では言い表せないものがある。全国警察が応援意識を払拭して長野県警察の一員としてその総合力を発揮した成果だと確信している。

中国管区機動隊

小谷 貴博

長野出動を無事終えて帰県しました。中国管区機動隊は、今回の出動に向けて

出勤前に県北で早朝から夜間まで訓練を重ねました。私たちは、マイナスイ〇度という気温や雪道での車両運転を経験したことがないため、風邪をひかない体力づくり、運転訓練等、健康管理や各種事故防止の強化に努めました。



夜間の広域検問中に（本人中央）

広島を出発し、長野市へ近づくにつれ次第に寒くなり、また任務の重要性を考えるとどうしたことが体が震えてきました。現地では、広域検問の勤務に就きましたが、寒さで思うように体が動きません。しかし、私たちは日頃から苦しい訓練を積み重ねており誰一人弱音を吐く者はいません。最後の当番は、閉会式当日で、これまでの当番で疲労はピークに達しており体力的には厳しい状況でした。

夜になり「もう少した。」と思いながら勤務していると閉会式の火花が見えました。火花を見てみると、「このような国際的行事の警備に参加できたこと。」と「両陛下も明日には還幸啓されるのだ。」という思いで胸が熱くなりつい「日本バンザイ。」と心の中で叫びました。長野オリンピック警備出動は、これまでの自分の警察人生の中で最高の思い出となったことは言うまでもありません。



中国管区機動隊
山口 哲男

私は今回の長野オリンピックに行幸啓先支援隊の一員として特別派遣されました。冬の長野のような酷寒の地で警備警備につくのは初めてであり、実際その寒さは手足や顔の感覚がまひするほどだった

のですが、そんな厳しい中、任務に就いている時のことです。一人のおばあちゃん私の所へ近づき、おやきというちようど肉まんのような郷土料理を差し出し「私の孫も警察官であなたと同じようにオリンピック会場で働いているんです。寒いでしょうががんばって下さい。」と優しい笑顔で話されたのです。

突然の事に私は驚きましたが、そのおばあちゃんの優しさに、寒さで震えていた事を忘れてしまふほど嬉しく思いました。宿舎に帰るバスの中で、おばあちゃんからもらった「おやき」を口にしながら私は、今世紀最後の冬季オリンピックに行幸啓先支援隊として参加できたことを非常に誇らしく思うと同時に、地元の人との心温まる交流に感謝し、管区機動隊員になって本当によかったとつくづく感じました。



四国管区機動隊
橋田 昌樹

トンネルを抜けるとそこは雪国だった。実査初日は白馬へ。ここはノルディック複合の会場である。降りしきる雪のため視界は百メートル以下。スタッドレスタイヤが坂道を滑る。この先どうなるのか不安が脳裏をよぎった。実査二日目は前日とうって変わった快晴。白銀の志賀高原のなんとも美しい快晴。思わず仕事を忘れるようになってしまった。

いよいよ警備本番。何度経験しても何とも言えない緊張感が走る。我々の任務は先行指揮隊である。私は中隊長長伝令として無線担当という重要な役割を果たさなければならぬ。最も緊迫したのは志賀高原への行幸啓時であった。迂回路線がないため御通過直前まで渋滞し、お百車の伴走の可能性有りとして警備靴にアイゼンを着け万全を期していたのであるが、何とか渋滞が解消し、ぎりぎりのところで無事御通過されたのあった。一度も車を降りることなく本警備を終了した

のは大変喜ばしいことではあるが、少し残念でもあった。

また、今回の出動で最も印象に残っているのは県庁駐車場での待機時の差し入れであった。「遠方から苦勞様です。」と近所のご婦人から焼ききたての薄焼き（お好み焼き風）をいただいたことである。出動して何がうれしいといってこれほどうれしいことはない。人の温かさに触れ、来てよかったとつくづく実感し、仕事に誇りを感じる瞬間である。いつかまたこの心温まる思い出の地に長野オリンピッククモリアルツアーに来たいと思う。



九州管区機動隊
長野 幸彦

今回の出動は、私にとって管区機動隊員としての最後の警備出動でしたが、世界規模の歴史的行事に警備警備を通じて側面から参加できたことは一生の思い出となりました。

出発前は、福岡とは異なる気象条件、積雪による車両運転の問題、十七日間にわたる長期出動等不慣れな環境下での勤務に対する一抹の不安がありました。事前に実施された雪道運転訓練や地元長野県警支援の皆さんの細かい心配りにより、無事任務を全うすることができました。我々の任務は、会場内外での御対象の直近警備、エリア警戒及び沿道警備という重要な内容でした。

また今回は、パラリンピックということから「よりソフトな警備警備」が基本とされ、なおかつソフトさの中にも百パーセントの警備警備が要求されるという厳しい条件の下での勤務となりました。このような中で、長野パラリンピックの成功に向け、中隊長指揮の下、旺盛な士気と絶えることのない緊張感によりスムーズな警備警備を全うできた一つの要因は、平素の訓練を通じて培った「気力・体力」、更には一糸乱れぬ部隊活動の賜物であると痛感しました。閉会式の際、消え行く聖火を目の当た

りにしたとき、一抹の寂しさと、歴史的イベントの成功に貢献できた充実感で、万感胸に迫るものを感じました。



山梨県警察機動隊
長田 良寛

関東管区連合県機の一員として、我ら山梨県警察機動隊は、一月二十二日から二月十五日までの二十五日間、長野オリンピック警戒警備に派遣され、選手村の警戒警備活動に従事した。全世界的な祭典ともいべき冬季オリンピックでの諸活動に私は高鳴る胸の鼓動を押さえつつも、任務の重大性を自分自身に言い聞かせて勤務したのである。

あるとても冷え込む寒い朝のこと、いつものようにオリンピック村外周の警戒活動に従事していると、軽自動車私の前に止まり、二人の子供が私のそばに近づいてきた。

「お巡りさん、毎日苦勞様です。これを飲んで暖まってください」と言いつつ子供達は暖かいみそ汁を差し出してくれたのである。聞くところによると、この子供たちは付近に住んでいて、両親が子供達に奉仕する心を培わせるために毎日警備に従事している私達に体が暖まる物を配っているとのことであった。

私はこの心温まる出来事に、心の底から何とも言えない感動が沸き上がってくるのを覚えた。この時、オリンピックは選手だけの祭典ではなく、日本国民いや全世界の人々の心の祭典という事に気がついたのである。

子供達のおかげで、風邪をひくことも無く無事に最後まで任務を遂行する事ができたと思う。私は子供達の心温まる出来事を一生忘れずにいると共に、子供達の応援に報いるためにも全力を出しきって今後の警察人生を進んでいきたいと思う。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|-----------|------|---------|------|------|------|---------|---------|---------|---------|-----------|------|----------|------|
| 警備の中核 | 頑張れ機動隊 | 東鋼業(株) | (株)エース電研 | (学)嘉悦学園 | 高周波熱錬(株) | 光洋商事(株) | 芝本産業(株) | (株)周東商会 | スカイコート(株) | 杉尾榮俊 | 関西製鋼(株) | 西戸栄一 | 加納保成 | 白神賢志 | 中京製線(株) | 松田鉄鋼(株) | 内外運輸(株) | 中越通運(株) | 三星金属工業(株) | 高橋重廣 | 豊鋼材工業(株) | 東北支部 |
|-------|--------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|-----------|------|---------|------|------|------|---------|---------|---------|---------|-----------|------|----------|------|

読者の広場



自信の過剰と喪失のはざま



木下 英雄
(理事・東京本部)

最近の日本人は自信を喪失しているという説が多く見受けられる。バブル崩壊からそれまで過剰とも思える自信がぐらつき一転して自信を失い、日本の社会も政治も経済も教育制度も何もかもが駄目なんだという敗戦直後の時代のような絶望感に陥っている感がある。

日本の近代社会はそもそも何回となく危機的状態を経て来て、概ね緊張状態の継続が多く欧州でありえた戦間期の平和安定的時代が少ない。また多少その期間があつても大地震や水害等自然現象の強烈なショックが地域的に見舞つて来る。

併し我が国の近代史の中で、開国から日清日露戦に至る期間の危機感の度合いから云えば現状の危機とは比較にならない強烈の極限状態ではなかったものと思われる。また未だ我々の記憶にも生々しい第二次大戦とその敗戦及び社会構造の大幅な変革と猛烈なインフレの進行とその終結までの一連の時代ともその内容も規模も全く異なる。

やはり自信の喪失というが、喪失さるべき自信の内容と規模とそれらへの対応能力を考えると、マスコミで騒ぐ過大な喪失感とは当らないと思えて仕方がない。勿論困難な事態を乗り越えるにはそれなりの英知と努力とエネルギーは必要だが

未来を見据えて地球規模での考え方であらすべきではないかと考えたいものである。また日本人のエネルギーはどこから来ているものか分らないが、最近の若者のオリンピックや国際サッカーでの活躍をみるとまだまだ若者には強烈なエネルギーが受けつがれているのではないかと自信を深める現在である。

長野オリンピックに思う



小藪 修
(理事・北海道支部)

大型金融機関の経営破綻、景気の低迷、アジアの経済混乱、明るい話題の無い中で、長野冬季オリンピックにおいて日本選手は一個のメダルを獲得し、私どもに大きな感動と喜びを与えてくれた。

スポーツに必要な構成要素は、肉体力・技術力・精神力・運と四つであるが、肉体力・技術力が整つていても、強い精神力と運がなければメダルの獲得や記録はつてこないものである。

この事を考えると、期待通りにメダルを獲得したスケートの清水選手、ジャンプの船木、原田選手等の心・技・体に加え、運をも自分のものにする素晴らしい改めて敬意を表す次第である。

スポーツの世界ははつきりしていて、当然のごとく勝者は評価されるが、敗者は話題にもされない厳しい世界である。私も長年勝負の世界に身を置いただけに良く解る。

しかしながら、片寄りすぎる報道には疑問を感じることがある。例えば、今回メダルに手が届かなかったが、日本新記録や自己新記録を出した選手もいたはずである。メディアはこういう選手についても取り上げ、評価してあげることが今後の励みにつながる、世界のレベルに著実に近づくものだと思う。

また、競技場の整備について、一般的にはあまり知られていないようだが、ジ

ャンプ競技における滑走路や着地面の地ならしは、機械で整備するのではなく、スキーを履いた人々が整列し踏み固めていると聞き、驚きと共に感心させられた。メダル獲得や記録は、この様な人々の陰の力があつてこそ達成出来ることを、競技選手達は忘れてはならないと思う。

お知らせ

◎五月二十五日(月) 午後六時より、札幌市中央区南十条西「札幌パークホテル」において北海道支部総会を開催致します。

◎六月四日(木) 午後五時三十分より、千葉市中央区千葉港「ホテルニューカモト」において千葉支部総会を開催致します。

◎六月十一日(木) 午後五時より、東京都港区元赤坂「明治記念館」において第二十五回通常総会を開催致します。

◎六月二十三日(火) 午後六時より、広島市中区加古町「広島厚生年金会館」において中国支部総会を開催致します。



機動隊ホームページへようこそ

山口県警察機動隊

一 沿革

山口県警察機動隊の誕生は、昭和十四年二月「特別機動隊」の発足に遡る。その後、社会情勢の変遷とともに、数度の組織改正が行われ、昭和五十年、「山口県警察本部警備部機動隊」と改称され現在に至っている。

二 隊訓「信・強・和」

安保闘争時の機動隊の強固な団結と意気高らかなことを示すため、昭和四十四年七月「信(信実なこと、欺かぬこと、疑わぬこと)強(強いこと)和(仲のよいこと、元氣、精氣、温かいこと)」と制定され現在に引き継がれている。この隊訓の下、全隊員「警察最後の砦」として県民の期待に的確に応えるべく日々精進している。

三 近年における主たる活動

山口県は、「米軍岩国基地問題」「上関原発問題」等の重要警備事象に加え、近時、中国人等による「集団密航事案」

警視庁第三機動隊

一 沿革

警視庁第三機動隊は、昭和二十三年、警視庁予備隊南部区隊としてスタートした。その後、数度の変遷を経て、昭和三十三年、「第三機動隊」と改称され現在に至っている。隊舎は、目黒区の北部駒場台に位置する。

二 「ほこりの三機」「サムライの三機」南部区隊当時、隊庭は当庁随一の広さであったが、舗装がされておらず、南風が吹けば埃がたち、訓練に際しても黄塵が舞い上がる状況であったことから、その「ほこり」と、隊員の「誇り」を「プライド」をかけて、このニックネームが生まれた。

今年、警視庁機動隊創設五十周年という記念すべき年で、「ほこりの三機」の伝統を引き継ぐとともに、「サムライ三機」を目指して、隊員は日夜、職務、訓練に精進している。

三 シンボルマーク



警視庁第三機動隊
シンボルマーク

四 警視庁ラグビー部第一中隊
ラグビー部は、昭和三十七年三月に創設され、初代部長に高橋警備部長が就任された。機動隊の中で最も歴史と伝統のあるスポーツ部である。
今季から念願の関東社会人一部リーグ入りを果たし、今、新たな挑戦に向かって走り出した。



が統廃するなど、当隊の活動も多忙を極めていた。また、水難救助活動、証拠品の捜索等各種の機動別活動にも出動し、機動隊の存在感をアピールしているところである。

四 隊行事

伝統的な行事としては、毎年正月に、本部長をはじめ警備部長出席のもと、鏡(隊旗)開きを開催している。その他、分隊対抗各種競技会、観桜会、餅つき大会等を開催し全隊員の士気の高揚並びに融和団結を図っている。

今月の言葉

ある記者が、歴代大蔵大臣経験者に「大蔵省の印象を一口で表すとすれば」という質問をしたら、「最大の知識集団」「そこにはもう一つの日本があった」「巨大な帝国があった」というような答えが返ってきたという。タマエとしての民主政治システムと、実際に統治する実務集団が別に存在するといふ、いわゆるタマエとホネのダブルスタンダードを示す格好のエピソードであろう。選挙がすべて

の原点とは言うものの、これだけ巨大化した現代社会のすべてのシステムを、毎日の、日の出と日の入りの時刻に決まっているが如く、遅滞なく作動させるためには、新幹線のダイヤを素人が弄ろうとしても、どうしても無いはずだが、ささやかな事故でもあれば、こぞとばかりに口先介入しようとするに似て、一旦完成され、日々肥大化を繰り返してきた官僚システムを何とか揺さぶってみようというのが、最近の大蔵省批判の動きだろうが、専門家集団としての彼ら以上の知恵と実務経験が無い者に、果たしてそれが可能か否か。単なる批判の

公僕への信頼回復の先兵たれ



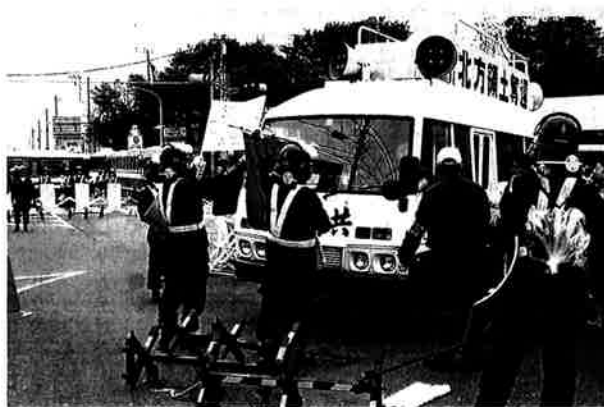
り合いのレベルに止まらず、国家を思い、日本の将来を展望する志を磨き、高揚させるものとなって自己変革できることを願うばかりだ。

同様の論理は当然警察集団にも当て嵌まる。法治国家といえども法の定めは常時完璧ではない。コンピューターにインプットとえておけばすべての違法は自動的にエラーとして排除されるというものではなく、法の執行には常に法の精神を具現した執行者の存在が無くてはならない。単に情に流されるだけならそこには癒着という落とし穴もある。官僚集団という意味では同質である大蔵省批判の嵐を他山の石として、あるいは教育現場の荒廃を直視して、公僕への国民の信頼を勝ち取る、という意味でも最後の防波堤となつて日々、心身の錬磨と精進を重ねて頂き、システムではなく基本は個々人の心のありようであることを忘れず、にいてほしいと思います。

（理事・九州支部 自見 眞清）

ロシア連邦大統領来日警備を終えて

～静岡県警察～



四月十八日から十九日の二日間、ロシアのエリツィン大統領が、橋本首相との首脳会談のため来日した。今回の首脳会談は、昨年のクラスノヤルスク会談で合意した「二〇〇〇年『平和条約』締結」に向けての話し合いが、より具体的に進められるものと期待され、首脳会談を成功に導くため、この警備に携わる警察関係者も右翼によつて会談に影響を与えてはと神経を尖らせていた。

「来日反対」に取り組む右翼団体の中には、四月上旬から伊東市でのピラ貼り・反対街宣や首脳会談場所となった川奈ホテルへの接近・浸入を企図した行動に出たほか、来日期間中には、数百台の右翼街宣車が伊東市入りするなど厳しい情勢であった。

このため静岡県警察では、警視庁機動隊、関東管区・中部管区機動隊等一、六〇〇人の特別派遣部隊の支援を受け、最大時四、三〇〇人体制で警備に臨み、右翼二団体六人をピラ貼りで検挙し、さらに来日当日の十八日には、一団体三人を「暴騒音条例」違反として検挙した。

今回の首脳会談に際しては、ノーネクタイ外交ということもあって、海釣りのできる場所が選定の条件の一つとなつた。このため静岡県警察では、警視庁機動隊、関東管区・中部管区機動隊等一、六〇〇人の特別派遣部隊の支援を受け、最大時四、三〇〇人体制で警備に臨み、右翼二団体六人をピラ貼りで検挙し、さらに来日当日の十八日には、一団体三人を「暴騒音条例」違反として検挙した。



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円（送料共）
（但し会費の中には購読料を含む）



会場場所となった川奈ホテル全景



海釣り予定地付近の警戒にあたる潜水隊員

ルでは結婚式も行われたが、出席者が警備に当たる機動隊員に心温まる謝辞を述べて検問場所を通過するエピソードもあり、警備に携わった多くの機動隊員の苦勞が実り首脳会談は無事終了した。

長野県警察より感謝状をいただきました
本年、二月から三月にかけて、長野県で開催された第十八回オリンピック冬季競技大会及び長野パラリンピック冬季競技大会警備の際の当会の協力に対して、四月二十一日に長野県警察本部長より感謝状を頂戴しました。当日は、長野県警察本部島根悟警務部長が代理としてお越しくださいました。



写真：あさま山荘事件警備（昭和47年）



警視庁第一機動隊
川和田 武治



警視庁第二機動隊
大吉 慶明

やも知れない。昨今、有事にその責務を果たすのは我々機動隊である。そのために平素から予想される警備事象に応じた実戦的訓練を行い、隊全体のレベルアップを目指したい。警備に失敗は絶対に許されないことを肝に銘じて。

五〇年の歴史を紐解くと、動乱混迷の時代に、諸先輩方がひたすら治安維持の為に、血と汗を流して、幾多の困難を乗り越え、世の安寧を図ってきたことを伺い知ることが出来る。

さて、歴史と伝統を引き継ぐべき私も、各階級合わせて十年になる機動隊勤務の中で大きな変化を体感した。

一つは、街頭闘争が少なくなり、力と力が対決する「動的」な部隊活動から、重防、警備、警護等の「静的」な部隊活動が多くなったこと。

二つは、阪神・淡路大震災や、未曾有の社会不安を引き起こしたオウム真理教事件等の新たな「動」が発生したことである。動から静、静から動、この変化に迅速果敢に立ち向かったのは、全国の機動隊員である。一朝ことあれば、「まった」は、我々には禁句である。見えざる敵、予想だにしない犯罪、災害等に対し、平時の備えを万端怠つてはならない。

それには、機動隊一人ひとりが、常に危機意識を持って、日々訓練に励み、諸先輩達が築き上げてきたよき伝統を継承するとともに、常に頭を切り替え、創意工夫、研鑽を重ね、時代に即した警備技術の改善修得に努めて行かなければならない。



警視庁第三機動隊
角田 忠政

昭和三十七年、第三機動隊に警視庁ラ

グビー部が充足した時、第一期生として初代のウィングを努めたのが私の父でした。

「父の機動隊」当時は、まさに荒れた警備現場の日々で、昭和三十五年の安保闘争では国会議事堂でデモ隊と機動隊が衝突して、一晩で警察官七二〇名が負傷し、警備車両一八台が全半焼。デモ隊側では、女子学生一名が死亡し、負傷者五八一名、逮捕者は八一名を数えたそうでした。

今からは想像もできない修羅場をくぐり抜けて、諸先輩方が築き上げてこられたこの五〇年の歴史を真摯に受け止め、次代に受け継ぐ大きな責任を感じて職務に励んでおります。

「私の機動隊」生活は、奇しくも父と同じ第三機動隊、この春ちょうど一年となります。

武道小隊の分隊長を半年、現在は庶務係員として隊の運営にあたりながら副隊長伝令を努めるなど、とても充実した日々を送っております。

機動隊創設五〇周年を迎え、創設当時から刻々と変化を続ける社会の中で、警備、交通、犯罪情勢も多様化の一途をたどっております。

しかし全く変わらないのは、常に「時代の要請」に応え、柔軟かつ自在に日本の治安を守り、国家治安の「最後の砦」として存在し続ける機動隊の重要性であると思います。

その後父は、青春を謳歌した警視庁から地元の消防本部に移り、消防庁を最後に退官し、現在は葡萄酒農家として余生を送っております。私が帰省するたび畑に腰を下ろしては、「二人の機動隊」話に花を咲かせております。



警視庁第四機動隊
和田 文武

私が初めて機動隊を知ったのは、初任科学生時代、「連合赤軍あさま山荘事件」

のビデオを見たときのことです。

警視庁機動隊がクレイン車で山荘の一部を破壊し突破口を切り開き、突入した部隊が犯人を検挙、人質を無事救出した場面です。こうした映像を時には恐怖に身をすくめ、時には犯人に対する憤りに身を震わせながら見ていたものです。

そして今、私は血と汗と涙で築き上げられた伝統ある警視庁機動隊員となり、四年目を迎え、「五〇周年」という節目の年に機動隊員として在籍できることに喜びを感じるとともに、改めて、「誇りと使命感」で血が熱くなる思いです。

攻めから守りの警備に変わりつつある昨今、変わらないのは、機動隊は治安の「最後の砦」であるということなのです。

我が「第四機動隊」は世間では「鬼の四機」として知られているが、最近では、鬼が集団警備力を発揮するような場面も少なくなってきました。しかし、私は、「治にいて乱を忘れず」の言葉どおり、あらゆる訓練に積極的に取り組み、実戦の修羅場に耐えうる実力と精神力を養い、悪には鬼になり、善には仏となれる機動隊員を目指してまいります。



警視庁第五機動隊
小林 光弘

警視庁機動隊は、今年で満五十歳となります。創設以来あらゆる修羅場をくぐりぬけてきた歴史ある精鋭部隊の一員として、この大きな節目を迎えることができたことを大変嬉しく思います。

私は、第五機動隊に一昨年来隊しました。機動隊五〇年の歩みの中で、まだたったの一年半です。日頃の重要防護対象の常駐警備をはじめ、警備に伴う沖縄県派遣やオリンピックに伴う長野県派遣等、多数の警備に従事し何度も部隊活動の難しさを、警備警察の重要さを痛感させられ、毎日が勉強の日々です。現在は昭和四〇年代の闘争や、あさま山荘事件のような現場はほとんどありませんが、オウム事

件や阪神・淡路大震災のような突発事象が、いつ発生するかわからない世の中であり、治安の悪化を阻止すべく一時たりとも気を抜くことはできません。しかし、この緊張感こそが警察署とは違った機動隊勤務の醍醐味であると思います。

五〇年という時を目の当たりにし、私自身今感じるのは、激動の昭和を闘い抜いた先輩方が築き上げた伝統をいかに後輩に引き継いでいくかということです。私はまだまだ機動隊員として未熟であり、何もできないかもしれないかもしれません。しかし、機動隊員であることを心から誇りに思い、自分自身これからの機動隊の歴史と共に日々前進して行く覚悟です。未来の機動隊の土台をこの手で築けるように。



警視庁第六機動隊
影山 浩二

昨年十月に第六機動隊に着隊して以来、交通勤務とは異なった機動隊の勤務に戸惑いを感じながらも、早や半年が過ぎ、少しずつ仕事にも慣れ、編上靴も足に馴染んでくるようになりました。

年が明け、三月早々には二〇世紀最後の冬季オリンピック及びパラリンピックが長野県で開催され、二週間にも及ぶパラリンピック警備に従事することができました。

今年は更に、警視庁機動隊創設五〇周年に当たり、各種記念行事が行われ、我々機動隊員にとっては、大きな節目になる年であり、このような年に機動隊で勤務できることを大変幸運に思います。

私は今年で二十五歳となりますが、私の人生の倍の長きに渡って各種警備、首都治安維持に当たってこられた諸先輩方の計り知れない苦勞が忍ばれます。

私も警視庁機動隊員として、今まで先輩方の築き上げてきた輝かしい業績に恥じぬようこれからの勤務に誇りと使命感を持って従事して行きたいと思っております。



警視庁第七機動隊 磨田 良文

十年ひと昔というが、昭和六十三年の機動隊創設四〇周年は、機動隊の隊員で迎えた。記念式典に参加し、同僚と共に絵画館前で、威風堂々の分列行進したことを昨日のように思い出す。あれから十年が過ぎ、再び、今度は分隊長として五〇周年という節目の年を迎えた。

この間、時代は昭和から平成へ、そして機動隊の編成も四個中運用から五個中運用となり、輸送車の色も変わるなど、まったく隔世の感がある。

そして本年は年頭から、長野パリンピック警備のため、十五日間という長期にわたり長野県に派遣され任務を完遂したが、凍てつく道で、警戒に従事した際、多くの地元の方々から「頑張ってるぞ」と激励を受けるたびに警視庁機動隊は日本の機動隊であるということを体感した。

他方、都内における活動も、警備現場だけでなく新宿等の盛り場の浄化対策や、窃盗犯検挙対策、さらに重大交通事故抑止対策等多方面にわたり警視庁の中核としての活動も年々増加するなど、機動隊の使命は益々重要となってくる。

警視庁機動隊という組織の一員として、桜のバッチに誇りを持ち、残された在隊期間を全うしたい。



警視庁第八機動隊 鈴木 兼史

私は十年前、隊員として創設四〇周年を迎え、そしてまた、巡査部長として機動隊において創設五〇周年を迎えます。意義深いこの節目に二度も機動隊に籍をおけると言うことは何事にも代えがたく、光栄この上ないものがあります。

振り返れば、卒業配置後の間もない頃、担当係長から「機動隊は希望しているか」と聞かれ、私は「希望していません」と答えたのです。すると係長は「機動隊は、他では味わえない部隊活動が経験できる

ところだ、一度は経験してみろ、最初から食わず嫌いはよくないよ」と教えてくれたのです。その時、私は機動隊に「不安」という印象しかなく、当時の係長の教えを素直に受け入れることが出来なかつたのです。しかし、実際に機動隊生活を経験してみると抱いていた「不安」が「充実感」に変わり、機動隊員としての自信が湧いてきたとき、あの係長の教えが理解できたように思えたのです。

昭和二十三年五月二十五日に警察予備隊として創設された我が警視庁機動隊は、本年で半世紀を迎えることとなりますが、私はこの半世紀という長きにわたり、諸先輩方が血と汗と涙で築き上げた歴史と伝統を大切に、更に光輝あるものとして後世に引き継いでいく覚悟であります。



警視庁第九機動隊 関谷 康明

卒配当時は「機動隊は厳しい」という印象があり、私にはとても動まらない職場であると思い、できれば避けて通ろうと考えていました。卒配から一年が経過し、特機隊員として機動隊にお世話になる機会に恵まれ、最初の出動の時、隊庭で隊長訓示の後の事です。

「回れ右、乗車！」「おうっ！」私も走ってバスに乗り込んだが、誤って基幹隊のバスに乗り込んでしまい、気付いた時にはすでにバスは動き出し、言葉も出せず哑然としている私を見て、先輩たちは、「現着したら送ってやるよ」と暖かい一言をかけてくれたのです。目的地までのバスの中で、ある先輩に「機動隊は希望しないの？」と聞かれ、私は戸惑いつつ、「勤務が厳しそうなので」と答えるとその先輩は、「確かに厳しいよ、でも苦しい時

はみんな一緒だからね」と笑ったのです。到着してからその先輩は暑い中、走って私を送り、別れ際に「待つてやるよ」と一言言って私の肩をポンと叩き、来た道を汗を流しながら走って行ったのです。そんな先輩の後ろ姿が輝いて見え、苦業を共にする先輩や仲間がいる。そんな機動隊に憧れ、私も基幹隊員になろうと決意を固め、「はい、基幹隊の先輩を見て、私も先輩のようになりたい」と思いました。着隊時の面接で私は胸を張って志望動機を答えたのです。私が見た先輩の輝きを先輩へ伝えていく事が、私にできる先輩への恩返しと考え、ひとつの節目である創設五〇周年に、心新たに日々努力邁進する覚悟であります。



警視庁特科車両隊 宮地 延忠

昭和二十三年五月二十五日警察予備隊として創設以来、五〇周年を迎える記念すべき年に警視庁機動隊の分隊長として勤務できることを誇りに思っております。

現在、こうして私達が警備に従事できるのも、先輩達が常に歴史的警備の先頭に立って尊い犠牲を出しながら築き上げた結果であると考えております。

なかでも、昭和二十七年の皇居前メーデー騒擾事件をはじめとして、第一安保、東京オリンピック大会、第二安保、連合赤軍のあさま山荘事件、成田空港警備、地下鉄サリン事件等数えればきりがなく各種警備にどれだけの先輩達の血と汗と涙が流されていることでしょうか。この事を絶対に忘れてはならないと思います。

私は、諸先輩方が築き上げたこの輝かしい歴史と良き伝統を守り抜くとともに、二十一世紀の機動隊員にこれを更に進歩させ伝えていくという重要な任務があります。そのためには、常に部隊の先頭に立ち、気力と体力の錬磨に励み、職務執行に全力投球をしていきたいと思

機 動 隊 か ら の た よ り

悪条件下での実戦的潜水集中訓練

愛知県警察機動隊

愛知県警察機動隊では、機動別部隊のひとつである潜水部隊の出動要請が年々増加するなど、その活動がより期待されていることから、同部隊の一層の強化を図るため、三日間にわたり県下にある三好池で潜水集中訓練を実施した。名古屋港をはじめとする県下の主要な港、川及び池の多くは、ヘドロが堆積したり視界もゼロに近く、また過去の出動もすべてそのような悪条件下で実施されてきた事実があるため、視界ほぼゼロ、水深一〇メートルと実際の現場と同様の条件を満たしている三好池を選定して実戦的に行なった。

三日間にわたって、入水法、潜行浮上、捜索訓練等を実施した。なかには、初めて暗黒の水の中を潜る隊員もいたが、指導員がマンツーマンで指導及び見失い等の事故防止に努め、悪条件下における潜水の知識、技術を向上することができた。

同隊潜水部隊は、今年に入り、川及び池において証拠品及び行方不明者の捜索を実施したが、いずれも厳寒期であり、また、視界ゼロという最悪の条件にもかかわらず、日頃の訓練成果とチームワークにより、いずれも発見することができたが、潜水活動は、一歩間違えば生命にかかわる重大な結果を招くことがある。今回の訓点を巡じて、いかなる現場においても、しゅん巡することなく、的確に活動することができるよう、今後も県民の期待と信頼に著実に応えるべく、専門的知識や、技術を兼ね備えたスペシャリストをめざし、あらゆる条件下での訓練に励んでいくつもりである。



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|------|----------|--------|---------|----|---------|---------|----------|-------------|---------|-----------|-------|-------|-------|--------|-----------|-------------|---------|-------|-----------|---------|----------|
| 若さと伝統 | 頑張れ機動隊 | 鈴木 実 | 青山特殊鋼(株) | 鈴エース電研 | 大野興業(株) | 岡部 | 関東銑鐵(株) | 草野産業(株) | 高周波熱錬(株) | (株)スチールセンター | 小川運輸(株) | 平和農産工業(株) | 西野 公庸 | 橋山 和正 | 浅田 隆司 | 竹之上 誠剛 | 東海鋼材工業(株) | 東海レベラー鋼業(株) | 日鐵物流(株) | 丸橋 哲彦 | 南部建材工業(株) | 早達運送(株) | 北越メタル(株) |
|-------|--------|------|----------|--------|---------|----|---------|---------|----------|-------------|---------|-----------|-------|-------|-------|--------|-----------|-------------|---------|-------|-----------|---------|----------|

読者の広場



アジア危機と留学生



岡谷 篤一
(理事・名古屋支部)

昨年七月のタイバット切下げ以降のアジア経済危機は様々な影響を与えているが、我国への課題も多い。

経済活動の停止に近いバンコク・ソウルでは車の利用は激減し、市内の交通渋滞は大きく緩和された。バンコクのビル建築ラッシュも一時中断しているし、ソウルのデパートでは金製品買上げコーナーもあり、危機感が実感出来る。

旅行者にとって商魂逞しいホテルや土産物屋の為替差損の発生しないドル価格表示は魅力がないが、市民生活に入つてのショッピングや食事は半値以下の安さを感じられて、観光ツアーは増加傾向にあるとも聞く。

一方アジア各国から我国への留学生は旅行者と立場は全く逆であり、自国通貨換算で授業料や生活費負担は倍額以上となり、厳しい日本での生活環境が想像される。

アジア各国からの国際化時代の我国に対する最も重要な期待は人材育成の協力であつて、帰国留学生が各国発展の中心的人材として活躍しているし、将来我国と母国との強固な友好関係作りに大きな役割を果たしてくれると思うが、現役留学生は厳しい現実と直面している。

我国大学への留学生は、平成八年度統計にて、五万三千人である。出身国別では中国二

万三千人(四十四%)・韓国一万二千人(二十二%)が多数を占めているが、マレーシア・インドネシア・タイ等よりも一千人から二千人規模の留学生が来日している。地域別には東京二万九千人、近畿八千人そして中部六千人の各地区で八十二%を占める。

アジア危機に対応して我国政府よりの金融面での支援は引き続いているが、留学生への奨学金制度の拡大として充実に早期実現を望みたいし、アジア情勢は今や世界の注目を浴びており我国としても自国経済の再生とともに世界との共生に向けての真剣な議論をすべき時代を迎えていると思う。

故郷(ふるさと)は地球です



金子 凱弘
(名古屋支部)

日本中不景気な話ばかりの昨今ながら、スポーツや音楽の世界では、心を明るく又胸を打つ思いをさせられることがままあります。

今年のスポーツでまだ記憶に新しいのが、長野五輪、日本人選手の大活躍など、彼等の努力に努力を重ねた上での屈託ない笑顔や、勝利の感涙はストレートで、見る側の私達にも、スポーツの素晴らしさをしっかりと見せつけてくれました。

二月二十二日、午後七時三十分長野五輪の閉会式、フィナーレで司会の萩本欽一さんが語りかけます「いよいよ聖火が消えます」「聖火が消えたら『故郷(ふるさと)』と一緒に歌いましょう。故郷、い

い言葉です。ねえ。」「あの高い上空から地球を見た、ある宇宙飛行士がこう言いました。最初の日か二日は、みんなが自分の国を指さしていた。三日目、四日目は、それぞれ自分の大陸を指さした。しかし五日目になると、私たちの念頭にはたった一つの地球しかなかった。：そうで

す、私たちの故郷は、地球なのです。この故郷がいつまでも平和でありますように祈りをこめて、『故郷』を歌いましょう。」「うさぎ追ひし かの山、こぶな釣りし かの川：夢は今もめぐりて 忘れがたき 故郷」「いかにいます父母 つつがなしや友がき 雨に風につけても 思いつづる故郷」

世界中に発せられたこの歌、世界の愛唱歌になつても決しておかしくない名曲でしょう。

作詩 高野辰之、作曲 岡野貞一、この二人のコンビは他に『春が来た』『紅葉』『春の小川』などなかなかの唱歌がありま

す。世界中の人々に感動と喜びを与えたこの大会、また平和で安全な日本を印象づけた大会でもありました。「もう一つ金メダルをおまわりさん達にあげたい」と言つたという長野の人達、二月末には最後の選手団が、名古屋空港からそれぞれの故郷へ帰国の途についた由、隊員の皆さんに守られて、つつがなく……。

お知らせ

◎五月二十五日(月) 午後六時より、札幌市中央区南十条西「札幌パークホテル」において北海道支部総会を開催致します。

◎六月十一日(木) 午後五時より、東京都港区元赤坂「明治記念館」において第二十五回通常総会を開催致します。

◎六月二十三日(火) 午後六時より、広島市中区加古町「広島厚生年金会館」において中国支部総会を開催致します。

◎七月二十二日(水) 午後五時三十分より、千葉市中央区千葉港「ホテルニューカモト」において千葉支部総会を開催致します。皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

機動隊ホームページへようこそ

大阪府警察第三機動隊

当隊は、日本で初めての二十四時間空港である「関西国際空港」の護りの要として、平成三年十二月に大阪府警察の三つ目の機動隊として発隊した。隊舎は、空港の対岸に位置して、常に空港の動きににらみを利かせながら、ハイジャック等突発事案対策や要人の身辺警護等の任務に当たっている。

我が隊には、海岸線の警戒を充実強化することを目的として、水上バイク隊(通称「スキップパーズ」)が設置されており、各中隊から選抜された精鋭達により編成されている。これは、海上空港の警備を担う機動隊ならではの特徴と言える。

発隊以来、空港の護りのほか、重要防護対象の警戒等の恒常警戒に当たる一方で、阪神・淡路大震災に伴う災害警備、APEC警備などにおいて数々の功績を収めるとともに、昨年は「国民体育大会」の開催と天皇皇后両陛下の行幸啓に伴う警備警備等を完遂するなど、隊の歴史に輝かしいページを加

警視庁第四機動隊

一 誕生と生い立ち

警視庁第四機動隊は、昭和二十四年三月「警視庁予備隊西部区隊」として発足した。同年七月、新宿区上落合一丁目の庁舎竣工に伴い第一歩を踏み出し、以後、機構改革により「第四方面予備隊」(昭和二十五年)、「第四方面隊」(昭和二十七年)と名称を改めつつ発展し、昭和三十三年四月に現在の「第四機動隊」と改称され、第一次安保闘争の翌年の昭和三十三年三月に市ヶ谷台の庁舎に移転した。

二 隊舎のあらまし

昭和六十三年十一月、国の防災拠点である立川防災基地内に現庁舎が移転し、現在は第三代金井隊長を中心に首都の治安維持に当たっている。南西に位置する国営昭和記念公園の森からは、四季折々の景観を目で、肌で、そして

え続けている。このような勤務の合間をぬって、サッカー・トライアスロン・野球・ラグビーのクラブ活動にも積極的に取り組んでおり、職域・地域リーグ等で好成績を残し、地域に溶け込んだ活動にも取り組んでいる。

隊訓は「飛躍」、活動指針は「スピード・スマート・ストロング」で、隊員は、平素から「今、何をしなければならぬか」を自問自答し、訓練や自己研鑽に励み、シンボルマークの「PHOENIX」のごとく、炎のように燃える機動隊員たらんと顔に汗を流している。



香りを感じることができ、秩父連峰の彼方に霊峰富士の雄姿を鮮明に拝むことができる絶好の環境下にある。

三 シンボルマーク

当隊のシンボルマークは、アラビア数字の「四」を、当隊のシンボルカラーである緑色で象形化したものである。中心の三角形の柱は、ニッケル「鬼の四機」の鬼の角を象徴し、鬼の強さ、隊訓の「剛健」を表わしている。中心の柱を両側からえる弧は、強さを支える両腕で、左側は隊訓の「誠実」を、右側は「機敏」を表す。円周全体は、融和団結と秩序、安全を願望するものとしてデザインされている。



警視庁第四機動隊
シンボルマーク

今月の言葉

今年二月七日より十六日間、長野県において第十八回オリンピック冬季競技大会が開催された。特に日本選手の活躍が目立ち、ジャンプ競技で団体戦の「金」の獲得には、選手達は勿論のことテレビ観戦の国民と皆涙を流して感激にひたりました。

全国から機動隊員等の特別派遣された隊員の人達の万全の警戒警備の為、大きな混乱もなく無事閉会式を迎える事が出来たのも隊員の方々のご苦労に對して心から感謝申し上げたいと思います。

青少年を憂う

扱て最近の世相も不況と共に暗く政治経済や特に青少年の犯罪が増加している現状で誠に憂慮すべき問題であると思います。幼時よりの家庭の躾、家族も学校も社会人もマスコミと共に真剣に対応を考えなく

ては。今の子供達は父や母、祖父、祖母、また歴史上の人について興味が無いのか。私は日本経済新聞の読者ですが、特に「私の履歴書」に興味をもち毎日読んでいますが「連載」が始まったのは昭和三十一年三月一日付からだったそうです。



(理事・北海道支部長 藤光 正治)

はどう決断したとか、生い立ちや両親についてまた一番悩んだこと、嬉しかったこと、歩んできた「道のり」の中の面白いエピソードが披露されています。今荒廃した世相の中で若年層の精神構造

年三月一日付からだったそうです。今日迄官界、政界、財界、スポーツ、芸術、作家等名をなした人達が、一ヶ月間にわたって誕生から晩年の人生を、特に人格形成上について或るいは曲が角で「私の中でどの様な感覚を持っているか。小学校から父母に対する尊敬の念、他人に迷惑をかけるなど「修身教育」に重点指導を徹底して明るい社会、楽しい学校作りの為の根本的問題を考える必要がある、

五月二十五日で創設五十周年を迎えた警視庁機動隊の「創設五十周年記念式典」がさる五月十八日(月)午後三時から東京都千代田区の日比谷公会堂において盛大に挙行された。記念式典には、那須国家公安委員会委員長代理、青島東京都知事、河野東京都公安委員会委員長や関口警察庁長官をはじめとする警察幹部等多数の来賓が出席して半世紀の節目を祝った。式典では、これまでに警備事案で殉職された西條巡査部長、内田警視、高

見警部(当時)に黙とうをささげ前田警視總監が「困難に処して屈せず、正義のために身を挺してやまない」という警視庁機動隊の精神を脈々と受け継ぎ首都の治安維持の砦として、先訓に学びつつ、来るべき新しい時代を見据えて、今後もたゆまぬ研鑽を重ね、都民及び国民の信頼と期待に応えていかなければならない」と述べられた。つぎに来賓祝辞では、国家公安委員会委員長(代読)、関口警察庁長官、青

戦後の歩みと共に、日本の治安を守るべく 祝警視庁機動隊創設50周年



▲50周年記念観開式(平成10年6月)

警察法施行3周年記念観開式(昭和26年)

五十周年記念式典

昭和二十三年五月二十五日に創設された警視庁機動隊は、今年、五十周年を迎えることとなりました。半世紀もの永きにわたり、「治安の最後の砦」としてあらゆる困難にも立ち向かい、日本の治安を守ってきた警視庁機動隊。その記念すべき節目の年にあたり、記念行事の数々がとり行われました。



鳥東京都知事、前鳥東京都議会副議長、河野東京都公安委員会委員長がこれまでの活動に対する謝辞とお祝いの言葉をそれぞれ述べられた。

また、機動隊員等を励ます会(代表佐々木理事長)に、これまでの機動隊等への永年にわたる支援活動および協力に對して警視總監感謝状が贈呈された。

続いて行われた式典第二部では記録映画の上映および警視庁音楽隊による記念コンサートが行われ、五十周年を記念して作曲家團伊玖磨氏が作曲し、前田警視總監が「希望のあしおと」と名付けた行進曲が團氏の指揮で披露され式典に花を添えた。

式典終了後には、第一ホテル東京において機動隊員等を励ます会主催の祝賀会が行われ、下稲葉法務大臣等、多数の来賓の出席をいただき盛大に執り行われた。



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

警視庁機動隊創設五十周年記念観閲式



てありませんでした。思い起こせば、メーデーや安保闘争に明け暮れた昭和中期。学園紛争や極左暴力集団によるテロ、ゲリラ対策に追われたのもこの頃でありました。中でもあのあさま山荘事件は、我々の脳裏に鮮明な記憶として焼きついております。

また、国際化が進むにつれ、外国人犯罪や要人警護等の経験が増え、昭和天皇の大喪の礼のような警衛警備も体験し、「治安の最後の砦」としての意識をますます強めて参りました。

その一方で、大きな犠牲があったことも忘れてはなりません。我々は、治安維持に邁進した諸先輩方の流した多くの血と汗と涙、そして五十年の歴史を通して脈々と培われてきた不撓不屈の精神とをこれからも継承していかねければなりません。

二十一世紀を前にして、今後益々厳しい社会情勢となることが予想されます。近年は、阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件など、国民が大きな不安を感じるような事件が多発している他、長びく不況による経済不安から生まれる犯罪、来日外国人犯罪、成田新ガイドライン反対を唱える右翼団体等のテロ活動などからも目が離せません。

そうした中、我々機動隊の責任が益々重くなることは必須であります。これらを肝に命じ、今後とも、国民・都民の期待に応える強く逞しい機動隊として、職務に邁進されることを切に希望致します。同時にご来場の皆さまの今後益々のご支援、ご協力をお願い致します。」と挨拶された。

また、来賓として関口警察庁長官は、「内外情勢が多く流動的・不安定な要

素を抱え、予断を許さない情勢が続くと予想されるので、重大突発事案に即応体制の確立が求められるとして集団警備力の確保とともに機能別部隊が必要である。」と挨拶されました。

続く第二部は各隊の精鋭が集い、日頃の訓練の成果を発表する場となった。

音楽隊とカラーガードによる華麗な演奏や凶悪犯に立ち向かう警備犬の訓練、また白バイ隊のアクロバットの演習、人間ピラミッドの演技には、見学者から大きな歓声があがっていた。

この他倒壊民家からの人命救助、人質救出作戦、ビルの屋上からの脱出、ヘリコプターによる人命救助などが行われ、



臨場感溢れる訓練の様子が固唾を飲んで見守られた。

会場にはこの他に警視庁機動隊五十年の歩みを記録したパネルや実際の防護服や車両が展示され、盛大で厳肅な中にも日頃の機動隊員の鍛錬の賜物が随所に感じられる会となった。

第二十五回通常総会

並びに懇親会開催

さる六月十一日、明治記念館において「第二十五回通常総会並びに懇親会」が盛大に行われた。

総会は、会員の方々多数の臨席のもと、佐々木理事長挨拶で始まった。その後、理事長の議長により平成九年度事業報告

および収支決算承認の件、そして、平成十年度事業計画案および収支予算案承認の件と二つの議案が満場一致で承認され、議事は全て滞りなく終了した。その後、会場を移しての懇親会に移った。多数の会員が温かい拍手で迎え

さる五月三十日、警視庁機動隊創設五十周年記念観閲式が東京都晴海埠頭の特設会場において盛大に挙行された。

当日は時折雨のばらつくあいにくの天気となったが、機動隊員の雄姿を一目見ようと、関係者、一般市民および隊員の家族など多数詰め掛け、例年以上の盛大な式典となった。式次第は、第一部の観閲式と第二部のアトラクションの二部構成となっており、五十周年を祝うに相応しい様々な催しで観客席をにぎわした。

まず第一部として開式宣言の後、前田警視總監による部隊査閲、続いて隊員による勇ましい分列行進が行われ、「出動の歌」を朗々と歌いあげて閉式となった。

機能別部隊に分かれ、これに一八頭の警察犬部隊、特科車兩隊、交通機動隊、自動車警ら隊など二二〇台の車両部隊、八頭の騎馬隊、一〇機の航空隊が加わり、威風堂々の行進が華やかに行われ、招待者、一般都民約四、〇〇〇名の観覧者は盛大な歓声と拍手で迎えておりました。

この中で、観閲官訓示として前田警視總監が

「本日は、機動隊諸君の凛々しくも力強い姿を目の当たりにし、非常に心強く、また頼もしく感じている次第であります。

警視庁機動隊は昭和二十三年五月二十五日、警視庁予備隊として発足し、本年度創設五十年を数えます。その間、安寧として過ごしてきた年は一度とし



社団法人 機動隊員等を励ます会
第25回(平成10年度)通常総会懇親会

その後、警察庁長官関口祐弘殿より、「本年の長野オリンピックは大成功をおさめた。」「その陰には全国機動隊の活躍があったから」と確信しております。今後ますます国際化が進むなかで、機動隊の諸君には第一線としてどうか如何なる事態においても、それを乗り切る精神力・体力で立ち向かってもらいたい。また、励ます会の方々は、機動隊の支えとして相も変わらずのご支援を賜りたく存じます。」との温かい感謝の言葉が述べられた。

次に、警視総監前田健治殿より、「警視庁機動隊創設五十周年の節目にあたり、数々の行事が多くの市民の見守るなかで盛大に行われ、そして都民の皆さまに対し頼もしい機動隊と認めていただいたことを嬉しく思う次第であります。幾多の重要警備を機動力で立ち向かっていった機動隊は、まさに戦後日本の歴史の縮図であると言われています。日本の一番の誇りである治安の良さを今後守りぬき「治安の最後の砦」「集団警備の要」として一層の努力で邁進してもらいたい。」との隊員への力強い激励が述べられた。

その後、木村政次副理事長の乾杯の音頭でなごやかな歓談に移った。途中、全国優秀機動隊員受賞

第二十回北海道支部総会が、さる五月二十五日（月）午後六時より、札幌パークホテルにおいて開催された。

北海道警察本部からは、遠藤本部長殿をはじめ機動隊員一〇名を含む約一二〇名の出席をいただき、励ます会からは約二八〇名が出席、総勢四〇〇名の大盛会となった。

第二十回総会に際し、遠藤本部長殿より機動隊員等を励ます会北海道支部に対して感謝状贈呈が行われた後、藤光支部長の挨拶で開会、来賓としてご出席いただいた西村北海道副知事殿および伊藤札幌市収入役殿より、地域の安全のために



遠藤北海道警察本部長殿



西村北海道副知事殿



伊藤札幌市収入役殿



佐藤新日鐵(株)室蘭製鐵所長殿

尽くされる警察・機動隊の働きに感謝と期待が込められたご挨拶をいただいた。

遠藤本部長殿からは、励ます会へのお礼と、今後の機動隊活動に関する自信に満ちた決意表明が具体的な事例を交えて行われ、佐藤新日鐵(株)室蘭製鐵所長の乾杯で開宴となった。

今回から新しい企画として取り入れたクイズ形式のゲームでは、隊員・会員のペアが各テーブル代表として壇上に上がり、主に機動隊に関する問題に挑戦、自分達の代表の戦いぶりに会場からもため息や拍手、歓声などがあがるなど、ステージ、会場一体となって楽しんだ。途中、



道警初の婦人機動隊員である畠中隊員、今年の全国優秀機動隊員として表彰された鈴木・相崎両隊員のご紹介もあり、会場から大きな激励の拍手が送られた。

引き続き、若い隊員の方の強いご要望で、昨年までのカラオケ大会に替えて「ものまねトークショー」を実施、短い時間ではあったが、多彩な芸に会場は笑いの渦につつまれた。

最後に、明星機動隊長の謝辞に続き、小紋理事の万歳三唱をもって会は滞りなく終了した。

るなか、警視庁十個隊の若き精鋭たちが四機グリーン・フラックスの演奏にのせて入場し、さらに来賓として、警察庁長官関口祐弘殿、警視総監前田健治殿、関東管区警察局長渡邊泉郎殿が入場され、いよいよ開会となった。

まず、佐々木理事長より、「グローバル化の流れの中で、これまでの日本の様々なシステムが改革を余儀なくされる昨今、我が国は一つの価値観をしつかりもち、新しい日本を築くことが重要となります。その価値観の中には日本の良き秩序があり、その背後には機動隊の皆さまの見本としての姿があります。今後、我々励ます会においても治安の一部を担う気持ちで出来るかぎりの支援をする次第であります。」との挨拶があった。

続いて、警察庁長官より、新日本製鐵株式会社社長の社長に就任された顧問千速晃氏に対して感謝状が授与された。つぎに会の功労者五名に対して、理事長より感謝状が贈られた。



警察庁長官
関口祐弘殿



警視総監
前田健治殿

者代表として五名が壇上に上がり、代表で第一機動隊押尾透殿が謝辞を述べられ、さらに第四機動隊福山悦朗殿が当会へのお礼の言葉を述べられた。その後、猪熊副理事長の万歳三唱で中締めとなった。

その後もなごやかな宴は止まることなく、伊藤警備部長より当会事務局へ日頃の感謝の言葉を述べられ、さらに警備部長を各機動隊員が囲み、「この世を花にするために」を全員肩組んでの大熱唱となり会場は最高潮に達した。隊員と会員の厚き絆がより一層強められ、大盛況の懇親会は静かに幕を閉じた。



関口長官から千速顧問へ感謝状の贈呈

お知らせ

◎七月二十二日（水）午後五時三十分より、千葉市中央区千葉港「ホテルニューカモト」において千葉支部総会を開催致します。

☎〇四三二一四三二一 一一一 皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。



〈今月のテーマ〉

新隊員の決意表明



警視庁第一機動隊
板橋 克己

私が機動隊に入隊して約二週間が経ち、まだ仕事については右も左も分かりませんが、これから機動隊勤務の流れを早く理解して、先輩から指示される前に行動できるような新隊員になりたいと思っています。

機動隊は署と違って若い者の割合が圧倒的に多く、そのため、誰もが自分と近い年代の中で各種資格や技能の習得に積極的に取り組んでいるイメージがあります。私も先輩方を見習い、また同期達とも助け合いながら、目標を持って機動隊生活を送っていきたくと思っています。私が機動隊に異動するに当たって考えていたことは、大型免許の取得でした。このことを一つの目標にして、機動隊での異動の励みにしたいと思っています。

機動隊の勤務は、署でやっていた仕事とは違いが多く、何かと戸惑うことも多くあります。しかし、一つ一つを確実に理解し、どんな状況にも対応できるよう機動隊員になりたいのです。

私の機動隊生活は始まったばかりで、何をやるにしてもこれからですが、機動隊の生活の中で一つでも多くのことを吸収し、学んで行きたいと思っています。

機動隊に着隊したからには、これからの警察人生に役に立つような知識や技能を習得し、実りのある機動隊生活を送り、機動隊で知り合った先輩や同期生との絆も大切にして、今後の警察人生の貴重な

財産にして行きたいと思っています。



警視庁第二機動隊
高橋 淳治

平成十年四月二十三日、念願の機動隊員として第二機動隊へ着隊することが出来ました。

不安と期待の入り混じった気持ちの中で、着隊同期の仲間と共に実施した新隊員訓練では機動隊員としての心構え、忍耐力等、多くのことを上司・先輩方から教えて頂きました。

新隊員訓練期間中に行われた柔道試合では、目標にしていた優勝を成し遂げることもでき、心の中のアルパムに素晴らしい思い出のページを残すことが出来たと思っています。

現在私は、機動隊の力の象徴とも言える武道小隊員として、日夜厳しい稽古に励んでいます。素晴らしい先生、先輩方や同期の仲間を支えられ、充実した毎日を送っています。

私は、機動隊員として大きな目標が二つあります。一つは、署課隊対抗機動隊試合に代表選手として出場し、第二機動隊の優勝に貢献すること。もう一つは、柔道の助教になり、逞しい警察官を一人でも多くこの手で育成したいということです。

今の私は、目標に向かってその一歩を踏み出したばかりの機動隊員の卵ですが、幼い頃からずっと続けてきた柔道を活かして、いつの日か必ず、大空高く、大きくはばたく大鷲になることを心に誓い、日々努力を惜しまぬ覚悟です。



警視庁第三機動隊
柊 龍夫

「お客さんじゃないんだ」

初っ端から先輩のゲキが飛んだ。私は、この春、第三機動隊に着隊しましたが、緊張と戸惑い、不安な気持ちで一杯の入隊でした。

しかし、着隊してみるとそんな不安を感じず、先輩の指導が始まり、機動隊員としての心構えを身をもって体験することができました。そして中隊命免、慣れない環境は、戸惑うことはあり、先輩方についていくのがやっとの日々です。

そのような中であって、私は機動隊の責任の重さ、厳しさ、そして何より自分も隊員の一人だという誇りを強く感じています。

隊生活では先輩方の生き生きとした表情、ハツラツと勤務に取り組む姿勢を見て、一日も早く先輩に追いつきたいという気持ちが強くなってきています。

しかし、機動隊勤務は決して平坦な道ばかりではありません。最初に述べたとおり、私は「お客さん」ではなく、機動隊員として着隊した以上甘えは許されません。時には厳しく感じる時もありますが、それ以上に得難い体験ができるのも機動隊であると思っています。

私は、機動隊員としての第一歩を踏み出したばかりですが、機動隊という舞台を通して私自身で成長できるか、自分を試すつもりでこれからの仕事に精一杯ぶつかっていきたく。



警視庁第四機動隊
齋藤 浩一

転勤当日、上司の方々から「機動隊に行くからには、何かしつかりとした目標をもつて行きなさい」とアドバイスを受けました。

機動隊という未知の世界に身を投じ、不安と期待の中で、私は、次の目標を持つて、隊生活を送りたいと考えます。

それは、巡査部長昇任試験に必ずや合格することです。

機動隊は、同世代の良きライバルが多数おられます。このような環境と勉学の機会に恵まれた機動隊の一員になったことは光栄であり、自らを戒め、「在隊中に何としても昇任する」と決意しております。この目標を達成するための原動力となるものが、一週間の新隊員訓練でありました。

顔も名前も知らない者同志が共に汗をかき、声を掛け合い、励まし合う姿は、警察学校時代を彷彿させ、身の引き締まる思いでした。特に、最終日の警備部長査問は、新隊員の一致団結の下、厳しい訓練の成果が形となって現われ、素晴らしい出来映えでした。

この思い出は一生忘れるものでなく、まさに防弾楯の重さを感じるたび、初心を顧みる「原点」になるうかと思えます。学生時代の恩師に、「人は忘れる生き物である」と言われたことがあります。私は第四機動隊にいた証をつくるため、心の奥に深く目標を刻み込ませ、後悔のない日々を送りたい。

そして暗れの隊退の日には、巡査部長として胸を張って正門を出られるよう決意を新たにしました。



警視庁第五機動隊
岡 禎文

私は、四月二十三日付で第五機動隊勤務を命ぜられた。

新隊員訓練では警備部長査問に向け、技術係の熱心な指導の下、新隊員全員が一丸となり最高の評価を得る為に頑張り、そして、一日でも早く機動隊の仕事に覚える様に努めている。

私は、第五機動隊に着任するにあたって三つの目標を立ててきた。まず第一に昇任試験合格である。五機は、「学五機」と言われるように昇任試験対策が充実しているため、今まで自分に不足していた部分を補い、必ず試験に合格し、自分の可能性を広げたい。第二に大型運転免許

をはじめとする各種資格の取得である。機動隊ではレスキュー、警備広報、警備無線などの資格が所轄より取得しやすいと聞いていたが、着任して先輩の訓練に取り組みの様子を目の当たりにし、その通りだと実感した。この機会を活かし、いろいろな資格取得に挑戦したい。

最後は幅広い人間関係を構築することである。着隊同期はもちろんであるが、良き上司、先輩方に出会い、仕事や私生活を通して一生付き合える様な人間関係を築いていきたい。また、先輩方の仕事ぶりを見習い、一日でも早く一人前の機動隊員となる様に日々努力していく覚悟である。

厳しく苦しい新隊員訓練を終え、私も暗れて機動隊の一員となる事ができました。しかし、訓練中に痛感したのは個人装備、大楯の重さです。訓練中に完全装備で大楯を頭に構えたところ、情けないことに三〇秒もしないうちに手が震えはじめ、満足に支えることができませんでした。こんなことでは治安を守るどころか自分の体すら満足に守ることもできません。機動隊員として恥ずかしい体力を身につけるため、柔道の早期練習には必ず出席し、走り込みを継続的に実施していこうと思います。

また、機動隊は昇任試験の合格率が低いと聞いています。今は勉強方法もよくわからない私ですが、上司、先輩方の指導を受け、「巡査部長昇任試験合格」を目指して、先ず机に向かって本を開くことから始めていきたいと思います。

私は、体力の向上と昇任試験合格を目標として定め、この二つの目標を在隊中に達成し、胸を張って「私も、機動隊の一員です」と言えるようになりたい。



警視庁第六機動隊
大矢 悦朗



警視庁第七機動隊 高見 敬一

私は、「レンジャー部隊」に憧れて、第七機動隊勤務を強く希望していましたが、四月二十三日、その希望は見事にかないました。機動隊生活のことは、上司や先輩からいろいろ話を聞いていたため、ある程度判っているつもりでしたが、実際に着隊してみると右も左も判らず戸惑うことが多かったです。

初めての着隊で感じたことは、まず、「活気に充ち溢れている」ということでした。特に、基幹隊員の「力強さ」「機敏な動き」そして何となく「誇り」をもっている仕事をしている一姿に大変感動を覚え、機動隊にきて本当に良かったと思っております。しかし、反面、先輩方が今日まで築き上げてきた第七機動隊の良き伝統を基幹隊員として確実に受け継ぎ、そして後輩に引き継いでいけるだろうか、という大きな不安も感じました。

私は、新隊員として、元氣凜冽とした行動で何事にも前向きに一生懸命に取り組む、一日でも早く一人前の機動隊員として活躍できるように、隊訓である「情熱・英知・創造」を肝に銘じ、各種訓練を始め勉学や自己研鑽等に励んでいきたいと思っております。

そして、自ら希望した機動隊生活が、これからの私の警察人生にとって大きくはばたきかけとなるよう「チャレンジ精神」をもって頑張っていく決意です。



警視庁第八機動隊 藍澤 勝

私は、夢と希望を持って第八機動隊に着隊しました。私は、常日頃から自己の能力向上を胸に日々の勤務を行っておりますが、着隊にあたり、私は次の二点を約束します。

まず一点目は、巡査部長昇任試験の合格についてです。

昇任して上の階級になれば、今以上の広い視野で警察事象を見渡す事ができ、より幅広い考えで仕事ができるのではないかの考えから、昇任試験対策に取り組んでいます。是非、在隊期間中に昇任試験に合格し、警視庁の幹部として将来の警視庁を支える存在になりたいと思っております。

二点目は、駅伝選手として頑張りたいことです。

私にとって駅伝は、自己の体力と精神力を鍛えられる最高の競技だと思っております。私は、前任署で二年間駅伝特練員をしてきましたが、怪我に泣かされ思うような活躍をする事が出来ませんでした。その悔しさをバネに、精進を重ね、ここ第八機動隊の選手として先輩ヘタスキを渡すことができるよう、日々頑張りたいと思っております。

以上、決意を述べさせて頂きましたが、これら夢と希望を実現するためにも、日々、努力精進していくつもりです。



警視庁第九機動隊 渡邊 誠

実務十六年目にして今回初めて、機動隊勤務を経験することになった。

着隊するまで、正直、不安でいっぱいだった。特種経験はあるものの、やはり精神的には全く違うものであった。どうにか新隊員訓練を乗り切り、安堵の胸を撫で下ろし、やっていける自信が湧いてきた。思ひ起こせば二年前の巡査部長昇任試験の一次試験会場が九機で実施され、この時初めて九機の門を潜った。そして、一次試験に合格し、二次試験の論文も当時の第一中隊長にアドバイスをを受け、その結果、二次試験に合格、最終的に巡査部長に昇任することができた。

今回の着隊は、私にとって九機への恩返しと思っている。自分自身の警部補昇任もさることながら、隊員を必ず巡査部長に昇任させてみせる。また、水難救助隊分隊長に任命されたことで、水難技術向上に向け日々努力し、各種技能試験に挑戦していきたい。とにかく心機一転、治安のプロを目指し、若い隊員と共に汗をかき、悔いのない機動隊生活を送りたいというのが私の決意である。



警視庁特科車隊 中田 秀成

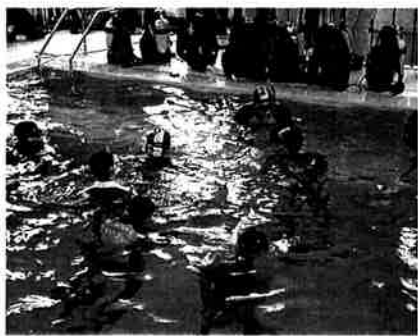
機動隊に異動するにあたって、まず感じたのは、「不安」でした。もちろん二年間という短い期間で地域係の仕事をするマスタートラックはありませんが、ある程度色々な扱いをこなせる様になってきたところで異動になり、正直言って期待よりも不安ばかりが頭の中を駆けめぐっていました。

しかし、着隊して先輩方の話を聞いたりして、新隊員訓練を通じていろいろと指導を受けていくうちに、その不安が間違いであったことに気付きました。同じ警察の仕事である以上、基本は一緒なのです。その基本をふまえた上で、機動隊員として適正な職務が出来る様になるために今、何が 필요한のか、何をしなければならぬのかを考えてみました。まず、正しい知識を身に付けるという事です。

日々変化する社会情勢は常に頭の中に入れておかなければいけません。また、私達の仕事の根拠となるのは法律です。法令の正しい知識を身に付けていなければならない。分からない事は分からないままにしないで細かくところまでよく聞いて、一つ一つの仕事を確実に覚え、早く先の先を考える仕事が出来るように努力します。

機動隊の活動の基本は部隊活動です。その中で一番大切なのはチームワークなのです。先輩、そして、同じ新隊員同志のきずなを大切に、これからの機動隊生活で自分を一回り大きく出来るよう、毎日努力していくつもりです。

機 動 隊 か ら の た よ り



潜水訓練槽で技術向上を図る

滋賀県警察機動隊

平成九年七月、当隊水難救助部隊待望の潜水訓練槽が完成した。

日本一の湖、琵琶湖を抱える滋賀県では、京阪神方面から遊泳客やプレジャーボート等で賑わいを見せる反面、年々、水難事故や船舶事故等が増加している。

更に、犯罪の証拠品等が投棄隠滅されるなど、警察活動の中で、機動隊水難救助部隊に寄せられる期待は非常に大きい。

一歩間違えば重大事故につながるスクーバ潜水活動。現場で安全確実に作業を行うためには、基礎訓練を徹底して行い、如何なる事態になろうとも冷静沈着に対処する強い精神力と強靱な体力が要求される。

当隊水難救助部隊はけん銃特別訓練員として活躍している積巡査部長を中心に十二名で編成されており、完成した訓練槽をフルに活用して訓練に励み、技術の向上を図るとともに、有事に備えている。

隊員一同が「狙った獲物は逃がさない」をモットーに、日本一の琵琶湖をはじめ、河川での潜水活動に万全を期している。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|-----------|----------|-----------|----------|------------|----------|--------------|-----------|----------|----------|---------|---------|----------|----------|--------------|----------------|---------|----------|----------|----------|------|
| 治安の砦 | 信頼の機動隊 | (株) エース電研 | 栗田工業 (株) | 高周波熱錬 (株) | (株) 三榮商會 | 山陽特殊製鋼 (株) | 大洋製鋼 (株) | (株) 日鐵流通センター | (株) 上野百貨店 | 大東港運 (株) | 姫田清美 (株) | 国見山 (株) | (株) クボタ | 岡谷鋼機 (株) | 豊田通商 (株) | 太陽シャーリング (株) | 広島シャーリング工業 (株) | (株) 辻さく | 藤田金屬 (株) | 自見産業 (株) | 北海鋼機 (株) | 東北支部 |
|------|--------|-----------|----------|-----------|----------|------------|----------|--------------|-----------|----------|----------|---------|---------|----------|----------|--------------|----------------|---------|----------|----------|----------|------|
- (社) 機動隊員等を励ます会

読者の広場



古道歩き



柳田 敬介
(理事・東京本部)

ときどき「古道歩き」にでかける。
明治十一年に東北地方を旅した英国人女性、イサベラ・バードの足跡をたどってみよう、と思ったのがきっかけだ。山形県南部のJR米坂線と並行に山の中をいく道や、裏磐梯の檜原湖の北端から米沢側へこえる道、青森、秋田の県境の矢立峠などを歩いてみた。

米坂線と国道一二三号線とは、ともに川に沿っているが、むかし道はすしし山に入ったところをつぎに尾根をこえ、谷を横切って通じている。クルマのおられる道ではない。それだけに、古道のおもむきがあり、踏みあととしっかりしているところはハイキング気分である。しかし、頼みの地図が必ずしもあてにならない。

ある谷の村で住民に、「このあたりから山越えて向こうの部落までいく道があるとおもいますか」とたずねると、若い人は「さあ」とげげんな顔。横から年配の人が、「昭和四十三年の水害で道路が不通になったときに、この裏山をこえて食糧などを運んだんだ。けど、そのあとはだれもおっていないんでねしか」とのこと。えい、ままよ、と山道にふみこんでみると、とちゅうで道が数かわらなくなり、ついに迷ってしまった。

当つてすすんでいくと、どうにか道らしきところに戻った。「古道歩き」とは、こんな調子である。

古道も、そのほとんどが拡幅舗装されて、クルマのおられるりっぱな道路になっている。そんな道は古道ともいえないし、排気ガスを吸いながら歩くのはまっぴらだ。車道になっていない古道というと、それは山道だが、山村もクルマ社会となり、たきぎ拾いにもいかぬ生活となつて久しく、山道はいまや荒廃している。だからときに、やぶごも覚悟しなければならぬ。しかし「むかし参勤交代のおつた道」などといって、観光遊歩道のように整備してある道も風情がない。このあたりがむずかしいところだ。

このような条件にかなうルートをさがすが「古道歩き」のいちばんの苦労といえる。地図をながめて思案しているのは楽しい時間である。

迷老の記



滋岡 長平
(東京本部)

年頭行事として初詣を欠かさない事として居る。今年は孫娘の高校受験のお守を頼まれたので、一月二日、夫婦そろって富岡八幡宮と深川不動尊を目指した。先づ東西線を下車、八幡宮に詣つてお守を頂く。今こそ壮麗な社殿が再建されているが、此所は五十三年前、終戦の年の春、下町一帯の大空襲の直後に一木一草なき境内に御野立所を設けて、先帝の行幸を仰いだ場所であることを思い出した。

参道を引返して不動尊に赴く。門前仲町の駅前から右に折れると巾の狭い参道で大変な混雑である。途中右手に古いお堂があり大勢がお参りしている。其処で夫婦が雑踏にまき込まれて、離ればなれになり、然も不動尊が先にある事を家内に教えて居なかったのが私の失策であつた。あとで縁起を調べたら、このお堂は、

江戸初期、八幡宮建立の際の別当寺たる永大寺の塔頭、吉祥院である。

私は、不動尊寄りの出口で十分程待つたが、家内が或いは先に行つたかも知れないと思い、不動尊の本堂迄行つてお詣りを済ませた後、左側の出口の群衆の中で堂前を見張っている中に段々不安になつて来た。

途方に暮れていた耳に、迷い子のアナウンスが入った。見れば本堂と庫裡の間に臨時の派出所があるらしい。そこで意を決して訪ねた処、警部補以下、二、三の警察官が居られたので、住所氏名を申告してアナウンスをお願いした。

年甲斐もなくとぼやいたら、此の頃は子供の迷い児よりも老人のはぐれる例が多い由。

親達は子供を懸命に把握しているからであると云われて思はず赤面した。

外に出ていると派出所で先頃迄、練馬、光ヶ丘の交番に居たと云う恰幅の良い巡査長と覚しい方が、携帯マイクを片手に「寸調べて来ます」と云いおいて出て行かれた。

生命にかかわる事ではないと思いつつも、よすがもなく待つ身は辛いものである。二十分たつて派出所より連絡があり、さっきの警官が家内を見つけて帰つて来て下さった。

果して、彼女は吉祥院を深川不動尊と思ひ込み、お参りを済まして暫らく入口の方で私を待っていたが、遂に、引返して門前仲町の地下鉄入口で辛抱強く待っていたのである。

其処へ携帯マイクを持った警官が低声で練馬の某と繰り返して呼び乍ら歩いて来たので彼女は、手を上げて名乗り出たのであつた。

假派出所の皆さんには、厚く感謝申し上げたが、嬉しさに取紛れ、皆さんの尊名を伺うことすら忘れてしまったのは行き届かない事であつた。

それから、老人二人は時間外れになつた故でおいしくなつた中食を共にしながら、親切な、警察の有難さを讃えあつた次第である。

機動隊ホームページへようこそ

富山県警察機動隊

当隊は、常時集団警備力の保持を目的とした機動隊の設置方針に基づき昭和三十一年十一月一日、警備部警ら交通課の付置機関として二十六人体制で誕生した。

その後二十年を経て、昭和五十二年三月、独立所屬としての警備部機動隊が三十九人体制で創立された。

富山県警察管区機動隊は、昭和四十四年四月、広域化した集団暴力事案に対処するため中部管区機動隊の構成部隊として、三十七人体制で誕生した。そして、主要警察署への分散配置を経て、生活安全全部自動車警ら隊に配置され、部隊出動時以外は、機動力を活かした機動警らにより数々の成果をあげてきた。

本年三月二十四日、富山県警察の機構改革により、富山県警察機動隊と富山県警察管区機動隊が一体化されて合同運用となり、機動隊が誕生してから四十二年目、管区機動隊が誕生してから

警視庁第五機動隊

当隊は、昭和二十五年九月十六日文京区小石川に警視庁第五方面予備隊として発足し、その後の機構改正に伴い第五機動隊と改称され、昭和三十八年四月二十日、新宿区市ヶ谷（現在の所在地）に移転した。

現在、國近隊長以下三七〇名で、隊訓に「剛健」「優美」「協和」を掲げ、ニックネームは、「学」の五機「精強五機」である。

「学」の五機の由来は、昇任試験の合格率が非常に高かつたことと、発隊時の所在地が小石川で大学等が点在する文教地区であつたことから「学」の五機と呼ばれるようになったと伝えられている。

「精強五機」は、安保管闘警備以降の諸警備において、勇猛果敢に任務を遂行し、その精強さにちなんだものである。

ら三十年目にして新制機動隊として七十六人体制で発足するに至つた。

この間の、多くの先輩隊員の素晴らしい活躍は、富山県警察の歴史と伝統を語るに相応しいものと言えよう。

私達は、隊訓（融和団結・質実剛健・自学自律の精神）の基本理念に立ち返り、「信頼され期待される精強な機動隊」を目指し「備えよ常に」を合言葉に一丸となつて頑張る決意を新たにしている。



また、シンボルマークは、「学」の五機「精強五機」にちなんで、学問の神様「湯島天神」のシンボルとも言える梅の花、これに、「智・仁・勇・信・美」を梅の五弁になぞらえ、VICTRY（勝利）の「V」とローマ数字の「V」を型取つて、昭和四十八年十月、シンボルマークとして制定した。これらの伝統は現在も引き継がれ、昨年の巡査部長試験では、機動隊第一位の成績であつた。

全隊員は、隊長のモットーである「二人一特練」を実践し、柔剣道をはじめ、昇任試験、各種資格等の取得に取り組み、首都東京の治安維持を全うすべく日々訓練等に励んでいる。



警視庁第五機動隊
シンボルマーク

今月の言葉

去る五月十八日、日比谷公会堂に於いて警視庁機動隊創設五十周年記念式典に招かれ出席した。

栄光と苦難の五十年であったが、その存在が大きく浮び上り国民の激賞を得たのはやはり安保斗争以降の様だ。今から考へると徒手空拳に近い貧弱な装備で荒れ狂う大衆暴動に立向った機動隊に対し今尚敬意と賞讃を惜しまない。当会が発足したのもその頃である。

最近の新聞によると、その極左暴力集団が退勢挽回の爲今后は民主主義に則り大衆を誘導する

ではない。第一反省はしているが謝罪の意識すら見えない。

彼等が引き起こした社会不安、物的損害 特に機動隊に与へた夥しい数の犠牲

思い込みと図にのりすぎ

危険性は依然たるものがある様だが、且つて赤軍華かなりし頃の全学達の斗士も窮地に追い込まれ年を経るまま老化している。そのアジ口調は相変わらずだが徒ら

ボーン」か「ドボン」か知らぬが、多くの組織も個人もこの思い込みと図にのりすぎが原因で夢想だに出来なかつた破綻が進んでいる。



（副理事長・大阪支部 木村 政次



盛大に、活気に満ちあふれ 第22回中国支部総会開催



去る六月二十三日午後六時より広島市厚生年金会館において、第二十二回中国支部総会が開催された。

当日は、中国管区警察局、広島県警察本部の幹部および機動隊員一三〇名、励ます会会員二二〇名が参加し、盛大かつ活気あふれた総会となった。

はじめに、中国支部を代表して林支部長が挨拶され「長野冬季オリンピックの成功は、機動隊の皆様による万全の警備のためのものである。今後も研鑽を積み、世界一の水準に

中国管区警察局
加藤局長殿



広島県警察
小池本部長殿

この後、新日本製鐵(株)原中国支部長の音頭で乾杯し、懇親会に入った。

懇親会では、隊員の皆さんが次々と



あるわが国の治安維持のために頑張っていた。本日は、会員企業から若い女性が多く参加されており、隊員の方も大いにエンジョイしていただきた。」と述べられた。

つづいて、励ます会佐々木理事長から「本日は、多数の方にご出席していただき感謝します。先日、警視庁機動隊創設五十周年記念式典で励ます会へ感謝状を頂戴した。また、機動隊視察式に出席し隊員の規律正しい行進を拝見し、その清々しさに感銘を受けた。国際化・グローバル化の渦中で伝統ある日本文化とその価値観を守っていくためには社会秩序の維持が必須である。今後も、励ます会として、社会秩序維持のために日夜活躍される機動隊を支

千速顧問に警視総監感謝状
七月三日東京都千代田区新日本製鐵株式会社社長室において、警視総監から警視庁職員の士気高揚に多大の貢献をされたことにより感謝状が伊藤警備部長から千速顧問に贈呈されました。



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03 (3739) 0590
購読料 年間1,200円（送料共）
（但し会費の中には購読料を含む）

千速顧問に警視総監感謝状

七月三日東京都千代田区新日本製鐵株式会社社長室において、警視総監から警視庁職員の士気高揚に多大の貢献をされたことにより感謝状が伊藤警備部長から千速顧問に贈呈されました。

喉自慢を披露され、佐々木理事長も飛び入りで参加、熱唱された。

最後に警察幹部・機動隊員全員が声たからかに「この道」を合唱し、横溝理事の音頭による万歳三唱で盛大かつ活気に満ちた中国支部総会は無事終了した。

〈今月のテーマ〉

隊員家族からの
メッセージ

今回は特別企画として、隊員を
支えるご家族の方から、
夫であり、父であり、息子であ
る隊員へ心温まるメッセージを
いただきました。

近畿管区機動隊

小林 功隊員の奥様 美智さん

私が主人と知り合い、付き合い始めたときは、主人がまだ交番勤務をしていました。その半年後の人事異動で機動隊勤務となりました。機動隊は、訓練ばかりで大変らしい所属であると感じていましたが、本当に大変なところであるんだなあと主人の様子をみていて痛感しました。私は、主人から毎日の訓練内容を聞く度に「頑張つて」という言葉しか出てこず、疲れ果てている主人の姿を見て、体を壊さないようにと願う毎日を送っていました。



やつと新隊員訓練が終わって、ほっとしたところ、弱音を吐く主人を見て、今まで本当に辛かったんだろなあとということが痛いほど伝わってきました。それでも、何とか他の隊員に遅れながらもついていった主人をたくましく感じ、また、みんなについていけるように自分で黙々と自主トレーニングを続けている姿を見て、「この人なら大丈夫だ。」と確信しました。

そのようなことから、機動隊勤務二年目を迎えた今年は、気分的にも、余裕が出てきたのか、去年ほど大変そうに感じず、逆に訓練を楽しんでいるようにも感じられます。でも、そう思え

るのも去年の辛い訓練を乗り越えたからだと思います。訓練はたしかに大変かもしれませんが、出勤したときなど、心配しながら主人の帰りを家で待っている家族も大変です。いつも、待っていてくれる家族がいるということを胸に秘め、これからの勤務を頑張つて欲しいと願っています。

岩手県警察機動隊

日山 信夫隊員の奥様 洋子さん



結婚して五年目。娘二人に恵まれ四大家族となりました。結婚当初、機動隊の仕事について殆ど知識のなかった私は、事件・事故が起きるたびにその仕事の幅の広さに驚かされました。

中でも冬山への出勤の時は、雪の降る中を夜中でも出かけて行き、その後何の連絡もないまま一晩帰ってこない時もあり、その度に心配でなかなか眠れないこともありました。そんな私の思いをよそに、雪焼けで真っ黒な顔になって帰ってきた主人は「たいたい」と言うので、私が話しかける間もなく、そのまま倒れ込むように眠ってしまいます。

家では、殆ど仕事の話をしないため、私たちが主人の仕事を知ることができないのは、いつも後になってから伝えられる新聞やテレビのニュースです。テレビに機動隊の隊員の方々が映しだされると、四歳になる娘を呼んで、「ほらほらお父さんが映っているよ」と喜びつつ、「明日もお父さんでるかなあ」の娘の問いに、本当はニュースになることが無いほうがいいのと思いつつも「そうね明日も映るといいね」と言ってしまう私です。

日増しに凶悪な事件が増え、警察官の家族としては心配も増すばかりですが、体にだけは十分に気をつけて、がんばっ

て欲しいと思います。

三重県警察機動隊
中 智洋隊員のお父様 久郎さん



長男の智洋は、小、中、高校在学中、一日も休むことなく登校し、学生時代も友達と仲良く生活していました。

学生時代も終わるころ警察官になると話しかけられたとき、一瞬戸惑いを感じたものです。これからの厳しい社会に求められる治安の責務を担う気構えがあるのかと思いました。息子がよく考えて自ら言い出したことでもあり、一生の仕事と思って「しっかりとやれ」と励ましたのが二年前のことです。

今春、機動隊員に任命されたとき、世の人から最も期待が寄せられる厳しい職務であることをよくわきまえて、いつも自己研鑽するよう言っているのが実情です。

警備にミスは許されません。世間からは何事も無く終わってまあまあであるとの評価を受けるものと思います。警備の不手際が全国的に、それにとどまらず大きく世界の各国に及ぼす影響力は計り知れません。

国民や県民の期待に応えるために、平素から練度の高い訓練を重ね、自信を持つて任務を全うして下さい。

機動隊員のみならず、隊員として誇りをもち、親密に心を一つにして励まし合い、健康に留意して活躍して下さい。きつとみなさんご家族の方々もいつも応援しておられると思います。このようなことにも心をいただき、「よしやろう」とやる気を抱いて頑張つて下さい。

三重県警察機動隊
江上 武雄隊員のお母様 俊恵さん

国道「三号線」を名古屋から三重県方面へ向かっている時、何気なくカーラジオに流れていた三重県警察の募集の広報を聞

いたことが、武雄が警察官になるきっかけになったのだと思います。本人も地元愛知県警察への応募を考えていたところだったので、一足早く応募することになったことが縁となり、こうして勤務することになりました。ところが家族はもとより親類縁者にも、この職務に対しての知識は皆無で、ただただ一人前にやっていけるだろうか心配するのみでした。



それから早二年近く、本年四月には機動隊への異動となり、新たな勉強、訓練が始まったようです。帰宅するたびにみつける生キズや色アザ等に、その大変さがうかがわれました。家族としては、このような訓練が役立つような事件・事故・災害等は起きて欲しいというのが、偽らざる気持ちです。

しかし、疲れながらも一生懸命に頑張っている姿を見ると、「武雄も成長したなあ」と少し目が潤んでしまいました。これからも日々、研鑽を続け、健康に気をつけ、組織の一員としての役割を担えるよう、目的意識をもつて一人前に成長することを願っています。

佐賀県警察機動隊
齋藤 誠治隊員の奥様 ひとみさん

機動隊に入隊して早二年を迎えている日那樣へ、毎日お仕事「苦勞」さまです。

新隊員訓練が終わって、いつも死んだようにして帰ってきた日をおいします。その度に私は「この人は機動隊でやっていけるのだろうか」といつも心配でした。

また、機動隊での出勤ですが、警備、パラインピック警備等、出勤の警備事案も様々で、季節も真夏の炎天下から真冬の大雪の中までいろいろな経験をしてきましたね。これらの警備

に参加することができたのもあな



健康管理は警察官として一番大切なものではないかと思ひます。健康を害しては、警察官としての任務を全うできず、他の人に迷惑をかけてしまいます。心身ともに健康であるためにも、日頃から体力づくりをして下さい。体の調子が悪いと思ったら、体を休めて体調をととのえて下さい。あなたの体のことをいつも心配しています。

警視庁第一機動隊
多田 宣男隊員の長女 あかねさん(中二)

私は、お父さんに顔も性格も、そっくりだとよく言われます。そして、私もお父さんもバレーボールが大好きです。学校や部活がない、お父さんの休みの日は、いつもバレーボールを教わってもらいます。お父さんがバレーボールを教える時は、いつもと違う人みたいで、普段は優しいけれどバレーボールをしている時は、顔がきつとしていて結構厳しいです。私が、中学校のバレーボール部に入ると、「バレーシューズはまだいいの？」と、何度も聞いてくれます。よくケンカもするけど、色々な事を考えてくれるんだなあと、思いました。そして、その厳しいコーチのおかげで、私はバレーボールが結構上手になりました。

お父さんは、お巡りさんで今は機動隊で仕事をしています。どんなことをしているのかは良く知りませんが、人の為に朝早くから夜おそくまで大変な仕事を、とつても誇りに思っています。それは何だか、カッコいいし、すごいことだと思ひます。



お父さんも、この仕事を誇りに思っていると思います。私も、お父さんのように、自分が誇りに思える仕事につきたいです。

これからの、体に気を付けて、一生懸命がんばってほしいと思います。

警視庁第三機動隊
藤田 正樹隊員の奥様 紀さん

今年の六月で、結婚して二年が過ぎました。主人が機動隊に異動になったのが、新婚旅行から帰ってすぐの事でしたので、夫婦として過ごしているほとんどの月日が機動隊勤務なわけですね。

つくづく、「タイヘンだなあ。」と、心底から思っています。朝は四時過ぎに起床出勤し、帰りは非番でも陽の沈む頃ですから、とても私には勤まらない仕事です。普段は「仕事だからアタリマエー」みたいな顔をしている私ですが、実は深く感謝しています。(ありがたい。ゴメンネ、たまに寝坊して！)



主人も私もお互いに外出が好きなので、休日のほとんどは出かけますが、そんな主人もたまに家で過ごす日は、本当に寝てばかりです。

最近、九ヶ月になる娘の面倒も、ずいぶんみてくれるようになりました。

し、何よりその溺愛ぶりには、思わず拍手を送ってしまう程なのです。私も、いつもくだらない会話はかりで言うことができない分、この場を借りて、マジメに言わせていただきます。「いつまでも健康で、明るい幸せな私達でいられるよう、私も頑張ります。だから、パパも頑張ってください！」

警視庁第五機動隊
加藤 和弘隊員の奥様 清美さん



九五年に結婚して翌年九月には長女を出産しました。娘も今まで大きな病気をすることもなくすくすくと育ってくれています。主人が機動隊に転動して武道小隊に配置されたのはもう一年以上も前のことです。それから休みも少なくなり、夜、遅く帰ってくることも多くなりました。けがをすることも多くなりました。た。今日はきつかった。死ぬかと思った。」と毎日のように言っています。厳しい練習をしているせいか前よりも多少強くなっているようで、以前よりも柔道にやりがいを感じているようです。入隊直後は、弱音ばかり吐いていたのに最近では、「先生に褒められた。」とか「強くなったって言われた。」と嬉しそうに話すことが多くなってきました。

機動隊に入隊してからは、家族で過ごす時間が減り、夫婦の間でけんかをすることも増えましたが、けがをしなから一生懸命頑張っている姿に本当はいつも応援しているのです。

普段は態度や言葉で表現したことはありませんが、この場をお借りして一言。「いつも、ありがとう。けがをしないように柔道とお仕事頑張ってください。芽生(長女)と一緒にいつも応援しています。頑張れお父さん！」

警視庁第七機動隊
数井 謙二隊員の長女 春香さん(小六)



きのうは、六年生最後の運動会でした。私はお父さんに「最後なんだからぜったい来てね」と言ったら本当にきいてくれました。その日は、朝からとても良い天気だったので、私は張り切っていました。

百メートル走で第二コーナーに入った所で「がんばれ」というお父さんの声が聞こえました。接戦でしたが、お父さんのおうえんで私は一位になりました。「やった」と思っていました。ふり返るとお父さんがビデオで写していました。騎馬戦や組体操も終わり、次は一番きんちょうする紅白リレーです。練習のやりすぎで足が少し痛み心配でしたが、お父さんがおうえんしていたのでいっしょにがんばりました。バトンを受けたとき、位でしたが、差を少しちぢめることができたので良かったです。

私のお父さんは、機動隊ではたらいしています。休みが少ないのでいっしょに出かけることがあまりありません。たまの休みにプールに行ったり、バトミントンをやったりするぐらいで、遠出はしません。

お父さんは、バトミントンがじょうずなのでいろいろ教えてくれます。どんな球を打つても取ってくれるので自分がうまくない気がします。そして、「スマッシュが早いね」とほめてくれるのがうれしいです。

いそがしいお父さんが運動会に来てくれたので本当にうれしかったです。いっしょに写真をとったり、背中に飛びつきました。私が飛びつくと、お父さんは屈伸をやります。それがとてもおもしろく、また飛びつきます。そんな、やさしいおとうさんが大好きです。お仕事いそがしいと思いますが、体に気をつけてがんばってください。

して、休みのときは、また、いっしょに遊んでください。

警視庁第九機動隊
一瀬 美器雄隊員の奥様 知加子さん

第九機動隊勤務の主人にちなんでしようか、平成九年九月九日のこと、九時ちようどと時刻までびつたりという訳にはいきませんでした。大きな泣き声と共に長女が誕生しました。そんな娘も八ヶ月を過ぎ、最近、ハイハイなど自由に動き回ってイタズラをするようになり、日々成長している娘に、私達はビックリしたり感動したりと、目が離せない毎日です。いつものパターンですが、主人は「優花を寝かしつけてやる」と言っているのに、娘の目はパッチリ、反対に寝かしつけられています。

そんな主人ですが、どんなに疲れて帰って来ても必ず娘をお風呂に入れてくれ、休みの日には、私が手を離せない時などに、ミルクをあげたりオムツを替えたりと、積極的の子育てに参加してくれて、娘の面倒をよく見てくれます。また、私を気づかなくてもくれます。私の趣味であるお花やケーキ、パン作りなどができる時間を作ってくれて、少しの時間ではありますが、子育てから開放されてストレスも発散され、娘といつも新鮮な気持ちで向き合う事ができ、これも主人のおかげと感謝しております。

これからの寛大な主人に守られながら、主人が安心して仕事に取り組めるような温かい家庭を築いていきたいと思っています。健康にはくれぐれも気を付けて、立派な機動隊員として頑張ってくださいと願っております。



暑中お見舞 申し上げます	東 鋼 業 (株)	(株) エース電研	(学) 嘉悦学園	高周波熱錬 (株)	(株) 周東商会	次郎丸嘉介	杉 尾 榮 俊	木 村 政 次	黒 田 一	合同製鐵 (株)	谷 本 鉄 鋼 (株)	村 上 祐 隆	丸 定 産 業 (株)	宮 崎 精 鋼 (株)	中 條 鋼 材 (株)	新潟鋼機 (株)	不動鋼板工業 (株)	ブルマン (株)	藤 光 鋼 材 (株)	東北支 部
-----------------	-----------	-----------	----------	-----------	----------	-------	---------	---------	-------	----------	-------------	---------	-------------	-------------	-------------	----------	------------	----------	-------------	-------

読者の広場



高齢時代



近江 八郎
(理事・東北支部)

老齢化時代が叫ばれてから随分長い年月が立ちました。三十年も立ったのでしょうか。その間老齢といふ言葉が嫌はれて高年、高齢に更に豊齢と呼ぶようにもなつて参りました。高齢者白書によると六十五歳以上の高齢者が二千万人の大台に乗つたとのこと、こうなるともはや高齢化時代は過ぎてまさに高齢時代に入つたことになりまふ。わが宮城県は新聞によると平成九年十二月末で総人口は二百三十四万二千四百七十九名で、十年三月末で六十五歳以上の高齢者は三十七万五千三百六十二人と高齢化率は一六・一パーセントと上昇しました。

更に昨年の厚生省の調査で六十五歳以上の家族がいる世帯は三二・五パーセント、十八歳未満の子供(未婚者)のいる世帯は三十パーセントと、まさに少子、高齢化がはつきりと示されました。数字だけではなかなかピンときませんが私は昨年春こんな実体験をしました。この時仙台市博物館で来館する見学者を案内説明するボランティア六十名を募集しましたところ三百数十名の応募者があつた由で、まさかこんなに多くの方々が来られるとは博物館の方でも非常に驚いておられました。いかに元氣な向上心に燃える高齢者が沢山居ることを改めて思い知らされ

ました。私も応募したのですが五回の養成講座に用件があり二回しか出席できず残念ながらこの点で落選しました。このことがあり老齢の今後の生活設計について深く考えさせられました。大正十年生れの私は健康は至つて元氣で毎朝の運動の他ボーイスカウト、マラソンクラブ等々の活動に参加しておりますが、この事があり色々と考え仙台市健康福祉事業団・シルバースター豊齢学園に入學し二年の期間で週一度「ふるさと文化コース」の授業を受けています。この方の申し込みも三倍以上あるそうです。身近なふるさととの文化を学習し地域文化の創造をはかるべく全く新しい仲間と共に楽しく学んでおります。

二つの手記



滋岡 長平
(東京本部)

夏休みで米國から帰つて来た孫が、テレビゲームに夢中で、勉強を怠けて娘に叱られると、「グランパもテレビばかり見ているよ」と告口され、困つている処に寄稿依頼があつたので例によつて雑文に取りかかることにした。

先頃、衛星テレビで石光眞清の手記「城下の人」(「曠野の花」望郷の歌)「誰の為に」の四部作のドラマの放映を見た。石光は熊本藩の出身で、士官學校を出て任官後、露語を學び、日清、日露兩戰後の間、菊地正三と変名し、シベリアと満州の広い範囲で謀報活動に挺身したが報われない生涯を送つた人である。ドラマとしては女流二人の脚色、演出の故か、些か感傷に過ぎ物足りない作品であつたが、最寄の圖書館で原作を集めて貰つて再讀を試みた。テレビの最初の方で老年の彼が書いた膨大な記録を焼却しようとするのを、当時新聞記者であつた息子の石光眞人が諫止するシーンがある。実はこの四部作は眞人が、戦後苦心して刊行

したもので、立派な文學作品として推奨し得るものである。

之とは別に中公新書に石光眞人編著の「ある明治人の記録」と云ふ本が版を重ねている。之は明治維新の際、幕府の犠牲となり最も悲惨な運命に追い込まれた會津藩士上士の五男、柴五郎が超人的な辛苦を重ねて陸軍將校となつた半生の記録を石光眞人が一任されて編著したものである。柴五郎は北清事變の際、北京公使館駐在武官として列強と中國間で折衝し、その國際的活躍で令名を馳せ、後年、軍事参議官・陸軍大將となつた人である。戊申の際、柴の両親は幼い末男の五郎のみを家名存続の爲疎開させ、男達は城内に、邸内に残つた祖母、母および姉妹は凡て自決して果てた。藩主以下は降伏の後虜囚となり、終に下北半島の不毛の地斗南に國替され飢寒の中に露命をつなぐ。五郎は一人志を立て青森に出て熊本藩出身の大參事野田豁通に知遇を得、上京して苦學して創設された陸軍幼年學校に入學する。明治十年西南役勃発、會津の兄二人は積怨を晴らすべく警視庁抜刀隊に志願し、九州に赴き凱旋する。竹橋驛を経て五郎が任官する所での手記は終つてゐる。処で柴が何故手記を眞人に托したか。彼が斗南を脱出し、青森で知遇を得て志を遂げさせて呉れた恩人野田豁通は石光眞人の大叔父でありその關係で親しくなつたからである。柴五郎は大正十二年予備役になつたが、語學に堪能で國際感覚に秀で、先の大戦の悲しい結末も予言していたが昭和二十年十二月八十七歳の生涯を閉じた。

注①尚、野田豁通は明治期陸軍經理部のリーダーで交友も広く男爵に叙せられた。

②柴五郎の講演録「北清事變」(東洋文庫)より抜粋。

機動隊ホームページへようこそ

警視庁第六機動隊

一 隊の沿革

警視庁第六機動隊は、極左暴力集団が学園あるいは街頭において不法行為を繰り返して、第二次安保闘争が迫つてきた昭和四十四年一月十日に発足した。隊舎は当初第四機動隊の一部を使用した。以後、大井・勝島の地に移転し、特に東京國際空港警備においては、第一次的に数多く出動し、現在に至つてゐる。

二 「潮の六機」「若鹿の六機」

潮風香る東京湾を望む勝島ので、怒濤のごとき気魄と、なぎにも似た冷靜さを合言葉にしてゐるところから、「潮の六機」のニックネームが誕生した。六は「鹿」にも通じ、その俊敏さと、スマートさから、別名「若鹿の六機」ともいわれている。三シンボルマーク

六機の「6」の数字と疾風の如く野山

機動隊からのたより

機能別部隊訓練の実施

岡山県警察機動隊

本県機動隊では、五月六日から二十一日までの間、春季の定期人事異動後に新編成された機能別部隊の集中的な総合訓練を実施し、練度向上を図つた。

機能別部隊の訓練については、幅広い警察事象に迅速的確に対処し得る特殊技能の充実強化を目的とし、平素は通常勤務を通じて各部隊別に随時実施し、練度向上を期しているところである。今春の定期人事異動により部隊の新編成がなされたところから、集中的かつ総合的な訓練を実施し、練度向上を図つた。

訓練は、最初に梅雨や台風による災害、水難事故に備え、水難救助隊及び機動救助隊の基本訓練を県営プール及び機動隊内レンジャー塔で実施した。その後、より実践的な応用訓練を、市内を流れる一級河川の旭川及び岡山城址において実施した。また、最終日に



警視庁第六機動隊
シンボルマーク

を駆け巡る鹿の角をイメージしている。円によって、和と團結を表現し、直線を真中に入れたことによつて、中立公正な態度と、不変毅然たる姿勢・力強さ、進みゆく方向を表現している。

四 警視庁レスリングクラブ 第五中隊 昭和四十四年三月に監督と、数名の部員で発足し、昭和五十一年四月に現在の名称に發展改称され、オリンピック、世界選手権大会、各種國際大会、全日本選手権大会等で、輝かしい戦績を残し、日本レスリング界に不可欠の存在になつてゐる。